

十萬圓。(社長)芝義太郎。(取締役)小森順造、福田毅、芝周平、勝田實。(社員)技術員共五十名。(職工)二百五十名。(營業科目)新聞輪轉印刷機械製作。(製産高)一百萬圓。(供給先)内地滿鮮新聞社、諸官署、印刷業者。(沿革)明治七年の創業に係り、大正五年株式會社東京機械製作所に組織を變更す。大正十三年本邦に於て初めて高速度輪轉機を製作し昭和五年十三萬高速度機を完成朝日新聞に納付、斯界を驚嘆せしむ。(十一、十一、末)

中村鐵工所 東京市本所區區橋三ノ二。(電)墨田九一〇、一〇四八。合名會社。十萬圓。(代表者)中村録一郎。(従業員)五十名。(營業科目)新聞印刷用輪轉機、書籍雜誌用輪轉機全自動オフセット輪轉印刷機、高級各種印刷機、並に各種附屬機械。(販賣高)二十萬圓。(供給先)内地滿鮮諸新聞社、諸官署並に印刷業者。(沿革)明治十八年五月、中村金太郎個人創業、大正八年九月合名會社に組織變更。十一年四月三十日前代表者中村金太郎長逝、中村録一郎代表者として事業を繼承す。(十一、十一、末)

日新堂インキ製造所 京橋區木挽町二ノ六。(電)京橋一九一六、七三六三。(代表者)井崎精三郎。(工場長)野川新藏。(技師長)野川新藏。(従業員)二十八名。(營業科目)新聞用高速インキ、各種印刷インキ。(製産高)四十五萬圓。(供給先)内閣印刷局、報知、讀賣、其他市内外印刷業者。(沿革)大正元年十一月先代井崎吉吉創業以來二十餘年工場を葛飾區本町に置き支店を名古屋、大連に、出張所を京城、小倉、甲府、山形市に置く。(十一、十一、末)

西川求林堂(株式會社) 東京市豊島區西巢鴨三ノ七〇六。(電)大塚三三四五。株式。三十萬圓。(代表者)西川忠幸。(取締役支配人)馬場喜久松。(營業課長)小川可松。(従業員)約百名。(營業科目)各種印刷用インキ製造並に印刷に關する諸材料により縁綫裝賞を下賜さる。(十一、十一、末)

インキ

一般。(販賣高)七十萬圓。(供給先)東京日、時事、都、大日本印刷會社、東京印刷會社、凸版會社、共同印刷、全國刑務所、海軍工廠を主なるものとす。(特設)グラビュインキ製造。(沿革)明治十五年八月二十八日の創立に係り、求林堂は當時印刷用インキは輸入品のみに依りたるも明治三十五年店舖の傍に練肉機を備付け製造に着手、明治四十五年月島に工場を設け研究を重ねたる結果、殆んど外國品に劣らざる製産を見るに至る。其後需要の増加に伴ひ大正十一年豊島區西巢鴨三丁目第二工場を設け製出に努めたり、偶々大正十二年九月震災に依り月島工場は潰滅の厄に遇ひたるも幸に第二工場は其被害を免がれ、震災直後滞なく各得意先の需要を満たすことを得たり。昭和三年更に板橋區志村小豆澤町にグラビュインキ工場を設け益々發展に資したり、昭和九年十一月二十三日組織を變更す。昭和十一年七月本社を巢鴨に移轉す。(十一、十一、末)

川村喜十郎商店 東京市本所區石原町三ノ十六。(電)墨田五五、五六、三七五五。個人經營。(投資)五十萬圓。(代表者)川村喜十郎。(主要幹部)土屋勉、今村均、豊田秀顯。(營業)土屋勉。(廣告)豊田秀顯。(従業員)百八名。(營業科目)印刷用インキ、染料、染料、工業藥品、印刷機械並諸材料品。(販賣高)一百二十餘萬圓。(供給先)日本全國、滿洲、支那各地、南洋、印度、近東、アフリカ、南米各地。(創業)明治四十二年二月十五日。

板橋區志村の地をトシ染料原料藥品工場を建設企劃中なり、敷地約一萬坪。(十一、十一、末)

新開輪轉用機械及附屬品一切、中田式ローラー、印刷機械、斷裁機械、活字、製本用機械、印刷用材料品。(供給先)印刷業者及新聞社(内地、支那、滿洲、印度、南洋)。(特設)印刷材料陳列館の設備あり。(沿革)明治二十七年大阪朝日新聞社の希望により先代中田守雄翁、ローラーの研究に努め、明治二十九年新聞輪轉用ローラーを發明、更に印刷用ローラーを創製し、明治三十年中田瑞穂堂を創業す。大正六年機械部、活版部を並設し、昭和八年株式會社に組織變更す。

帝國インキ製造所(合資會社) 東京市芝區三田南寺町一五。(電)三田三二一、六八五。合資會社。五十萬圓。(社長)龜岡豐二。(従業員)五十名。(營業科目)新聞インキ及各種印刷インキ及諸材料。(販賣高)六百萬圓。(供給先)全國新聞社、諸官廳印刷所、市内及地方各印刷所。(特設)貯藏タンク備付當時百萬圓を貯藏す。專賣特許高速度高級新聞インキ製造機三臺備付。(沿革)明治三十一年創業、赤堀インキ製造所とし大正三年一月合資會社とし帝國インキ製造所と改稱今日に及ぶ、本邦インキ製造の嚆矢とす。(十一、十一、末)

篠崎インキ製造株式會社 本所區綠町三ノ一六。株式。十五萬圓。(社長)篠崎又兵衛。(常務)篠崎清三郎。(支配人)權田昇平。(従業員)百八十名。(營業科目)ライトインキ、チャンピオンインキ、其他事務及特殊インキの製造販賣。(販賣高)二百五十萬圓。(供給先)内地一

山本新聞インキ工場(山本インキ株式會社) 大阪市此花區恩貴島南町。(東京工場)東京市品川區大井水神町二〇〇五。株式。一百五十萬圓。(專務)山本忠次郎。(従業員)百二十名。(營業科目)新聞用インキ、大印印刷用インキ、一般印刷材料品KY式紙型壓搾機。(製産高)新聞インキ二百五十萬ポンド。(供給先)大毎、讀賣、新愛知、名古屋、福日、滿日、時事、京日、

阪田商會 大阪市此花區上福島北一丁目。(電)福島二三五一、二三五二。株式。二十五萬圓。

阪田商會 大阪市此花區上福島北一丁目。(電)福島二三五一、二三五二。株式。二十五萬圓。

篠崎インキ製造株式會社 本所區綠町三ノ一六。株式。十五萬圓。(社長)篠崎又兵衛。(常務)篠崎清三郎。(支配人)權田昇平。(従業員)百八十名。(營業科目)ライトインキ、チャンピオンインキ、其他事務及特殊インキの製造販賣。(販賣高)二百五十萬圓。(供給先)内地一

中田瑞穂堂 大阪市東區半入町七四七。(電)東一二二〇、一二四〇。八八九。株式。二十萬圓。(社長)中田守雄。(專務)西岡晋次郎。(常務)中田昌義。(營業)專務兼任。(廣告)常務兼任。(従業員)五十五名。(營業科目)

般及東洋各地。(沿革)明治十七年創立。
十年十一月七日伏見宮殿下御臨臨の光榮に浴す。
校正用朱インキを新開研究所より發賣す。(十一、十一、末)

諸星千代吉商店

横濱市中區西久保町一三二。(電)長者町三三七、一三二八五。株式。五十萬圓。(社長)小島龜三郎。(常務)宮永梅三。(取締役)諸星四郎。取締東京支店長)中村良太郎。(取締役)小島藤吉、諸星太郎。(營業)安田憲。(從業員)二百名。(營業科目)孔雀印各種印刷用インキ製造。(製産高)一百萬圓。(供給先)全國新聞社印刷業者、支那、印度、南洋其他へ輸出す。(特設)新聞インキの自働製造。(沿革)明治二十四年創業、東京、大阪、名古屋、奉天に支店設置、横濱工場及保土ヶ谷工場の二工場を有す。昭和六年滿四十年に際し諸星千代吉個人經營を同族の株式會社に變更す、天津及營口に出張所を設く。昭和八年十一月日本産業協會より我國産業貿易の功績者として表彰せら

字 母

東京字母製造所

東京市小石川區諏訪町五三。個人經營。五千圓。(社長)下宮珍松。(從業員)九名。(營業科目)活版母型製造並附屬品一式。(販賣高)母型十二萬内外。(供給先)内外新聞社並諸印刷所。(沿革)明治三十九年先々代末吉の創業、大正十三年現住所に上京創業、昭和七年六月初代死亡、今は三代。

昌榮堂活版印刷製造所

小石川區關口町一。個人經營。(代表者)草間昌三。(從業員)三十名。(營業科目)字母製造、販賣、(販賣高)五萬圓。(沿革)大正三年創業。

戶田活版製造所

神田區旅籠町三丁目。(電)下谷四五二八。個人經營。一萬圓。(代表者)戶田喜三郎。(從業員)十三名。(營業科目)活字製造販賣。(供給先)市内地金商。(沿革)現住所に於て創業、大正元年二月十一日。

千代田印刷材料製造株式會社

神田區三河町一七八。(電)神田區二六四、一二七四。株式。(代表者)古賀和佐雄。(營業科目)活字部、母型部、木具部、昇輪部、寫眞製版部。(沿革)明治三十五年東京欄製製作所の創立。新聞業者を得意に分業に立脚、總業的事業の經營が目的。(字毎の部にもあり)

岡本活版製造所

大阪府北區小松原町七三。(電)北三七〇。三。個人經營。(代表者)岡本萬三。(從業員)三十名。(營業科目)活字製造販賣。(供給先)印刷業並に各新聞社。(沿革)明治二十六年十月創業。

活 字

東京築地活版製造所

東京市京橋區築地三ノ一〇。(電)京橋二八五十七。株式。六十萬圓。(專務)吉雄永壽。(取締役)松田一郎、馬場喜久松。(支配人)秋山常介。(從業員)三百五十名。(營業科目)活版、印刷機械及印刷材料、並各種印刷。(販賣高)六十五萬圓。(供給先)全國各地新聞社及印刷所、米、英、獨、支那、南洋方面。(特設)活字は精良なる彫刻機械を設備し、優秀なる熟練技工を有す。(沿革)嘉永の初年、大木昌造翁我邦に

千代田母型製造所

印刷材料株式會社經營。神田區三河町一七八。(電)神田一二六四、一二七四。株式。(代表者)古賀和佐雄。(商品)各種本母型及千代田新母型。(從業員)三十名。(供給先)東京大會社、新聞社、官廳、地方新聞等。(活字の部にもあり)

字母長

小石川區關口水道町六一。(電)牛込一四二二。(代表者)小倉長三郎。(營業科目)新聞用

紙型及地紙紙

小石川區音羽町五ノ二。個人經營。(代表者)奧村金一。(從業員)三十五名。(營業科目)紙型用地紙、輪轉用胴服紙、雁皮紙。(産額)十萬圓。(供給先)各新聞社、出版業者、大商店等。(沿革)明治十九年創業。

田中製紙工場

岐阜縣美濃町(電)六一。株式。貳拾萬圓。(社長)田中治助。(幹部)田中福太郎。(東京支店長)山田長三。(從業員)百二十名。(營業科目)紙型壓搾紙、雁皮紙、紙他に印刷材料。(販賣高)參拾萬圓。(供給先)東京、大阪及都市。(沿革)大正二年創業。

葛谷商店

東京市京橋區築地二丁目一。(電)京橋五七七四、六七三四。(工場)足立區本木町一ノ五九八。(電)足立二七四五。合名會社。(社長)葛谷祐滋。(從業員)五十名。(營業科目)印刷インキ、紙型材料、印刷材料、軟質地金、印刷機械、輪轉製版附屬品。新聞社用品一般。(販賣高)約五十萬圓。(供給先)市内及全國朝鮮、滿洲、樺太、各新聞社、南洋、臺灣、南支、北支。(特設)專賣特許紙型糊保有ドライマツト。(沿革)明治三十年創始。

滿洲各地へ輪轉機を納入す。

十年一月前支配人西崎由縁君退社す。

江川活版製造所

日本橋區龜殼町一ノ七。合資會社。十萬圓。(代表者)深町貞次郎。(從業員)三十五名。(營業科目)活字一切、新聞社工場附屬品一切。(供給先)新聞社及び印刷業者。(沿革)明治三十二年創業。

共同印刷株式會社

小石川區久堅町一〇八。(營業科目)活字鑄造販賣。(グラフィヤ印刷の部にもあり)

民友社鑄造部

京橋區銀座西八丁目五。五萬圓。(代表者)渡邊宗七。(從業員)十五名。(營業科目)ポイント式活字、其他一般活字、附屬品。(供給先)各地新聞社、印刷所。(沿革)明治卅六年の創業。

活字鑄造機械

日本タイプライター株式會社

東京市京橋區寶町一ノ二。(電)京橋四一六一、四一六五。株式。五百萬圓。(社長)櫻井兵五郎。(專務)城森省三。(常務)川畑光志。(取締役)橋利雄。(工場長)柳田良作。(大阪支店長)延命順作。(大連支店支配人)中

林榮社

東京市澁谷區中通一ノ一五。(電)青山二八六三、八三一。個人經營。十萬圓。(社長)林榮三。(工場主任)津田藤吉。(技師)物部延太郎。山田正榮。(從業員)五十名。(營業科目)萬年自働鑄造機、萬年活字、萬年字母、以上すべて專賣特許。(販賣高)約十萬圓。(供給先)全國新聞社及印刷業者活字業者。(沿革)大正十四年特許萬年活字發賣開始、昭和三年特許萬年自働

西賢爾

(上海支店長)古里廣。(從業員)社員五百名。職工二百五十名。(營業科目)邦文タイプライター、邦文モノタイプ、萬能自動鑄造機、邦文自動紙送機、寫機、邦文印ナンバーリングマシン、其他事務用品一式。(販賣高)三百萬圓。(供給先)内地、滿洲、印度、其他。(沿革)大正三年發明、大正四年日本書字機商會設立、大正六年五月株式組織とし現在に至る。

田邊清太郎

新潟市關屋田町三條通り。(營業科目)ドライマツトの製造。(沿革)發明者、印刷學校出身、印刷事業二十五年經驗、昭和三年以來紙型の研究に従事し同八年特許、當地にて見本製作更に研究中。

當地に於て試験的に製造せる

處成績國産最優秀の折紙附せられ更に發明者今後の研究と會社設立の用意あり、純國産ドライマツトとして商工省の發明獎勵費を受領す。

於て始めて活字鑄造事業を創始

し、明治六年七月平野富二氏當地に工場を移し、今日に至る。(十一、十一、末)

福田工業研究所

大阪市東淀川區十三東五町一ノ一三三。
(電)北二九四〇。(工場)大阪市東淀川區野中北通三丁目二一。

廣告用紙型及鉛版

竹中紙型鉛版工業所
(電)丸の内四七三〇。(店主)竹中。(従業員)十二名。

廣告主。(沿革)創業大正十二年一月一日。

長瀬製版所
(電)九段二九四、三〇六二。合資。二萬四千圓。(社長)長瀬直次郎。

十一屋製版所
(電)京橋二四一六、五六八二、六六二七。個人經營。

同盟通信社寫真部
(電)代表東京市京橋區銀座西七丁目。

井澤寫真製版所
(代表者)井澤善也。(従業員)五十名。

辻村製版所
(電)銀座一六七〇、一六七一。合資。五萬圓。

堀野精美堂
(代表者)堀野順一。丁目五。

勉強堂
(電)京橋三三七七。(營業科目)木版、金版。

東山堂彫刻所
(電)京橋區銀座西一ノ五。

小倉木版所
(電)神田區神保町一ノ六一。

製版(寫真、凸版)

設。(沿革)明治四十三年創業。
(員)三十名。(營業科目)寫真製版、亞鉛凸版印刷。

長瀬製版所支店
(電)廣告用紙型及鉛版の部にあり。

明治製版所
(電)京橋四五四五。個人經營。

同業通信社寫真部
(電)代表東京市京橋區銀座西七丁目。

井澤寫真製版所
(代表者)井澤善也。(従業員)五十名。

辻村製版所
(電)銀座一六七〇、一六七一。合資。五萬圓。

堀野精美堂
(代表者)堀野順一。丁目五。

勉強堂
(電)京橋三三七七。(營業科目)木版、金版。

東山堂彫刻所
(電)京橋區銀座西一ノ五。

小倉木版所
(電)神田區神保町一ノ六一。

寫真機械及寫真製版機

オリエンタル寫真工業株式會社
(電)大塚三四二五。株式。四百三十萬圓。

東陽。(常務取締役)菊地久吉。(業務課長)鹽野種吉。

先)全國營業寫真師、陸海軍、各官廳寫真部、一般寫真愛好家。

先)宮内省、陸海軍省、外各省、病院、學校、大會社、府市。

先)個人として寫真機械材料商を一人として寫真機械材料商を

先)個人として寫真機械材料商を一人として寫真機械材料商を

先)個人として寫真機械材料商を一人として寫真機械材料商を

先)個人として寫真機械材料商を一人として寫真機械材料商を

吉次郎。酒井雪介。(營業)小林節太郎。(廣告)森田茂樹。

大正八年當社の前身たる大日本セルロイド株式會社寫真フィルム部に於て寫真用並に映畫用フィルムの研究を開始昭和二年半工業的設備を以て製造に着手更に工業的生產の確信を得るに及び昭和九年一月廿日資本金三百萬圓を以て富士寫真フィルム株式會社を分離設立し更に同年六月東洋乾板株式會社を買収以て本邦寫真工業界に雄飛しつゝあり。

小西六本店
(電)日本橋一六六〇。合資。七二三一四、二六五六。

右衛門。(代表社員)無限)杉浦千之助、(有限)杉浦宗次郎、(有限)杉浦誠次郎、(有限)渡邊由三郎、(營業)森貞三、(廣告)小石龜次郎。

淺沼商會
(電)日本橋五四八、五四九、五五〇、一九〇〇、一九〇一。合資。二十二萬圓。

越田親平。寫真新報)野崎昌人。(營業)加藤信夫。

先)宮内省、陸海軍省、外各省、病院、學校、大會社、府市。

先)個人として寫真機械材料商を一人として寫真機械材料商を

先)個人として寫真機械材料商を一人として寫真機械材料商を

吉松商會
(電)荏原三七八一。個人經營。(代表者)吉松貞彌。

大村鐵工所
(電)京橋一九二二。個人經營。(代表者)大村宗孝。

大日本印刷株式會社
(電)牛込一五一〇。一五一五。株式。六百萬圓。

附錄用美術印刷

大日本印刷株式會社
(電)牛込一五一〇。一五一五。株式。六百萬圓。

附錄用美術印刷

大日本印刷株式會社
(電)牛込一五一〇。一五一五。株式。六百萬圓。

附錄用美術印刷

大日本印刷株式會社
(電)牛込一五一〇。一五一五。株式。六百萬圓。

郎。(取締役)吉田秀人、高橋謙三。(監査役)坪谷善四郎、佐久間衛治。(従業員)二千三百名。(營業科目)印刷、製版、製本及附帶業務一切。(販賣高)六百萬圓。(各營業所)榎町營業所牛込區榎町七、(銀座販賣店)京橋區銀座七ノ四、(早稲田分工場)淀橋區早稲田大學前、(大崎分工場)品川區上大崎四ノ一八五。(沿革)明治九年十月佐久間貞一、大内青樹、保田久成、宏佛海の四名一千圓を共同出資して創業、明治二十七年一月株式組織に變更、業務の隆昌に従つて昭和十年二月二十六日清印刷株式會社と合併益々工場設備の充實を圖る。(十一、十一、末)

業)山本定輔。(従業員)二千餘名。(營業科目)印刷、製本、活字鑄造、捺染。(販賣高)六百萬圓。(供給先)一般出版業者、諸官省官衙、各新聞社、百貨店、銀行會社。(沿革)明治廿九年十一月故大橋佐平翁博文館の自家出版物印刷の目的にて京橋竹川町に印刷工場を創業す。當時印刷機械六臺、職工六十餘名、三十一年十一月現在の地に移轉、博進社工場と稱す、三十八年四月工場擴張博文館印刷所と改稱大正十四年十二月精美堂を合併共同印刷株式會社と改稱す。現在工場敷地七千二百餘坪、工場建物延坪一萬三千餘坪。昭和六年四月平版印刷工場として敷地五百八十七坪六階建(延坪三、三二七)第三號館を起工同年十月落成。七年二月製本工場として敷地四九七坪三階建(延坪一、四六二坪)第四號館を起工同年十月落成。九年三月本館五階建(事務所)及第五號館四階建活版工場を起工同年十月落成。

同十年十一月八日より三日間朝野の名士を招待して落成式舉行。
 同十年十月捺染部の操業開始
 同十年十月金鷹印刷の操業開始。
 同十一年一月同第一號館二階建を鐵骨コンクリート四階建に改築中。(十一、十一、末)

輪轉機用白羅紗
ローラー其他
 鶴見ゴム革、ローラー製作所 下谷區仲御徒町三ノ二五。(電)下谷七〇九三。(商品)各種平盤用ローラー。
 長澤フェルト合資會社 東京市京橋區橫町三丁目三ノ六。(電)京五七三三。合資。一萬五千圓。(代表者)長澤宏和。(支配人)村松政次郎。(従業員)十二名。(營業科目)高速度並にマリニ新開輪轉機用ブランケット、オフセット及石版印刷ブランケット、印刷用ラシヤ毛布及ロール各種。(販賣高)約三十萬圓。(供給)日本毛織株式會社。

(沿革)大正三年(長澤宏和商店より繼承以來今日に及ぶ。(十一、十一、末)

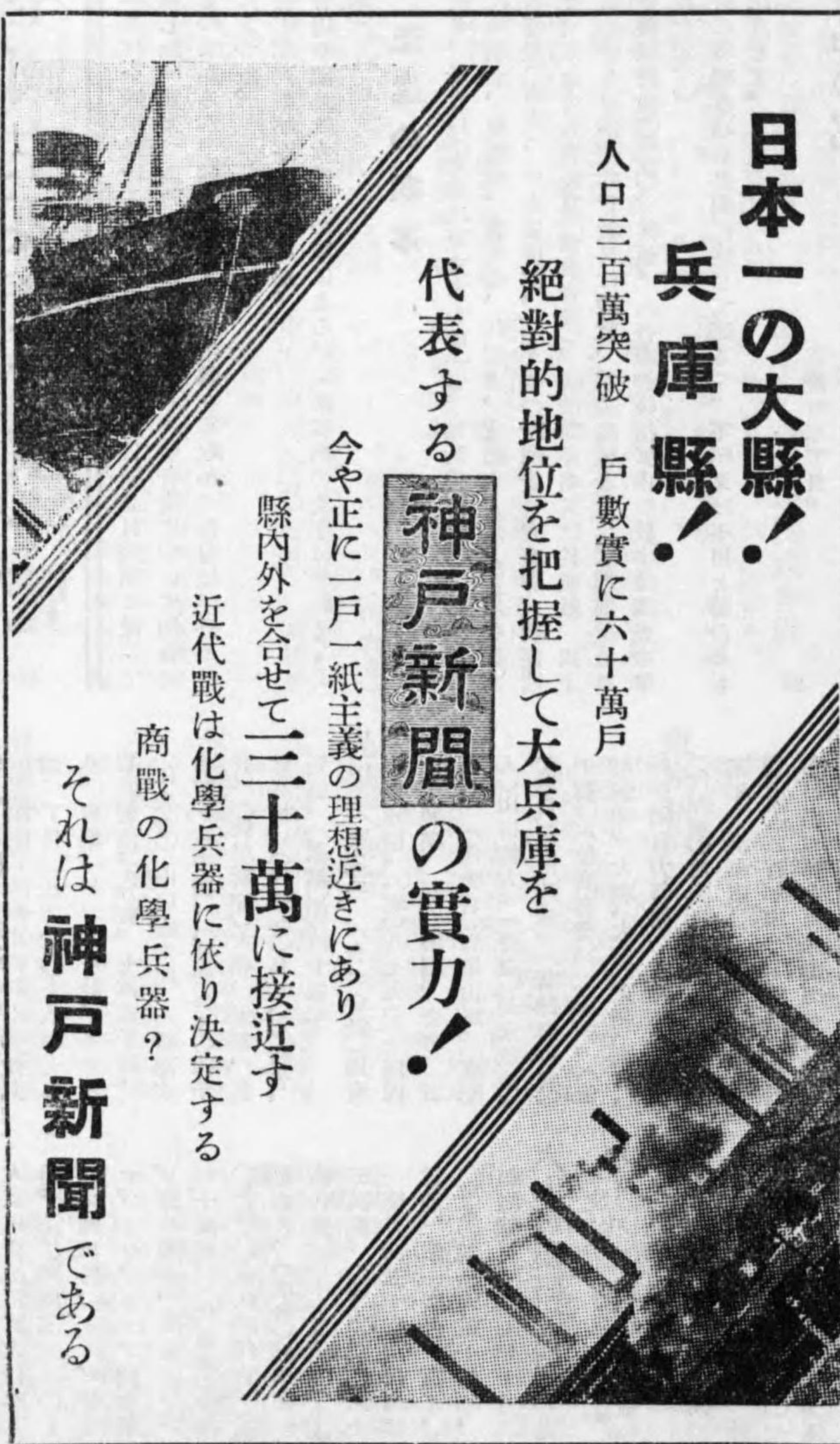
金陽社 東京市品川區東大崎五丁目三三四。(電)高輪一五〇七、一五一五。株式。十五萬圓(拂込済)。(事務)山本魁介。(取締役)長野豐、大立目四郎。(營業)長里豐。(工務)大立目四郎。(従業員)五十六名。(營業科目)專賣特許印刷用ゴムローラー、ゴムブランケット及印刷用ゴム製品、膠性ローラー及材料。販賣高)參拾六萬圓。(供給先)全國並に滿洲各新聞社及各種印刷所並に印刷材料店、(特設)特許原料の製造、特許製作方法專有、グラインダー特別施設。(沿革)大正十二年創業、同十三年合資會社、昭和五年十二月株式會社に改組、資本金を金拾五萬圓に増資株式會社金陽社と改む。
 特許ゴムローラーに於ては既に定評あるところなるも本社本來の使命たる印刷用ゴム製品の研究の結果國産ゴムブランケットの完成。
 十年十月鐵骨二百坪の工場増

改築。
 十年十一月工場百餘坪の増築成る。(十一、十一、末)
 シンゲルトン、ペンダ商社印刷材料部 横濱市中區山

下町九六。(電)本局一〇五八。株式。百七十萬圓。(社長)ジ・エヌ・プロックハースト。(會計)松枝濱次郎。(營業)縮貫銃、松本守正。(従業員)廿五名。(營業科目)高速用エナメル並護膜ブランケット、マリノニ機及一般印刷用ブランケット、白羅紗、其他印刷用諸材料。(供給先)全國的。(沿革)明治三十年一月

創業。
 本店は英國倫敦市ロンドンウオール、横濱は支店。(十一、十一、末)

日本一の大縣!
兵庫縣!
 人口三百萬突破 戸數實に六十萬戸
 絶對的地位を把握して大兵庫を
 代表する **神戸新聞** の實力!
 今や正に一戸一紙主義の理想近きにあり
 縣内外を合せて **三十萬に接近す**
 近代戦は化學兵器に依り決定する
 商戦の化學兵器?
 それは **神戸新聞** である



全國主要廣告主一覽

一、本表は全國に於ける主要廣告主を其の廣告の品目種類に従つて分類した一覽表である。表の諸項目は一々廣告主について問合せたものであるが、締切期日までに解答を得なかつた分は手許の材料によつた。

一、各店配列の順序はイロハ順。
一、各店の記述は大體次の順による。(括弧内の文字はそれらの略稱)

記述の順序

商店名、所在地(東京は東京市を略す)、電話番号(電)、營業科目又は商品名、組織別、資本金、代表者、支配人、營業部長(營業)、廣告部長(廣告)、外主要幹部、一ヶ月の新聞廣告費概算(新聞廣告費)、其他廣告費概算(他廣告費)、使用新聞名又は其紙數、以上各紙の一ヶ月總契約行數又は段數、廣告取扱者(代理業)創業沿革及び特別設備(特設)、其他。(各項最後括弧内の數字は調査の年月日を示す)

右以外の特事項も必要に応じて記入す、不明又は不用と認むるものは記入せず。

藥品の部

伊藤長兵衛商店 大阪市高津表門筋。七福ひへ薬。
伊藤由五郎商店 大阪市東區

道修町三丁目。
伊藤千太郎商會(合資會社)

大阪市東區道修町三ノ二四。
(電)北濱二八八二。眼鏡片油製造元。合資。五十萬圓。(代表者)伊藤千太郎。(營業)野田次郎。

(廣告)同。(十一、十、一)

猪飼藥房 大阪市西區土佐堀南通二丁目二八。(電)土佐堀七九八。賣藥、ピットル散、イカイ胃散製造。合資。七萬五千圓。(代表者)山田藤太郎。(新聞廣告費)八千圓。(他廣告費)四千圓。(使用新聞)大朝、大毎、其他各地。(代理業)萬年、旭廣告、電通。(創業)明治十五年。

岩里天然堂(合名會社)別府市鶴水町。(電)八七九、一四四九。製藥、別府淋藥。合名。五萬圓。(代表者)岩里山雄。(支配人)山田經太。(營業)是永尊治。(廣告)柴田晴彦。(新聞廣告費)十圓。(他廣告費)二萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日、外全國有力新聞全般雜誌全般。(代理業)旭廣告、日本新聞通信、萬年、浪華廣告、直接の分あり。(沿革)三百年來の家傳業に最近醫學の粹を加味醫師多田秀範氏囑託診療部を設置す。

花柳病は一般世間の景氣不景氣の表徴となる傾向あり、最近滿洲國を始め全般的の賣れ行きよろし。(十一、十、二十七)

今津化學研究所(株式會社)

大阪市西區川區大仁本町三ノ七〇。(電)福島三三〇一。イマツ蠅取粉、イマツ芳香油、イマツミン、イマツ殺虫劑、イマツ蚊取線香、リキシン。株式。三十萬圓。(代表者)今津一郎。(支配人)永江千代吉。(營業)渡邊吉人。(廣告)梶田和一。(新聞廣告費)三十五萬圓。(他廣告費)五萬圓。(使用新聞)六十新聞。一箇月四五千行。(代理業)京華、電通、第一廣告、萬年、旭廣告、(沿革)創業大正十四年、株式に組織變更昭和七年十月二十日。

六六製藥研究所 杉並區高圓寺二丁目。クリマダ。

バイエル・マイステルチ

ウス製品合名會社 麴町區丸ノ内二ノ六。八重洲ビル、ア

ダリン其他。(本店への郵便物は神戸郵便局私書箱一〇七へ)

原澤水銀研究所 芝區高輪北町一七、コロイゲン。

濱野商事株式會社 麴町區丸ノ内三ノ六。六號館。バラ顯。

橋本健藏藥房 麴町區飯田町二ノ三八。ビポー製造元。(代表

者)橋本健藏。(代理店)電通、豐國。

橋本製藥株式會社 京橋區築地一。(電)京橋五五二四。新藥、賣藥類、自美化粧品。代表者)橋本德治郎。(廣告)山口石治。(化粧品の部にもあり)

■姉妹會社に濟生堂製藥所あり

日本放射製藥會社 大阪市北區會根崎町。ラヂオカクタ本舖。(代表者)平尾幸太郎。(代理店)直接、第一廣告社。

日本丸東京店 麴町區土手三番町一〇。

日本藥品洋行 大阪市京區伏見町三ノ二六。藥品貿易商。個人商店。(代表者)森下卯三郎。(支配人)森下玉仙。(廣告)玉川芳之助。(新聞廣告費)三萬圓。(他廣告費)二萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、東日、東朝、新愛知、福日、其他。(代理業)電通、第一、旭廣告、萬年、金水堂。(沿革)大正八年創業。

日獨醫化學研究所(オセロ洋行の姉妹機關)京橋區銀座一ノ七。はれやか。

日東製藥合名會社 芝區三

田通新町一三。ケンゴール。(沿革)昭和九年春、舊名日東藥化學研究所を合名組織と爲し日東製藥合名會社と改稱す。

■姉妹機關に文化榮養研究會あり。

保土ヶ谷曹達株式會社 麴町區內幸町一ノ三。大阪ビル。

星製藥株式會社 品川區大崎。(社長)星一。

■十年九月星一君臺灣星製藥株式會社(資本金百二十五萬圓)を創立す。

都南莊 大森區新井宿五四六。オゾ本舖。

鳥居商莊 日本橋區本町三ノ三。コロンエキス、グラビン、ダ

イモール、カルニン。(代表者)鳥井幸一郎。(廣告)林四郎。

東海貿易合名會社 京橋區銀座西三ノ三。ゾリパッド、ノボピン、其他。

東亞藥園 大阪市天王寺區東平野町三ノ二〇。スベルマチン。

東京理學療院 神田區萬世橋角。ラヂウム温泉。

東京藥院 芝區田村町四丁目四。(電)芝一八七四。賣藥製造、

テーム水、フミナイン本舖。個人經營。(代表者)横田政五郎。(支配人)山岸順三郎。(廣告)同。(新聞廣告費)七萬圓。(使用新聞)約百五十紙(東京、大阪、朝鮮、滿洲)。一ヶ月夏期約一頁。(代理業)直接、電通、愛國、新興社、萬年、廣告社。(沿革)大正三年。(十一、十、一)

東京新療法研究所 芝區神谷町一八。(電)芝三三三一。醫療器械、賣藥。合資。五萬圓。(代表者)久留宮留三郎。(支配人)水上文藏。(新聞廣告費)十萬圓。(他廣告費)一萬五千圓。(使用新聞)約四十五紙。一ヶ月一千行。(代理業)電通、豐國。(沿革)大正二年創業。(十一、十、一)

道修藥學研究所 大阪市東區道修町。カンピロン發賣。

常盤藥院 大阪市北區會根崎上一丁目。

友田合資藥會 日本橋區本町三丁目。フアゴール、ウラルゴ

ール、オトスプレローロール、ワキン、オレキシシ、其他。(代表者)友田貞吉。(廣告)柿沼源吉。

良成院 奈良市小西町。

療癢專門藥院 和歌山市三年阪。(電)一〇八三。療癢專門藥外三四種。個人經營。(代表者)富吉繁作。(支配人)北野一馬。(營業)富吉繁作。(廣告)岡本幸太郎。(幹部)辻泰男。(新聞廣告費)約六萬圓。(他廣告費)約二萬圓。(使用新聞)全國有力新聞約八十種、有力雜誌約十種、一箇月契約四段乃至六段。廣告取扱)萬年、電通、做糖社、第一廣告、日本興業通信社外直接新聞四五種。(沿革)創業大正八年五月。

オセロ洋行 京橋區銀座一ノ七。強壯劑オセロ、オセロ痔滅膏其他。(代表者)中島虎男。(新聞廣告費)六十萬圓。(代理店)新興社、電通、正路喜社。

■日獨醫化學研究所を設け、同所よりはれやかを發賣す。

小川歩哨堂藥品本店 王子區上十條町八十二。(電)王子三八二〇。新藥及賣藥製造。個人經營。(代表者)小川友三。(廣告)同。(新聞廣告費)一萬圓。(他廣告費)雜誌五千圓。(使用

新聞)大毎、東日、東朝、大朝、新愛知、北海タイムス、福日、臺日、満日。(代理業)廣告社一手扱。(沿革)大正十三年六月開業。(十一、十、二四)

尾村商店 大阪市東町南久太郎町一丁目。香雲散、顯効丸、セモリ販賣元。(代表者)尾村茂三郎。(代理店)電通、弘報、旭廣告、萬年。

大木合名會社 神田區鍛冶町三ノ三。(電)神田一〇五一九。賣藥、藥品、新藥、醫療補助品製造卸問屋、大木五臟圓、大木耳鼻藥、神靈水、ママー、下田式純肝油、パロール、ユデチン、オーカ、ママープラスター、ストマツゲル、トリブラール。(代表者)大木良輔。(廣告)寺西憲一。(使用新聞)約九十紙。(代理業)正路喜社、電通、聯合、中外通信、豐國、博報堂、日進通信。(沿革)萬治元年創業。

太田信義藥房 小石川區水川下町五九。「太田胃散」發賣元。(代表者)太田信義。

近江セールの株式會社 滋賀縣八幡町魚屋町。東京出張所

芝區琴平町二、不二屋ビル。(電)二五七、三一五、四一八。建築金物、洋家具、塗料、ピアノ及雜貨輸出入及メンソレータム。株式。二十萬圓。(代表者)吉田悅藏。(藥品部支配人)佐藤安太郎。(廣告)諸川稔。(主要幹部)M.W.ツォーリス、村田幸一郎、宮本文治郎。(新聞廣告費)十萬圓。(他廣告費)十萬圓。(使用新聞)都會紙及地方紙共五十紙。(廣告取扱)萬年、電通、正路喜社、新興社等々。

扇橋製藥株式會社 大阪市旭區新嘉多町アルボース製造元。わかもと本舖榮養と育兒の會(株式會社) 芝區芝公園十一號地ノ二。(電)芝一七五。わかもと、錠劑わかもと。株式。四百六十五萬圓。(代表者)長尾欽彌。(支配人)久保田弘。(廣告)上田良一。(營業)古谷伴。(幹部)川田又次郎。(新聞廣告費)百二十萬圓。(他廣告費)六十萬圓。(使用新聞)二百紙。一

簡月四段一八七段。(代理業)直接及び電通、博報堂、中外通信、豐國、新聞合同、滿洲弘報協會等。(沿革)昭和四年二月合資にて創業、八年株式に改む、工場世田ヶ谷區字奈根町、滿洲工場奉天。

■榮養と育兒の會の名稱を上記の如く改む。

■十年九月の新發田町大火に慰問班を送る。

■十一年四月より府下砧村奈根に長尾社長青年學校を創設す。校長は海軍大佐澤田嘉瑞穂氏である。

和光堂 神田區鍛冶町九。滋養食料品賣藥製造販賣。株式。百萬圓。(代表者)大賀謙二。(支配人)進藤隆一。(營業)永田鏡二。(廣告)更級征夫。(使用新聞)五十餘紙。(代理店)五店。

渡邊輝綱藥房 麻布區霞町二一。賣藥、製藥。株式。

加古忠常 兵庫縣明石市中町。(電)一五五。賣藥。個人經營。(支配人)中谷覺司。(廣告)柴田米次。(新聞廣告費)四萬圓。(使用新聞)大阪各新聞其他全國新

開。(段數)月極五百行と全三段もの二回。(代理業)萬年外敷店。創業大正三年。

嘉寶物産株式會社 大阪市西區阿波堀通一丁目一〇。(電)新町一〇七六、一八八四。(支店)東京市銀座西三丁目、菊正ビル。(電)京橋三一五一。藥品、賣藥の製造販賣及輸出入。株式。五十萬圓。(社長)嘉納治郎右衛門。(常務)江濱輝三。(藥品部長)松井啓。(廣告)同。(新聞廣告費)五萬圓。(他廣告費)三萬圓。使用新聞全國主要日刊二千紙。(段數)約一千行乃至一千五百行。(代理業)電通、合同通信、金水堂、旭廣告、一新社。(沿革)藥品部創業、昭和八年八月、會社創立昭和六年十一月。(工場及研究所)兵庫縣武庫郡園田村。(阪急沿線塚口) (十一、十、二〇) 合一ノ四〇。照內末。

神山合名會社 京橋區銀座西五ノ五。(電)銀座四八四一、五三三。造血素、カミリン、ラカス。(代表者)神山廣。(支配人)遠藤九十九。(營業)多川幸

大日本除虫菊株式會社 大阪市西區土佐堀三丁目。(電)土佐堀三一〇、六二六、六二七、八二七。除虫菊薄荷其他天產物輸出、右製品、金鳥香、ベルメル、キンチヨール製造販賣。株式。百五十萬圓。(代表者)上山勘太郎。(廣告)森澤五郎、竹内義一。(新聞廣告費)約二十萬圓。(使用新聞)約二百紙。(代理業)電通、旭廣告、萬年、京華。(沿革)明治十九年創業。

大日本製藥株式會社 大阪市東區道修町三丁目。ナガキエフエドリン發賣元。

大正製藥所(株式會社) 小石川區關口町一三三。(電)牛込四八三三、四四八二、四一七四。藥品各種製造販賣並輸出入。株式。一百萬圓。(社長)石井絹治郎。(常務)高木好彦。(營業)同上。(廣告)林鋼一。(大阪支店)長三郎。(大連支店)長三郎。(工場)石井定雄。(新聞廣告費)三十六萬圓。(他廣告費)十五萬圓。(使用新聞)全國約六十紙一ヶ月一千行より六千行。(代

理業)正路喜社、大同通信。(沿革)現社長石井絹治郎氏の個人經營を以て約三十年前に創業、大正元年大正製藥所と改め、昭和三年三月組織を株式に改む、創業以來新製品の發賣に努め、現在種目百數十に及ぶ、直接取引店は全國に一萬數千軒を有し販賣網充實研究機關として日本微生物研究所を有し常に醫學の研究に努む、十數年前には營養強壯劑體素、現在植物ホルモン劑ネオネオギーの廣告に力を注ぐ。(特許)日本微生物研究所(事務所)大正製藥所内、(研究室)大正製藥所高田工場内。細菌及藥物の研究を目的とす。(理事)石井絹治郎。(所長)農博松葉重雄。(研究家)農博松岡富治、理博山口與平、醫博三井圭造、農博住江金之。研究機關完成の新製品は一切同製藥所に於て製造發賣せらる。(十一、十、一)

泰昌製藥株式會社 (三共經營) 日本橋區室町三共ビルヂング内。(電)日本橋三九八、三二三一一九。ゴルフ胃腸藥、アト

三。(廣告)佐藤信一。(使用新聞)地方紙五十八、東京紙四。(段數)總計五百頁。(代理業)主に直接。

神戸衛生實驗所 神戸市林田區二番町二ノ一。ピオフィルミン本舖。

川副健康研究所 麴町區下六番町五三。(電)九段一四五一、三五八四。製藥販賣。(所長)川副綱吉。(營業)阿部武雄。(廣告)佐藤四郎。(幹部)道添森太郎、上野一。(新聞廣告費)一萬五千圓。(他廣告費)五千圓。(使用新聞)東日、東朝、大毎、大朝。(代理業)旭廣告。(沿革)昭和五年早稻田鶴巻町に於て製藥免許を得同所に於て製藥製造販賣をなし八年九月現所在地に移轉現在に至る。

河合洋行 本郷區菊坂町五二。海貴來、安來散、パウル氏散。個人經營。(代表者)川村源市。(新聞廣告費)二十萬圓。(使用新聞)全國一般。(契約段數)三十段乃至六段。(代理店)大同通信。片倉榮養化學研究所(米の母本舖) 京橋區三丁目片倉ビ

田邊元三郎商店 日本橋區本町二丁目。(電)日本橋三〇六六一三〇六九。藥品。法人。百萬圓。(代理者)田邊金次郎。(廣告)内藤豐次。(代理業)電通、弘業、聯合、廣告、其他。

ラ目薬、三共ヨウモトニツク、
 其他の賣薬、化粧品、製造販賣。
 五十萬圓。(社長)鹽原又策。(常
 務)福井藤吉。(廣告)坪井進之
 助。(新聞廣告)約十萬圓。(他廣
 告費)約三萬圓。(使用新聞)大
 朝、大毎、東朝、東日、讀賣、
 其他都市紙、地方紙計三十種。
 (代理業)三共廣告課經由。(沿
 革)大正三年本邦民間藥の向上
 と海外發展を基調として、設立
 せられ、三共株式會社とは最も
 密接なる關係を有つ姉妹會社な
 り。胃腸藥ゴルフ、目藥アドラ
 外數十種の賣薬、新藥の製造販
 賣並に三共株式會社の製造にな
 る養毛料ヨウモトニツク並に三
 共サニリ化粧品料の發賣元として
 廣く化粧品界へも進出しつゝあ
 り。(十一、十、二四)

第一工業製藥株式會社 京
 都市下京區七條千本南。(電)下
 八五五一―四。石鹼及工業藥品。
 株式。一百萬圓(拂込済)。取締
 役社長)小野茂平。(營業)柳定
 雄。(廣告)折田重彰。(新聞廣告
 費)金十萬圓。(他廣告費)二萬
 圓。(使用新聞)東朝、東日、讀

賣、大朝、大毎、新愛知、名古屋、
 福日、泰日、滿日、京日、
 釜日、外數紙。一ヶ月千行乃至
 二千行。(代理業)大阪電通、萬
 年、京華。(沿革)創業明治四十
 二年、大正七年株式會社に改む。
 (十一、十一、一)

谷回春堂 大阪市東區伏見町二
 ノ一。(電)北濱四五七、四五八。
 賣薬新藥化粧品。合資。二十萬
 圓。(代表者)谷新助。(支配人)
 佐藤兼次郎。(營業)同。(廣告)
 幡地正五郎。(使用新聞)大朝外
 約五十社。(代理業)萬年外五六
 社。

高橋盛大堂 神田區柳町四。
 清快丸、トリート、賣薬一般。
 (使用新聞)全國有力紙。

高木藥品部 日本橋區元大阪
 町八。清輝湯、清心丹販賣元。
 (代表者)高木與兵衛。(代理店)
 電通其他。

玉置文治郎商店 (株式會社)
 日本橋區兩國二ノ一。(電)浪二
 七、二八、五五、五一〇。藥品
 問屋。株式。二萬圓。(代表者)
 玉置文治郎。(支配人)玉置忠雄。
 (營業)二村末吉。(新聞廣告費)

五六萬圓。(代理業)各本社直接。
 創業明治四十年。(十一、十、二
 〇)

玉置合名會社 日本橋區本町
 一ノ九。(電)日本橋一〇五〇一
 六。宣傳部専用二四〇六。藥品、
 賣薬、滋養品、化粧品卸賣。合
 名會社。三十萬圓。(代表者)玉
 置金八。(支配人)田中喜一郎。
 (廣告主任)安孫子邦造。其の外
 販賣(市内、地方)發送、仕入、擴
 張、製藥等の各部に十餘名の主
 任を置く。(新聞廣告費)約百萬
 圓、其の他三十萬圓。(使用新聞)
 全國、約百五十社。(使用代理店)
 正路喜社、電通、廣告社、萬年、大
 同、弘業、京華。(沿革)本社は前
 記の卸賣業を専門とし、姉妹會
 社玉置製藥株式會社(資本金五
 十萬圓、社長玉置金八)の製劑
 せる、スマイル、小松ちの藥、
 ヨーヂ水、エトナ(婦人病藥)、
 フラバ、外十數種の製劑の販賣
 もたし併せて妙布、君が代、黒糊
 蝶、理化學研究所發賣の理研ゾ
 イタミン外數種の化學的製劑の
 一手發賣元を引受く。近年又國
 産殺蟲劑アリス、及家庭常備藥

アリスタム、並に講談社發賣の
 どりこの、及各種家庭藥、大多
 喜天然ガス發賣のブルトール
 ツ總代理店をも引受く。
 十年九月新藥アデンを發賣す
 (十一、十、二〇)

武田長兵衛商店(株式會社)
 大阪市東區道修町二ノ二七。
 (電)北濱五〇二一―八。局方藥
 品、新藥、新製劑の製造並に販
 賣。株式。八百五十萬圓。(代表
 者)武田長兵衛。(支配人)竹田
 義藏。(廣告)森本寬三郎。(使用
 新聞)約百紙。(代理業)金水堂、
 旭廣告、大阪電通、合同通信、
 中央廣告社。(沿革)創業天明三
 年(昭和十一年を距る百五十三
 年)。

竹村製劑所 大阪市南久太郎
 町二丁目。リペール。
 三。賣薬、新藥、化粧品。個人
 經營。(代表者)森平兵衛。(支配
 人)張田徹郎。(營業)同。(廣告)
 室谷久光。(幹部)堀江常介、炭
 井光藏。(使用新聞)約七十紙。
 (代理業)萬年、京華、電通、旭、
 其他。

丹平商會 大阪市南區順慶町通
 三。賣薬、新藥、化粧品。個人
 經營。(代表者)森平兵衛。(支配
 人)張田徹郎。(營業)同。(廣告)
 室谷久光。(幹部)堀江常介、炭
 井光藏。(使用新聞)約七十紙。
 (代理業)萬年、京華、電通、旭、
 其他。

津村敬天堂 豐島區池袋七三
 三。製薬、賣薬。(代表者)津村
 嘉吉。

津村順天堂 日本橋區通三ノ
 八。株式。中將湯、童丸、ツム
 ラ體温計。(代表者)津村重舍。
 (廣告)清水。
 十一年五月從來個人經營の本
 店を株式會社に組織を改む。
 同五月社長津村重舍君貴族院
 議員を辭任す。

辻野莊園 大和國生駒町北新
 市。

名古屋衛生研究所 名古屋
 市東區千種通。トミ山齒藥。
成毛英之助商店 日本橋區本
 町三丁目五ノ二。(電)日本橋二
 八一〇、三七六四。猫イラズ。
 わかやなぎ。個人經營。(代表者)
 成毛英之助。(新聞廣告費)三萬
 圓。(他廣告費)二萬圓。(代理業)
 中外通信、正路喜社。

成川藥學研究所 下谷區谷中
 初音町四ノ一五九。(代表者)成
 川和齋。

中村瀧商店 日本橋區本町三
 丁目五ノ二。(電)日本橋八六九、
 三五六〇―一。藥品問屋業。株

式。一百萬圓。(代表者)中村瀧
 次郎。(廣告費概算)二萬圓程度。
中村信治 小石川區武島町三
 三。賣薬、プロチン。
中南定太郎 京橋區銀座西二
 ノ三。レーベン、賣薬。
南信堂新藥店 麻布區斧町一
 七三。アンチペリペリン、ワカ
 末。(代表者)宮崎三治郎。
無量壽藥園 小石川區下富坂
 町二〇。タラコン湯、ぜんそく
 湯、其他賣薬一般。(代表者)石
 塚吉藏。

歌橋製藥所 品川區南品川五
 ノ一三。伴痔膏。
功德山徳林寺 大阪府下小坂
 町。
黒田市の助商店 日本橋區本
 町二ノ三。(電)日本橋二六三七
 一九、二六九六。染料、塗料、
 一金かとり香、工業藥品、仁王
 へのう油。個人經營。(代表者)
 黒田市の助。(廣告)同。(新聞廣
 告費)一萬五千圓。(他廣告費)
 五千圓。(使用新聞)東京市内及
 地方各一流紙。(代理業)電通、
 正路喜社、其他。(沿革)明治
 十五年。(十一、十一、一)

黒田藥品商會 大阪市今橋二
 丁目。ハツモンコメット。
花柳病豫防協會 荒川區尾久
 町八丁目。(電)下谷四一四三。
 賣薬並に醫療器。合資會社。五
 萬圓。(代表者)齋藤治三郎。(廣
 告)同。(新聞廣告費)十二萬圓
 内外。(使用新聞)一縣一社代表
 新聞。一箇月約一頁。(代理業)
 大部分は直接、東日、大毎が新
 興社。

化學興業株式會社 本郷區
 上富士前町。各種化學藥品製造
 販賣。(代表者)永岡采里。
倉上製藥品販賣所 麻布區
 一本松三七。
八木合名會社 芝區櫻田備前
 町五。快淋湯。
山川製藥株式會社 丸の内
 一ノ六。海上ビル。山川アスピ
 リン。
山田安民藥房 大阪市東區南
 久寶寺町二。賣薬、胃活、胃活
 錠、ロート目藥。(代表者)山田
 安民。
山崎帝國堂 神田區花房町二。

毒掃丸本舖、一般賣薬。(代表者)
 山崎嘉太郎。(代理店)萬年、電
 通、博報堂。
山彦除虫菊株式會社 大阪
 市南區東清水町。(電)南四〇九
 六。ライオンかとり線香、同除
 蟲粉、同殺蟲劑。株式。五十萬
 圓。(常務)松本平次。(廣告)同。
 (新聞廣告費)三萬圓。(他廣告
 費)二萬圓。(使用新聞)大朝、
 大毎、東朝、東日、福日、新愛
 知、北海タイ、河北、新潟毎日、
 山陽、京城日、滿日、臺北、臺
 北、九日、德每等。(段數)初夏
 一箇月五百行。(代理業)京華、
 旭廣告。
安川晃榮堂 麴町區永田町二
 ノ七〇。安川コロダイン、猿馬
 印しもやけ藥販賣元。(代表者)
 安川榮次郎。(代理店)電通、弘
 報堂、萬年。
マルキイリスト 京都府宇治
 五ヶ莊。
間部醫天堂 牛込區袋町五。
丸善藥店 大阪市東區道修町二
 ノ二。(電)本局五一四―五一
 五。工業用藥品、醫藥用藥品、
 其他藥品類一般直輸入卸賣。

個人經營。(代表者)柳原三郎。

(沿革)明治十七年創業。

啓有社藥品部 神田區九段上

九段ビル。オロサン。

二巴合名會社 大阪市東區道

修町二丁目。(電)本局一五五九、

エキホス、グアヤコールエキホ

ス。十萬圓。(代表者)竹田義藏、

鹽野義三郎。(使用新聞)大毎、

大朝、東朝、東日、時事、報知、

讀賣、國民。

藤井得三郎商店 神田區豐島

町。三番地二。(電)浪花八〇五、

九二〇。龍角散本舖。五十萬圓。

(代表者)藤井米次郎。(廣告)藤

井勝之助。(使用新聞)百四十社。

十年十二月三十一日本舖創設

者藤井得三郎君逝く。享年七十

八。

佛國スウデスト學術部 芝

二五五名。

佛國スウデスト學術部 芝

區新橋六ノ二。ボキシ發賣。

文化榮養研究會 芝區三田通

新町一三。

日東製藥合名會社の姉妹機關

たり。

福井對關堂 大阪市東區高麗

橋詰町四八。(電)東六〇九。外

用塗藥「不可飲」。個人經營。(代

表者)福井忠次郎。(支配人)越

智正。(營業)同。(廣告)同。

(新聞廣告費)三萬圓。(代理業)

十數店。(沿革)創業明治初年。

袋屋藥局 熊本縣隈府町。

古醫學研究所 京橋區西八丁

堀二ノ一七。フリチ錠發賣元。

小林大藥房 大阪市西區京町

堀二丁目。(電)土佐堀五〇。賣

藥製造及問屋業。株式。五十萬

圓。(代表者)小林吉太郎。(支配

人)二宮慎。(廣告)同。(新聞廣

告費)三萬五千圓。其他五千圓。

(新聞)五十社。(廣告取扱)本社

直接の外、電通、合同、旭、萬

年。(沿革)明治二十三年創業。

小林聯行 日本橋區本町三ノ

七。一般賣藥、製藥。(代表者)

白井米次郎。

小西新兵衛商店 日本橋區本

三ノ九。テツゾール。個人經營。

(代理店)電通。

三共株式會社 日本橋區室町

二ノ二。(電)日本橋三二二一(代

表)醫療用品及衛生材料一般

工業、農業、醸造及理化學用藥

品、醫療器械、化粧品、ペーク

ライト等。株式。千二百萬圓。

(社長)鹽原又策。(營業第一部

長)同。(第二)古田宗二郎(常

務取締役)。(第三)福井源二郎。

(同)(廣告課)矢野重弘。(廣告

課員)次長大日方吳外六三名。

(廣告係主任)小林友藏外六名。

(新聞廣告費)二十八萬圓。(他廣

告費)三十萬圓。(使用新聞)東

京十六社、大阪五社、地方百十

社、一箇月東京、大阪、七段以

上二十五段、地方約一頁。(代理

業)電通、豐國、弘報堂、萬年、

正路喜社等。

十一月五月鹽原信一君の取締

役就任と共に廣告、宣傳、企劃

等は同君の管掌となり矢野重弘

君は菊池武一君に代つて廣告課

長となる。

參天堂株式會社 大阪市東區

北濱一ノ二三。(電)本局一二〇

町三。一般醫藥。

後藤デシン本舖 (株式會社)

神戸市八雲通四ノ一。(電)葺合

三一。後藤デシン。株式。二

十萬圓。(代表者)後藤藏二郎。

(支配人)原田幾藏。(新聞廣告

費)二萬圓。(使用新聞)殆ど全

國的。(代理業)京華社外。

國際ホルモン研究所 大阪

市南區鯉谷仲ノ町。コムホルモ

ン發賣元。

駒場製藥所 澁谷區櫻丘町一

六。(電)青山二九六五。耳の藥

オートミン、鼻の藥ピオトミン、

個人經營。(代表者)富田富三郎。

(新聞廣告費)二萬五千圓。(使用

新聞)約百二十社。(廣告取扱)京

華、聯合、萬年、弘報、昭榮、大同

通信。(創業)大正三年四月。

アルゼールトミー合資會

社 牛込區市ヶ谷富久町六〇。

製藥、賣藥。

アルス 神田區神保町三丁目。

(電)九段二一七五、二一七六。

藥品。個人經營。(代表者)北原

鐵雄。(廣告)小山進。(新聞廣告

費)三十萬圓。(他廣告費)十萬

圓、機關誌。パンフレット其他

四一五、五五八五。大學目藥、

(プリン丸、健通丸、參天セキ

藥、サンテ。株式。百萬圓。(代

表者)三田忠幸。(沿革)明治二十

二年田口謙吉の個人經營として

創業、大正四年田口謙吉を代表

社員とする資本金二十萬圓の合

資會社に變更、大正十四年三田

忠幸を社長とする資本金百萬圓

の株式會社となし今日に至る。

笹岡省三藥房 京橋區新榮町

四ノ一。命の母本舖。(代表者)

笹岡省三。

喜谷市郎右衛門商店 京橋

區京橋一ノ九。(電)京橋五五、

五六。喜谷實母散、スポイトル。

個人經營。(代表者)喜谷市郎右

衛門。(支配人)小林誠之助。(廣

告)笹岡實。(使用新聞)六十五

紙。一箇月總契約約百五十段。

(代理業)電通、博報堂等。(沿

革)正徳三年創業。

貴命堂本家(合資會社)福岡縣

八幡市春の町電停前。(電)六一、

九〇一、一三〇五。一步進んだ

婦人藥惠乃玉本舖。合資。十萬

圓。(代表者)眞鍋富次。(理事)

左方讓三、吉川清治、美根力、

雜誌廣告等。(使用新聞)東朝、

東日、讀賣、報知、時事、中外、北

タイ、小樽、名古屋、新愛知、大

朝、大毎、大時、中民、福日、

九日、京城、臺日、滿日其他地

方紙數十社。一箇月五千行内外。

代理業)博報堂、新興社、弘報

堂、八昭堂、(沿革)創業大正四

年四月。

出版業兼營。

安住大藥房 大阪市西淀川區

大仁町西一丁目。安住除蟲粉、

安住蚊取線香。(代表者)安住伊

三郎。

有田ドラッグ商會 大阪市

天王寺區石ヶ辻町五〇。(電)天

王寺七一、九五五。賣藥業。

個人經營。(代表者)有田晉松。

(支配人)有田二郎。(營業)井川

廣文。(廣告)有田二郎。(副會主

販賣部長)有田勉夫。(庶務)土

屋朋士。(工場長)瀧澤芳治郎。

(新聞廣告費)二十一萬圓。(他廣

告費)五萬圓。(代理業)新興社、

合同通信、電通、旭廣告。(沿革)

明治四十一年創業、チエーレンシ

ステムによる專賣所制にて販賣

す。(十一、十二、十五)

三谷隆(監事)細江政助。(營業)

吉川清治。(廣告)田中唯一郎。

(新聞廣告費)八萬圓。(他廣告

費)婦人雜誌五萬五千圓、其他

の廣告三萬圓。(使用新聞)大朝、

大朝、大毎、東日及び地方有力

紙。一ヶ月現在には四新聞各一千

行。(代理業)東京、正路喜社、

大阪、旭廣告社。(沿革)家傳業

「弘授貴命丸」に化學的研究

を加え「惠乃玉」と改稱し昭和三

年十月會社組織と成りて今日に

至る。(十一、十二、十六)

木村製藥所(株式會社) 兵庫

縣赤穂郡坂越町。(電)坂越一、

十五。殺蟲劑アース、アースタ

ム、地球印炭酸マグネシウム。

株式。二百萬圓。(代表者)木村

秀藏。(支配人)木村利一。(營

業)木村英次郎。(廣告)同。(幹

部)濱田廣告。(新聞廣告費)三

十萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、

東朝、東日、讀賣外五十餘社、

(段數)二千行以上一萬行。(代理

業)直接及旭廣告、昭和廣告。(十

一、十二、二〇)

起生園 奈良縣榛原町一條通。

祇園藥草研究所 神戸市湊區

里村三治商店 日本橋區本町

若林豐圓。

西養寺 廣島縣豐田郡忠海町四

七六四。療鼻湯發賣元。(代表者)

里村三治商店 日本橋區本町

青木嵩山堂 大阪市西區阿波

座上通一ノ一〇。賣藥。

荒川長太郎合名會社 名古

屋市東區京町二丁目。(電)東一

一三七、三三六三、五一〇四。

藥種貿易商、賣藥卸問屋、ノイ

シン本舖。百五十萬圓。(代表者)

荒川長太郎。(支配人)加藤鐵治

郎。(廣告)鈴木勇一。

淺田鉛本舖 神田區鍛冶町七

「淺田鉛」其他賣藥。(代表者)堀

内伊太郎。

齋藤滿平藥局 麴町區麴町二

丁目。(電)九段六〇八、一八八

六。藥品、化粧品、製造販賣。個

人經營。(代表者)齋藤實。

濟生堂製藥所 京橋區築地一

ノ四。(電)京橋一〇二七、五五

二三。新藥、賣藥、化粧品。合

資。三十萬圓。(代表者)橋本弘。

(營業)山田謙平。(廣告)山内武

太郎。

姉妹會社に橋本製藥株式會社

あり。

西養寺 廣島縣豐田郡忠海町四

七六四。療鼻湯發賣元。(代表者)

若林豐圓。

里村三治商店 日本橋區本町

若林豐圓。

里村三治商店 日本橋區本町

上三條町八六ノ二。(電)漆川四〇四四。藥草糖尿酸。資本金五萬圓。(代表者)森末博。(新聞廣告費)二萬圓。(使用新聞)大毎、大朝、地方紙。(廣告取扱)倣儀社、第一廣告、弘知社等。(沿革)大正七年創業、昭和二年神戸市に移轉、八年八月株式に變更。

玉草園本店 市都府山城國綴喜郡草内村。

金星商店 芝區田村町三ノ一四。賣藥ホドヂン。

明光社 麴町區元園町一ノ五一。賣藥。

三田村商店 神田區和泉町一製藥、賣藥。

明星社 大阪市東區高麗橋詰五。

峰岸淋丹本家 日本橋區通三丁目六ノ五。

宮内善進堂(合資會社) 大阪市東區南久富幸町二ノ一五。(電)船場五四五、三四五九。賣藥製造販賣。合資。十五萬圓。(代表者)宮内藤吉。(營業)長尾隆平。(廣告)末國泉。(新聞廣告費)三萬五千圓。(他廣告費)四萬五千圓。(使用新聞)約六十社、雜誌十社。(代理業)萬年、

新興、第一廣告、弘業通信、金水堂。(十一、十一、末)

柴崎仁壽堂 下谷區御從町三の九〇。(電)小石川六三二七。ゴノモト、セーピン、エモゴール。個人經營。(代表者)柴崎豐。(廣告)同。(新聞廣告費)三萬六千圓。(他廣告費)雜誌一萬二千圓。(使用新聞)大朝、東朝、讀賣、愛知、時事、新愛知、名古屋、福日、九日、九日、鹿兒新、大分、長崎日々、廣中、關門日々、合同、四國、富山日報、北越、河北、タイムス、旭川、函新、滿日、盛京、奉天、大新京、臺日、釜山、計卅社。(段數)三段以上七段。(代理業)直接及電通、豐國、萬勉。(沿革)大正六年開業。(十一、十、二〇)

鹽野義商店 大阪市東區道修町二丁目。(電)本局四〇九〇。藥種貿易商。株式。五百萬圓。(代表者)鹽野義三郎。(總務部長)小川保二郎。(營業)家城惣次郎。(新聞廣告部員)私市八三郎。(使用新聞)大朝、大毎外七十餘紙。(廣告取扱)金水堂、電通、新興社外。

七ふくや 大阪市高津表門筋。松葉園 奈良市小西町二〇。

篠原寶命堂 品川區南品川八九九。婦人藥保命湯、保命球、商標痛藥、ホケン散。個人經營。(店主)篠原久五郎。(廣告部員)二名。(新聞廣告費)十二萬圓。(其他)二萬圓。(使用新聞)大毎、大朝、東日、東朝、國民、每夕、新愛知、福日、北海タイムス、小樽、その他八十六社。(契約段數)十四段より三十段迄。(代理店)全部直接。(近年の廣告史)創業以來新聞廣告のみにて立ち、雜誌廣告せず。

守隨彦太郎 日本橋區本町四丁目三ノ八。(電)日本橋八八、三七六五。化學工業藥品及新藥。個人經營。(代表者)守隨彦太郎。(使用新聞)主として東日、東朝、地方は別。(廣告取扱)正路喜社。(沿革)創業は遠く天正十年江戸秤座、藥品は大正六年より。

■當店は度量衡器以外主として化學工業殊に染料爆藥原料の製造をなす。

春光堂 四谷區傳馬町二ノ三。ピーマン本舖。

順和商會 大阪市東區清水谷西ノ町三六五。胃腸藥アイフ、ハロー、清血丸。(代表者)谷口作治郎。(代理店)旭廣告、新興社。

順天堂藥院 目黒區下目黒三ノ四四四。製藥、賣藥。

ヒヤ合資會社 大阪市東區天滿橋。ヒヤ奇應丸。

モンブラン製藥所 大阪市西成區千本通一丁目。

師岡天然堂 神田區末廣町一ノ九。(電)下谷二二三。賣藥。個人經營。(代表者)師岡花枝。(新聞廣告費)五萬圓。其他二萬圓。(使用新聞)七十紙。(契約行數)二段半乃至三段半。(廣告取扱)大同通信、直接。

森田製藥所 京橋區新富町三ノ二。回効散、其他一般藥品。(代表者)森田米治。

森下博營業所 大阪市東區玉堀町。懷中藥仁丹、仁丹ハミガキ、仁丹體溫計、驅微劑毒滅。(代表者)森下博。(廣告)谷本弘。

守田治兵衛商店 下谷區池ノ端仲町二。寶丹、守妙、立効散、外七十餘種。(代表者)守田

化粧品部の部

須美商店 大阪市東區北濱四ノ四〇。(電)本局三二八六。結核免疫元A〇發賣。(代表者)穴纒卯一郎。(新聞廣告費)六萬圓。(他廣告費)一萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日、讀賣、時事、地方紙多數。(代理業)萬年、第一廣告、金水、其他。(沿革)昭和二年三月創立。

鈴木日本製藥社 日本橋區濱町三ノ五二。(電)茅場八〇、九〇。ベルツ丸本舖。個人經營。(代表者)鈴木清二。(支配人)鈴木重雄。(營業)同。(新聞廣告費)二十五萬圓。(使用新聞)一流紙三十五紙。(創業)二十一年。(十一、十、二〇)

伊東胡蝶園 麻布區本村町一四五。御園白粉外化粧品一般。(代表者)伊東榮。(營業)北村秀夫。(廣告)望月九一。

井田京榮堂 本所區堅川町二ノ六。メスマ化粧品製造所。個人商店。(代表者)井田友平。(支

配人)井田良平。(新聞廣告費)二十萬圓。(使用新聞)全國五十紙。(代理店)正路喜社、廣告社、電通。

井筒屋香油店 日本橋區人形町三ノ一。「みづ、油」發賣元、其他香油一般。(代表者)金原己三郎。(廣告)服部榮次郎。

井上太兵衛商店 日本橋區室町四ノ二。おしどりつばき香油。(代表者)日本橋區人形町。

磯野化學研究所 小石川區西原町一ノ一〇。ドン白粉本舖。(代表者)磯野吉夫。(代理店)弘業通信、其他。

橋本製藥株式會社 京橋區築地一ノ二四。(電)京橋五五二四。白美液、白美白粉、ビトクつばきボマード、新藥、賣藥類。株式。百二十萬圓。(代表者)橋本徳次郎。(支配人)橋本英一。(營業)杉山文雄。(廣告)山口石治。(藥品の部にもあり)

日本トレビアン商會 京橋區銀座二ノ二。越後屋ビル。(電)京橋七四〇、七四一、一五八三。化粧品朝のトレビアン(水クリ

ーム)、若返り美顔料液のトレビアン(クリーム)。(代表者)新本勝。(新聞廣告)月十頁内外。(使用新聞)大朝、東朝、東日、時事、名古屋、九日、北海タイムス以上八年十一月現在。(創業昭和七年十一月)。

日本化粧品製造株式會社 大阪市東區川區三津屋町三六二。カザリン化粧品。株式。五萬圓。(代表者)市川肇。(廣告主任)小島和泉、外二名。(使用新聞)大朝外約三十社。(契約行數)一千行。(代理店)新聞合同通信。

堀越嘉太郎 神田區岩本町一三ノ四。ホーカ化粧品一般。(代表者)堀越嘉太郎。

ベルベツト石鹼株式會社 兵庫縣武庫郡大石村。(電)福島四四五七。石鹼製造業。株式。(代表者)山田啓之助。(取締役)吉田文熊。(營業)片山直亮。(廣告)田村一良。(總務)朝藤勇。(製造)中谷光造。(使用新聞)業界新聞のみ。(代理業)直接。(十一、十、二〇)

徳田商店 下谷區谷中清水町五。あせしらず。

千代田山岸商店(株式會社) 豊島區池袋一丁目六八。(電)大塚二二三〇。千代田香油本舖。株式。十五萬圓。(代表者)山岸徳治郎。(沿革)明治十九年創業。(十一、十、二〇)

リーガル商會 日本橋區本石町三ノ一四。ベジリン香水、其他。

小川潮華園 日本橋區橋町三ノ八。(電)浪花八〇七、一〇三二。無害染毛劑王冠、黒染ボマード、さざ波石鹼、プリリアントクリーム。(代表者)小川和一郎。(支配人)小川武之助。(營業)小川博。(廣告)小出龍男。(幹部)今川五郎。(代理業)豐國、萬年、廣告社、新興等、他は直接。(沿革)明治二十六年創業。

大江藥學研究所 大阪市東區道修町三。化粧品一般。

大崎組 大阪市東區安土町四丁目。金鶴香水、化粧品一般。(代表者)大井房三。

大島椿製油所 伊豆大島元村。椿ボマード其他。

岡田商店 大阪市東區高麗橋一丁目。ホドヂン。

岡本信太郎商店 京橋區京橋

三丁目十三。(電)京橋四三三三、六〇七七。舶來化粧品雜貨卸。(代表者)岡本信太郎。(廣告)中村吉直。(代理業)電通、博報堂、正路喜社。(沿革)創業大正八年。(十一、十、二〇)

奥住商店 淀橋區柏木町一ノ八
二。ラブリミ化粧品。株式。
カシヤ化粧品本舗 大阪市東區淡路町三丁目二四、二五。(電)北濱三三七一、三三七二。化粧品製造販賣。個人經營。(代表者)丸屋七郎。(支配人)山本現救。(營業)東與市。(廣告)柏井太一。(新聞廣告費)十萬圓。(他廣告費)三十萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、東日、名古屋、新愛知、福日、北海タイムス、其他地方紙。(段數)一頁。(代理業)旭廣告。(創業)明治三十二年六月十七日。(十一、十、二〇)

ヨルカ化粧品營業部 京橋區銀座西六交詢ビル。ヨルカ榮養クリーム、其他。

吉田萬珠堂藥房 日本橋區米澤町二ノ一。

ダイナー本舗 京橋區築地一丁目。(電)京橋二二三六。ダイナー化粧品。(代表者)飯島茂雄。十年十二月築地ビルより築地一ノ一六へ工場並に事務所を移轉す。

田中善株式會社 大阪市博勞町一。ニード化粧品。

大洋商會 芝區二本榎町二ノ三。

高橋東洋堂 牛込區東五軒町三五。(電)牛込六七〇、六八〇。アイデア化粧品。株式。五十萬圓。(代表者)高橋三四郎。(營業)會川賢三。(廣告)永田宗太郎。(廣告部主任)坂本貞章。(代理業)正路喜社、萬年社、廣告社。(沿革)創業明治二十六年十月。(十一、十、二〇)

レオン商會 神田區小川町ビロ。(電)神田一八三七、三五四三。レオン洗顏クリーム。株式。(代表者)原敏三郎。(支配人)同。(營業)吉川爲雄。(廣告)同。(新聞廣告費)二十五萬圓位。(他廣告費)不同。(使用新聞)約四十紙。(段數)一紙二千行契約。(代理業)電通、博報堂、正路喜社、八昭堂、其他四社。(十一、十、二〇)

マスタートー化粧品本舗尙美堂 蒲田區蒲田町一四二。(電)高輪三二四〇、三五五〇。蒲田二〇〇五。マスタートー化粧品製造販賣。個人商店。(店主)阪本一郎。(支配人)太田清。(營業)同。(廣告)石黒泰治。(外幹部)楠本政太郎、太田國吉。(新聞廣告費)二十五萬圓。(他廣告費)三十五萬圓。(使用新聞)中央紙六社、地方紙二十八社。(段數)各紙二千行以上一萬行迄の間。(代理業)正路喜社(一部分)、(新興社)一部分。(沿革)創業大正十五年七月十五日。(特設)マスタートー化粧品化學研究所(所長理學博士西澤勇志智)。マスタートー美容研究室(指導顧問東京婦人美容協會々長小口みち子)。

浦田梅屋敷 現地に店舗工場新築落成移轉(十一年四月)。

宣傳部事業として企畫課を新設、マスタートー、ビュウテイ、ガイ(D美容御相談係)を養成、美容講習會、移動美容室の設置により直接宣傳を離れ、正しい美容知識の普及に奉仕的に活動を開

始(同六月)
丸見屋商店 日本橋區兩國二丁目。(電)代表浪花二二二。ミツワ石鹼、サワ白粉、ミツワ家庭藥、規那織葡萄酒、肝油ドロップス。個人經營。(店主)三輪善兵衛。(支配人)三輪善太郎。(販賣課)松永宗吉。(廣告課)藤田篤。(外主要幹部)吉田龜。(廣告取扱)電通、正路喜、京華、豐國、弘業。(沿革)萬延元年創業小間物卸商、明治三十七年御園白粉發賣元となる。明治四十四年ミツワ石鹼を發賣、大正四年化學研究所を設置す。大正二年よりグリセリンを製造し陸海軍御用となる。大正五年東西十七新聞社より推賞金杯を受く。大正七年朝鮮に農場を設け國產葡萄酒の醸造を始む。昭和六年サワー化粧品を發賣す。九年五月總支配人波多海藏君相談役となる。

松浦商店 大阪市北區富田町二七。ピタオール石鹼、同ポマード其他。

松澤商店(合名會社) 神田區多町一ノ三。(電)神田三二二。

外。
久保政吉商店 本郷區本郷三。(電)小石川四五四〇、一三五二。ウテナ化粧品製造。個人經營。(代表者)久保政吉。(廣告)久保伸進。(使用新聞)月に依り増減あり。(廣告取扱)電通、萬年、弘業、弘信。

花王石鹼株式會社社長瀨商會 日本橋區馬喰町二丁目。(電)浪一一一五。花王石鹼、花王シャンプー、ビーズ、花王バート、クレンザーホーム、花王粉石鹼、花王水石鹼、月星グリセリン、其他。株式。四百萬圓。(社長)長瀬富郎。(副社長)山崎高晴。(使用新聞)全國主要各新聞。(沿革)明治二十三年創業、同四十四年合資組織とし、大正十四年株式組織に變更、昭和五年新裝花王石鹼發賣、同九年原料自給策を樹立、同十年三月四百萬圓に増資し更に大日本油脂株式會社(資本金六百萬圓)設立。昭和十一年一月家事科學研究所付屬研究室設置。同三月第二回石鹼彫刻展覽會を東京、大阪、廣島、福岡、各地に開

松澤ホーサン石鹼、水晶おしろい。合名。三萬圓。(代表者)山村眞策。(支配人)佐藤新策。(營業)同。(廣告)同。(幹部)松澤こう。(新聞廣告費)三萬圓。(使用新聞)地方紙三九、都市紙十五。(代理業)興信社、大成社、萬年、正路喜社。(沿革)創業二〇〇年。(十一、十、二〇)

藤村一誠堂 赤坂區青山南町五ノ六三。(電)青山四六〇六。アヅキ洗粉、あづきの花。(代表者)藤村千良。

福田號商店 日本橋區馬喰町四ノ二一。(電)浪花一三三二。ランランポマード。(代表者)東野芳三郎。(營業)東野芳一。(使用新聞)東朝、讀賣、時事、靜岡民友、小楢。

小林商店 本所區鹿橋一丁目。(營業所)淺草區茅町一ノ八。ライオン齒磨、ライオン齒刷子。株式。二百萬圓。(社長)小林富次郎。(廣告)神谷市太郎。(代理店)電通、京華、萬年、旭廣告其他。

十年九月二十日常務取締役井口昌藏君腦出血の爲めに逝く。

催。

同九月傍系高壓化學工業株式會社(資本金五十萬圓)並に特許洗劑株式會社(資本金五十萬圓)設立。

同九月伯國經濟使節一行工場御見學。(十一、十、二〇)

熊谷本店 大阪市東區南久寶寺町二丁目。クリノール本舗、化粧品一般。

葛原工業所 下谷區竹町一二一。モダン・シャンプルー。

柳屋本店 日本橋區通四丁目。(電)日本橋二〇一、一八五九。柳屋ポマード。個人經營。(代表者)外池五郎三郎。(廣告)岡仁三郎。(使用新聞)大朝、大毎、新愛知、東日、東朝、報知、外地方紙。(代理業)正路喜社、萬年社。(沿革)徳川家康公が濱松の居城より江戸に移るに及び扨從して江戸に來り當地に屋敷地を拜領し之に居住せし一官より騰脂頭髪用油及白粉の製法を傳授せられ紅屋五郎三郎と稱して賣出せしが三百年以前なり。(十一、十、二〇)

山田商店 豊島區高田町。ゾー

シノコナ石鹼。

同九月傍系高壓化學工業株式會社(資本金五十萬圓)並に特許洗劑株式會社(資本金五十萬圓)設立。

同九月伯國經濟使節一行工場御見學。(十一、十、二〇)

熊谷本店 大阪市東區南久寶寺町二丁目。クリノール本舗、化粧品一般。

葛原工業所 下谷區竹町一二一。モダン・シャンプルー。

柳屋本店 日本橋區通四丁目。(電)日本橋二〇一、一八五九。柳屋ポマード。個人經營。(代表者)外池五郎三郎。(廣告)岡仁三郎。(使用新聞)大朝、大毎、新愛知、東日、東朝、報知、外地方紙。(代理業)正路喜社、萬年社。(沿革)徳川家康公が濱松の居城より江戸に移るに及び扨從して江戸に來り當地に屋敷地を拜領し之に居住せし一官より騰脂頭髪用油及白粉の製法を傳授せられ紅屋五郎三郎と稱して賣出せしが三百年以前なり。(十一、十、二〇)

山田商店 豊島區高田町。ゾー

シノコナ石鹼。

同九月傍系高壓化學工業株式會社(資本金五十萬圓)並に特許洗劑株式會社(資本金五十萬圓)設立。

同九月伯國經濟使節一行工場御見學。(十一、十、二〇)

熊谷本店 大阪市東區南久寶寺町二丁目。クリノール本舗、化粧品一般。

葛原工業所 下谷區竹町一二一。モダン・シャンプルー。

柳屋本店 日本橋區通四丁目。(電)日本橋二〇一、一八五九。柳屋ポマード。個人經營。(代表者)外池五郎三郎。(廣告)岡仁三郎。(使用新聞)大朝、大毎、新愛知、東日、東朝、報知、外地方紙。(代理業)正路喜社、萬年社。(沿革)徳川家康公が濱松の居城より江戸に移るに及び扨從して江戸に來り當地に屋敷地を拜領し之に居住せし一官より騰脂頭髪用油及白粉の製法を傳授せられ紅屋五郎三郎と稱して賣出せしが三百年以前なり。(十一、十、二〇)

山田商店 豊島區高田町。ゾー

シノコナ石鹼。

同九月傍系高壓化學工業株式會社(資本金五十萬圓)並に特許洗劑株式會社(資本金五十萬圓)設立。

同九月伯國經濟使節一行工場御見學。(十一、十、二〇)

熊谷本店 大阪市東區南久寶寺町二丁目。クリノール本舗、化粧品一般。

葛原工業所 下谷區竹町一二一。モダン・シャンプルー。

柳屋本店 日本橋區通四丁目。(電)日本橋二〇一、一八五九。柳屋ポマード。個人經營。(代表者)外池五郎三郎。(廣告)岡仁三郎。(使用新聞)大朝、大毎、新愛知、東日、東朝、報知、外地方紙。(代理業)正路喜社、萬年社。(沿革)徳川家康公が濱松の居城より江戸に移るに及び扨從して江戸に來り當地に屋敷地を拜領し之に居住せし一官より騰脂頭髪用油及白粉の製法を傳授せられ紅屋五郎三郎と稱して賣出せしが三百年以前なり。(十一、十、二〇)

山田商店 豊島區高田町。ゾー

シノコナ石鹼。

同九月傍系高壓化學工業株式會社(資本金五十萬圓)並に特許洗劑株式會社(資本金五十萬圓)設立。

同九月伯國經濟使節一行工場御見學。(十一、十、二〇)

圖書の部

十一年一月新たに重役の擔任分擔を決定す。同三月より平野次郎君が新聞廣告係專任となる。小林商店大阪支店 大阪市東區博勞町。ライオン齒磨、ライオン齒刷牙子。(支店長)山崎麻吉。

頁。(代理店)正路喜社、電通。淺井石鹼店 日本橋區馬喰町二。鶴の卵化粧石鹼、洗濯石鹼、浮石鹼、製造販賣。(代表者)方波貞吉。佐藤精香舎 小石川區小日向水道町一。ゲンシボマート。佐々木商店 京橋區銀座西二。實業ビル。美人かつら、ボンビアン本舗。資生堂(株式會社) 京橋區銀座八丁目一。(電)代表銀座五四二。三。五。化粧品、石鹼、齒磨製造販賣。株式。一百萬圓。(社長)福原信三。(專務)松本昇。(常務)末川清香。(廣告)白川慶三。(新聞廣告費)二十五萬圓。(他廣告費)二十萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日、他六十餘紙。(段數)十段乃至二十段。(代理業)豐國、萬年、正路喜社、電通。(十一、十二、十五)

柴仁石鹼、シバニ石鹼。(代表者)柴仁三郎。平尾贊平商店 日本橋區馬喰町一ノ六。レットクリーム其他。化粧品製造販賣。株式。百二十五萬圓。(代表者)平尾贊平。(支配人)平尾喜三郎、平尾太郎。(廣告)丹野泰。(使用新聞)百三十社。(代理店)直接又は代理店數店。同九月十月餘年在勤の前廣告部長野口樞夫君退社す。同九月大阪支店營業主任八木三郎君退社す。モンココ洗粉本舗 牛込區餘丁町一。二。モンココ化粧品。桃谷順天館 大阪市港區市岡町六八。美顔白粉、白色美顔水、美顔クリーム、美顔クリム、其他化粧品一般。(代表者)桃谷順一。(廣告)永野隆太郎。(販賣)楠本政太郎。誠光堂 大阪市此花區江成町一〇。白色クリーム其他。壽毛加社 大阪市東區住吉町。スモカ。杉田商店 本所區龜澤町二ノ九。アモンババヤ。

井上英語學校 麴町區富士見町四ノ一。通信教授業。株式。七萬圓。(代表者)柴山格太郎。(廣告部員)一名。(新聞廣告費)三萬六千圓。(使用新聞)大阪、東京(朝日毎日)四社。地方十社其他若干。(代理店)電通(東京地方)。(萬年)大阪。岩波書店 神田區一ツ橋通町。雜誌「思想」「生活者」及各種書籍出版。(代表者)岩波茂雄。同十二月十三日世界九ヶ國の出版界を視察して岩波茂雄君歸朝す。郁文堂書店 本郷區森川町大學正門前。(電)小石川二二五八。獨逸語教科書、參考書出版。合資。五萬圓。(代表者)大井久五郎。(支配人)田中房次郎。(營業)高橋竹次郎。(廣告)田中房次郎。(出版)月芳徳太郎。(新聞廣告費)四千圓。(使用新聞)東朝、東日、帝大新聞(廣告取扱)博報堂、電通。六合館書店 日本橋區吳服橋

天野源七商店 日本橋區横山町一丁目。各有名化粧品代理販賣、ヘチマコロン發賣元、個人經營。(代表者)天野源七。(新聞廣告費)十七萬圓。(使用新聞)東京市内十新聞、大阪五新聞、名古屋三新聞、各地有力紙全部にて約百五十新聞。(契約段數)都會地新聞一頁、地方二流紙半

日本旅行協會 麴町區丸の内一ノ一。刊月雜誌「旅」其他發行。日本通信大學法制學會 澁谷區神宮表參道。普通文官講義録發行。日本國際協會 麴町區丸の内二ノ十二。(電)丸の内四六六四、四九三五。(機關紙)國際知識、世界と我等。社團法人。(會長)石井菊次郎。(總務主事)赤松祐之。(廣告係)佐伯正雄。(使用新聞)主として東朝、時日、讀賣。(代理業)正路喜社、萬歲社。(十一、十二、十六)

一少女界「若草」發行。北隆館 京橋區横町三ノ三。(電)京橋七一四一七。新聞。圖書。雜誌元取次並に圖書出版。株式。六十萬圓。(社長)福田金次郎。(專務)福田良太郎。(代理業)電通、弘業通信、博報堂、大阪通信、其他。(沿革)明治二十四年十月現社長創業、大正八年十月株式會社に改組(資本金三十萬圓)自出版物は「日本植物圖鑑」「日本動物圖鑑」「應用動物圖鑑」「學生版動物圖鑑」「學生版植物圖鑑」「日本昆虫圖鑑」等、自然科學書類を主とす。昭和九年九月現在の社屋(敷地約三百坪)社有地(地階とも六階)一千二百三十坪の鐵骨鐵筋混凝土建築)へ新築移轉、同十二月資本金を六十萬圓に増額す。北星堂書店 神田區錦町三ノ十二。各種圖書出版。星野書店 京都市丸太町堀川西入。美術文學圖書出版。平凡社 日本橋區吳服橋三ノ五。(電)日本橋二一五七。二。五九。出版。株式。三十萬圓。(代表者)下中彌三郎。(支配人)

關口一男。(營業)齋藤道太郎。(廣告)齊永泰夫。(新聞廣告費)四十五萬圓。(他廣告費)五萬圓。(使用新聞)全國主要紙六十紙。(段數)約二百一十四頁。(代理業)博報堂、新興社、弘業通信、及直接。(沿革)創業大正二年。東方書院 神田區一ツ橋通二。圖書出版。東洋圖書株式會社 東京市神田區神保町一丁目五十七。(電)神三七四五、三七一一。(大阪店)南區内安堂寺町一丁目二八。(電)東二八六八。圖書及雜誌の出版販賣。株式合資。十萬圓。(代表者)永田興三郎。(支配人)永田耕作。(營業)同。(廣告)佐野健之丞。(出版部長)岩田倉三郎。(新聞廣告費)二萬五千圓。(他廣告費)二萬五千圓。(使用新聞)東朝、大朝、東日、大毎、讀賣、(代理業)博報堂、其他。(沿革)大正十三年一月創業。本社に於て學校新聞を發行する型は普通新聞四頁乃至八頁、部數五萬、月刊。(十一、十、〇)東洋經濟新報社 日本橋區本

二ノ五。書籍出版及取次卸業。(廣告)森。白揚社 神田區美土代町二ノ一。圖書出版。(代表者)中村徳二郎。(代理店)博報堂。白水社(株式會社) 神田區小川町三丁目八五。(電)神田三五九八。圖書雜誌の出版及販賣並に之に關する附帶事業。株式。二十萬圓。(取締役社長)福田セイ。(取締役)寺村五一。(營業)同。(廣告)同。(取締役)草野貞之。(監査役)高橋毅一郎。(新聞廣告費)二萬圓。(他廣告費)五千圓。(使用新聞)東朝、大朝、讀賣、新愛知、滿日、京城日報。(代理業)博報堂、八昭堂、新進堂。(沿革)大正四年創業以來滿二十年餘主に佛蘭西物出版を專念し來りしも最近に到り、獨逸語、露西亞語、スペイン語、ラテン語を出版するに到れり。十一年度に獨和言林、標準露和辭典を刊行す。(十一、十、二、十四)

日本評論社(株式會社) 京橋區京橋三ノ四。(電)京橋六一九一。圖書雜誌出版。株式。十萬圓。(代表者)鈴木利貞。(新聞廣告費)十二萬圓。(他廣告費)一萬二千圓。(使用新聞)大阪系四社、讀賣、時事、中外、名古屋、滿日、京日等。(段數)一頁。(代理業)内外通信社。最近一年間に法學全集、現代哲學辭典農業小辭典の刊行。(十一、十一、一)

寶文館 日本橋區室町四ノ五。教育圖書出版並に雜誌「令女界」

博文館 日本橋區本町三ノ九。各種圖書並に雜誌數種出版發行(代表者)大橋勇吉。

石町三ノ二。(電)日本橋八一
八三、一四八七、二七八五。週
刊經濟雜誌發行發賣。株式。十
萬圓。(代表者)石橋湛山。(營業
廣告)神原周平。(新聞廣告費)
四萬五千圓乃至五萬圓。(使用新
聞)東朝、大毎、中外、大朝、
東日、讀賣、時事、報知、國民、
地方有力紙二十社。(代理業)直
接を主とす聯合廣告を取次店に
任す。(沿革)創刊明治二十八年
十一月十五日。昭和九年五月創
刊四十周年記念に月刊英文經濟
雜誌を發刊す。

■十一年東洋經濟パンフレット
發行を開始す。(十一、十、二八)
工業關係書籍發行。

東學社 淀橋區戸塚町一丁目。
工業關係書籍發行。

東苑書房 麴町區下六番町三。
(電)九段四七三九。教育參考圖
書。個人經營。(代表者)千葉春
雄。(新聞廣告費)一萬圓位。(他
廣告費)一萬圓位。(使用新聞)
東京、大阪代表紙。(沿革)三年
目創業。(十一、十、二八)

東京堂(株式會社) 麴町區九段
一ノ七。(電)九段四一〇一。
圖書雜誌元取次出版業。株式。

三百萬圓。(代表者)大野孫平。
(支配人)赤坂長助。(廣告)増山
新一。(代理業)博報堂。

東京社 芝區佐久間町三ノ十。
月刊奥の奥發行。

東京開成館 小石川區小日向
水道町八四。圖書出版。

東京出版協會 神田區小川町
三ノ八。(電)神田九三〇。會員
組織。(代表者)會長目黒甚七。
(使用新聞)本會指定新聞十八新
聞。(沿革)大正三年十月創立、
爾來今日に至る。

東京朝日新聞社出版部
麴町區有樂町二ノ三。(電)丸ノ
内一三一。(保主任)前田貢。(編
輯)星野辰男。(使用新聞)東朝、
大朝、東日、報知、時事、北海
タイムス、河北、新愛知、名古
屋、福岡日々、滿日、小樽、九
日、山陽等。(代理業)直接又は
博報堂。(十一、十、三〇)

乃江書院 神田區駿河臺三ノ
六。(電)神田三二七一、三一八九。
出版。株式。十萬圓。(代表者)
尾高亮作。(取締兼支配人)關根
喜太郎。(新聞廣告費)三萬圓。
(他廣告費)一萬圓。(使用新聞)

東朝。創業昭和三年。(十一、十、
二八)

千倉書房 京橋區第一相互館
内。(電)京橋二二八一、二一八
七、三七一六。出版業。個人經
營。(代表者)千倉豊。(新聞廣告)
二十萬圓内外、其他二萬圓内外。
(使用新聞)東朝、大毎、東日、
中外、報知、時事、讀賣、九日、
福日、外十社。(廣告取扱)新興
社外直接取引。(沿革)昭和四年
四月三日創業。八年三月店主豊
君九州日報專務となり、十年辭
任す。

力之日本社 日本橋區本町一
ノ九。(電)日本橋二五三三、二
四三四、二九四一。雜誌力之日
本發行、出版及代理部。株式。十
萬圓。(社長)小笠原勝。(事務
兼主事)安田清臣。(常務)森内
宗一、坂口二郎。(廣告)森内宗
一。(顧問)清水正己。(新聞廣
告費)六萬圓。(他廣告費)二萬
圓。(使用新聞)東朝、東日、大
毎、讀賣、報知、中外、都、他
地方紙約廿種。(段數)毎月四段。
(代理業)博報堂、正路喜社。(沿
革)昭和十年四月創立。

■實益雜誌時代の先驅を切り、
賣行極めて可良。(十一、十、三
〇)

中央公論社 麴町區丸ビル。
雜誌「中央公論」「婦人公論」圖
書出版。(代表者)島中雄三。
■十年九月徳富蘇峰自傳を出版
す、四六版八百頁。
■同十月五日創業五十周年記念
の爲め一千名を歌舞伎座に招待
す。

忠誠堂 神田區一ツ橋通三〇。
教育會館。圖書出版及印刷業。
個人經營。(使用新聞)全國諸新
聞。(代理店)博報堂、電通、直
接等。

林平書店 日本橋區吳服橋二
ノ五。(電)日本橋七七六、七七
七。書籍出版及販賣業。株式。
十五萬圓。(代表者)林善七。(支
配人兼營業)林武次。(廣告)加
藤治助。

岡書院 神田區駿河臺一ノ八。
(電)神田二七七五。書籍。個人
經營。(代表者)岡茂雄。(使用
新聞)東朝、東日、大朝、大毎、
讀賣等。(代理業)博報堂。(沿
革)大正十三年七月創業、昭和

三年より梓書房を兼營す。

大倉書店 日本橋區南茅場町。
辭典教科書其他圖書出版。(代表
者)大倉保五郎。

大阪屋號書店 日本橋區吳服
町二ノ五。(支店)大連、旅順、
奉天、京城。圖書出版、滿鮮臺
支障卸賣業。合名會社。十萬圓。
(代表者)濱井松之助。(支配人)
百合野惣壽。(營業)同。(廣告)
長野重治。(同部員)落合徳三。
(新聞廣告費)三萬五千圓。其他
三百圓。(使用新聞)東朝、東日、
時事、讀賣、中外、報知、大毎、
大朝、新愛知、名古屋、大毎、
北海タイムス、小樽、河北、信
毎、中國新、福日、京日、滿日、
大連、臺日等。(代理店)博報堂、
電通、直接。

早稻田大學出版部 淀橋區
戸塚町一ノ五八。各種講義錄及
法律、政治、經濟、文學に關する
圖書出版。(代表者)市島謙吉。
(代理店)電通。

改造社 芝區愛宕下町。月刊雜
誌「改造」「社會科學」「自然科
學」「文藝」及び政治、社會、經
濟、思想、各種の書籍出版。(代

表者)山本實彦。(廣告)平田。
考ノ方研究社 神田區錦田三
ノ九。圖書出版。(代表者)藤森
良藏。(代理店)博報堂。

巖松堂書店 神田區中猿樂町
一。(電)九段四一三五、二
四六七。法律、經濟、商業、社
會、農業其他圖書出版部。一般
圖書、雜誌、小賣。株式。五十
萬圓。(代表者)波多野重太郎。
(廣告費)八千五百圓。(使用新
聞)東日、東朝、大毎、大朝、
時事、大時、讀賣、中外、其他
(以上七千圓)、外大學新聞、法
律經濟雜誌、千五百圓。(代理店)
博報堂。

養賢堂(株式會社) 本郷區森川
町七〇。(電)小石川六五九。書
籍出版、雜誌發行。株式。十四
萬圓。(取締役社長)及川伍三治
(使用新聞)東朝、東日、大朝、大
毎、讀賣、北海タイムス、河北、新
愛知、福日、滿日、京城日報、臺
日(以上新聞)。農業世界、農業、
中央園藝、動雜、植雜(以上雜
誌)。(代理業)博報堂、電通、
一星社。(沿革)創業昭和十年三
月二十七日(株式會社に組織變

更夫れ以前及川個人經營)

吉川弘文館 京橋區野木町一
ノ一。圖書出版。

タイムス社出版部 (株式會
社) 麴町區有樂町二ノ四。(電)
銀座三四一。國際パンフレッ
ト通信(會員制度)の刊行及主と
して語學もの單行本出版。株式。
二萬五千圓。(社長)小野俊一。
(編輯主任)高梨菊二郎。(營業
主任)青野弘。(取締役)岩田均、
稅所篤二。(監査役)渡邊方舟。
志立鐵次郎、葉田欽次郎。(沿革)
以前ジャパン・タイムス社出版
部なりし處、昭和二年株式會社
として獨立、今日に至る。(十
一、十、三〇)

ダイヤモンド社 麴町區内幸
町二ノ三。ダイヤモンド雜誌、
同日報、ダイヤモンドレポート、
其他經濟單行本。(代表者)石山
賢吉。(廣告)富永良太郎。(廣
告部員)十名。(新聞廣告費)二
萬四千圓餘。(使用新聞)時事、
中外、東朝、東日、報知、大朝、
大毎。(代理店)告天社。

第一書房 麴町區三番町一。
(電)九段三三四四。圖書雜誌出

版。(代表者)長谷川巳之吉。

大日本西會 京橋區銀座西三
ノ一。(電)京橋五二四〇。西式
健康法の圖書出版發賣。

大日本圖書株式會社 京橋
區銀座一ノ五。(電)京橋二四〇
七、二七三、二四七。教育圖書
並に雜誌文部省編纂教科書發行
所。株式。六十萬圓。(代表者)
杉山常次郎。(總務主任)坂詰眞
(營業主任)田島藤太郎。(廣告
主任)河村敏雄。(編輯主任)大
村弘毅。(十一、十一、一)

大日本國民中學會 神田區
駿河臺二ノ一。(電)神田一一一
一一三。講義錄及書籍發行。(代
表者)河野正義。(廣告)箕輪香
村。(使用新聞)東京、大阪有力
紙地方の有力紙。代理業)電通。
(沿革)明治三十五年二月創業。
昭和十一年は創立三十四周年に
當る、通信教育による功績にて
藍綬褒章を下賜さる。

大日本雄辯會講談社 小石
川區番羽三ノ一九。(電)小石川
八〇八〇一八〇九四。(營業科
目)月刊雜誌「雄辯」、講談俱樂部、
少年俱樂部、現代、婦人俱

樂部、少女俱樂部、キング、幼年俱樂部、富士。單行本約三百種。全集、修養全集、講談全集、落語全集、喜劇全集、評判講談全集、少年少女教育講談全集、代理部、どりこの、パミール、イノール、トランシ、療眼器、プレアロール、ワカミズ、其他キングレコード數百種。個人經營。

(代表者)野間清治。(營業)赤石喜平。(廣告)同。(編輯)淵田忠良。(會計部長)高木義賢、長谷川卓郎、館内元。(新聞廣告費)三百萬圓、其他百萬圓。(使用新聞)全國全紙、諸外國邦字新聞殆全部、外字新聞若干。(契約行數)多きは二十頁餘、少きは二頁位。

(廣告取扱)電通、博報堂、正路喜社、萬年、弘業通信、外數社。

(沿革)明治四十三年二月十一日創めて雜誌「雄辯」を發行したるを創業とし爾來二十五年。社員(少年社員共)七百五十名。野間社長は外に報知新聞社長を兼ね、文章報國に精進す。七年二月より音羽三丁目新社屋建築に着手(鐵骨鐵筋コンクリート地下一階地上六階、總建坪約四

千坪)九年七月移轉す。

大法輪閣 麴町區内幸町一ノ三、太平ビル月刊大法輪發行。

大東出版社 芝區芝公園七ノ一〇。(電)芝三九四四。圖書出版。個人經營。(代表者)岩野眞雄。(支配人)丸山俊誠。(新聞廣告費)三萬圓。(他廣告費)四千圓。(使用新聞)大阪系四社、讀賣、報知、時事、國民、その他地方有力紙。(代理業)正路喜社、博報堂。(沿革)大正十五年創業。(十一、十二、十六)

大同館書店 神田區一ツ橋通町三。(電)九段一〇七一。圖書出版。個人。(代表者)阪本眞三。上三ノ八。(電)北一六五三、五七五二。政治、法律、經濟、社會、商業、出版販賣。株式。十萬圓(拂込済)。(代表者)松本善次郎。(廣告)水谷義民。(新聞廣告費)一萬圓。(他廣告費)五千圓。(使用新聞)朝日、毎日、東日、東朝、中外其他。(代理業)旭廣告、新興社又は直接。(沿革)創業大正七年、組織變更、昭和七年。(十一、十二、十八)

大同書院 大阪市北區會根崎上三ノ八。(電)北一六五三、五七五二。政治、法律、經濟、社會、商業、出版販賣。株式。十萬圓(拂込済)。(代表者)松本善次郎。(廣告)水谷義民。(新聞廣告費)一萬圓。(他廣告費)五千圓。(使用新聞)朝日、毎日、東日、東朝、中外其他。(代理業)旭廣告、新興社又は直接。(沿革)創業大正七年、組織變更、昭和七年。(十一、十二、十八)

大明堂 神田區小川町三ノ二二(電)神田二三二九。圖書出版、雜誌、受驗生、教員受驗生、文檢受驗生。個人經營。(代理業)博報堂、電通。

竹村書房 四谷區坂町七八、演藝關係圖書發行。

創元社 赤坂區仲の町一五。文學圖書其他出版。

叢文閣 麴町區九段四ノ八。(電)九段二五六八。圖書出版。個人經營。(代表者)西村豐吉。(使用新聞)主として中外、次に讀賣。(沿革)昭和八年九月二十一日前營業主足助たつより叢文閣並びに一誠社の營業を譲り受く。(十一、十二、三〇)

内外書籍株式會社 小石川區竹早町三二。圖書出版。

南光社(株式會社) 神田區神保町一ノ三〇。(電)神田二五一五。圖書出版並に販賣。(株式)二十萬圓。(代表者)渡邊龍策。(新聞廣告費)約一萬圓。(他廣告費)一萬五千圓。(代理業)博報堂、正路喜社、太陽通信、八昭堂、品田、伊藤、正立堂。(沿革)創業二十五年株式組織になりて六

年。

十一年度に小學校改正教科書の指導書各種出版、初版各六千、登張竹風、市川左團次、山田耕柝、本阿彌光遜、牧野亮太郎、醫學隨筆叢書等隨筆出版界への進出を示す。(十一、十二、二四)

内田老鶴圃 日本橋區大傳馬町二ノ一六。圖書出版。(代表者)内田作藏。

科學知識普及會 麴町區丸ノ内通十號館。圖書出版。(代表者)高松豐吉。(代理店)博報堂。

丸善株式會社 日本橋區通二丁目。(電)日本橋(代表番號)二二二、二二一、二二二。(營業科目)海外書籍新聞雜誌の輸入販賣、出版、文具、洋物雜貨の輸入、製造販賣。株式。三百三十萬圓。(代表者)山崎信興。(專務)八田庄治。(廣告)齋藤哲郎。(使用新聞)東朝、東日、時事、讀賣、報知、國民、中外、都、大朝、大毎、京都日出、同日々、福日、九日報、新愛知、名古屋、河北、北タイ、小樽、等を主とし其外全國にて五十餘紙。(廣告取扱)正路喜社、電通、京華、外。(沿

革)創立明治二年十月一日。明治十三年三月十萬圓の株式組織とし丸善商社と稱す、同二十六年商法の實施と共に二十萬圓に増資し丸善株式會社と改稱す。明治四十一年十月五十萬圓に増資し、大正六年に百五十萬圓、九年八月三十萬圓とし其後今日に及ぶ。全國主要都市に支店出張所十四を有す。

萬里閣 日本橋區吳服橋二ノ三(電)日本橋二四三七。出版。合資。三萬圓。(代表者)小竹重雄。(支配人)八木澤清。(廣告)市川銑造。(外幹部)小竹即一、高島末吉。松浦長治。(新聞廣告費)七萬圓。(使用新聞)東日、東朝、時事、大毎、大朝、讀賣、報知、(廣告取扱)博報堂。

姉妹機關に事業の日本社あり

經濟知識社 麴町區丸ノ内。丸ビル三四八。雜誌發行。

經濟情報社 麴町區丸ノ内二ノ一八。

慶文堂 神田區錦町一ノ一九。

警醒社 京橋區木挽町五ノ四。(電)銀座一五八七。圖書出版販賣。株式。十五萬圓。(代表者)

福永文之助。(常務)橋井龜次郎。(沿革)創業明治二十年、昭和三年三月株式會社に變更。

研究社(株式會社) 麴町區富士見町一丁目。(電)九段四(二一四〇三。出版印刷。株式。百萬圓。(代表者)小酒井五郎。(營業)佐藤文二。(廣告)同。(十一、十二、二〇)

富山房 神田區神保町一ノ三。出版業。合資。六十萬圓。(代表者)坂本嘉治馬。(支配人)生沼大造。(廣告)坂本守正。(廣告部員)太田武次郎。(使用新聞)東京、大阪各紙及地方紙約四十紙。(代理店)博報堂、電通。

十一年十月創業五十周年を機會に社長坂本嘉治馬君は學術振興發明獎勵補助費として五十萬圓を贈出す。

同十月十五日坂本社社長綠綾章を下賜さる。

富民協會 大阪市濱寺公園、財團法人、農業關係書籍發行。

婦女界社 麴町區九段四ノ一三。雜誌「婦女界」其他婦人物書籍出版。(代表者)都河龍。(廣告)長繩。

婦人之友社 豐島區雜司ヶ谷町六丁目。(電)大塚三七七八、三七一九。婦人之友、子供之友。個人經營。(代表者)羽仁吉一。(支配人)羽仁賢良。(廣告)佐藤恒民。(沿革)明治四十一年一月創立。(十一、十二、二〇)

文藝春秋社 麴町區内幸町。(電)銀座五六八一。出版業。株式。十萬圓。(代表者)菊池寛。(專務)佐々木茂索。(新聞廣告費)二十五萬圓。(代理業)電通、内外通信。(十一、十二、二四)

古今書院 神田區西紅梅町一。圖書出版。(代表者)橋本福松。

弘道館 神田區神保町二ノ四〇。參考圖書發行。資本金十萬圓。(代表者)土木卯爲。(支配人)荒井貞武。(營業)富田一。(廣告)橋本義貞。(新聞廣告費)約二萬圓。(使用新聞)東京、大阪新聞(廣告取扱)博報堂、萬年其他。

工業圖書株式會社 神田區昌平橋際。(電)下谷二八三、四八一七。圖書出版。株式。十五萬圓。(常務)倉橋藤治郎。(經理)早川延治。(營業)萩原誠三郎。

(編輯)水谷三郎。(雜誌)長島榮一。(新聞廣告費)約一萬五千圓。(他廣告費)約五千圓。(使用新聞)東朝、東日、讀賣、大朝、大毎、日刊工業、藏前、帝大、新愛知、名古屋、河北、北海、中國、福日、京城、滿日、臺日、(代理業)博報堂、(沿革)大正十三年創業の工政會出版部を昭和十年三月擴充改組せるものにて(一)官公衙工業關係調査成績試驗研究報告、(二)工業圖書、(三)工業雜誌等工業文化報國を社是とす。(十一、十二、三〇)

光明思想普及會 赤坂區檜町一〇。(電)青山三六八一、三八二一、四四三一。一、生長の家光明思想普及を目的とする書籍、雜誌の出版。株式。百二十五萬圓。(社長)陸軍主計總監辻村楠造。(常務)佐藤勝身、清部理門。(營業)同。(編輯)佐藤彬。(企劃)佐藤勝身。(新聞廣告費)約三十萬圓。(使用新聞)約三十社。(代理業)電通、博報堂、廣告社。(沿革)昭和九年十一月創立。

厚生閣 麴町區下六番町。(電)九段三二一八。各種圖書出版。個

人商店。(店主)岡本正一。(營業)平井正路。(廣告)前本一男。(使用新聞)東京大阪及地方主要新聞。(廣告取扱)博報堂其他。

國民圖書株式會社 麴町區内幸町一ノ六。圖書出版。株式。五十萬圓。(代表者)中塚榮次郎。(代理店)博報堂。

國民文庫刊行會 神田區小川町一ノ六。漢文圖書。支那史籍關係圖書發行。

國民書院 大阪市東淀川區局前通。各種辭書發行。

帝國地方行政學會 京橋區銀座西七ノ一。(電)銀座六六〇一三。各種法令書出版。株式。五百萬圓。(社長)大谷仁兵衛。(沿革)明治二十六年創立。大正十四年四月株式會社に組織變更。

帝國書院(株式會社) 神田區西神田一ノ三。(電)九段四一二六。九。中等學校用教科書一般。株式。十萬圓。(代表者)増田啓策。(廣告)吉川鶴雄。(沿革)大正十五年創業。近來新聞廣告をせり。(十一、十、三〇)

アトリエ社 牛込原町三ノ七九。

アルス 神田區神保町三丁目。(電)九段二一七五、二一七六、三四二九。出版及藥品業。個人經營。(代表者)北原鐵雄。(廣告)小山進。(新聞廣告費)約三十萬圓。(他廣告費)約五萬圓。(使用新聞)東西一流紙及全國有力紙約三十社。(代理業)博報堂、弘報堂、新興社、八昭堂等。(沿革)大正十四年四月創立。

十一月四月アルス土木工業大講座、九月アマチュア寫真大講座の豫約出版を發表、ネオスエー賣行良好。(十一、十一、五)

サラリーマン社 京橋區寶町一ノ一。(電)京橋七九三。經濟評論誌月刊サラリーマン、週刊時局新聞發行。個人經營。(代表者)長谷川國雄。(使用新聞)東朝、東日、中外、帝大新聞。(代理業)博報堂。(沿革)昭和三年九月創業。

三省堂 神田區神保町一ノ一。圖書出版。株式。百五十萬圓。(代表者)神保周藏。(支配人)永井茂彌。(營業)末次保。(廣告課)河西三吉。(使用新聞)東京、大阪十社、地方二十社、其他臨時。

(代理店)博報堂、萬年社其他。

山海堂出版部 神田區神保町二丁目十。(電)九段一三二〇。圖書出版。個人商店。(代表者)來島拾六。(支配人)渡邊壽富。(營業)岡部啓太郎。(廣告)風間正輔。(會計主任)藤田德彌。(使用新聞)東日、東朝、大毎、大朝、讀賣、各大學新聞、工業新聞、滿洲日々、北海タイムス、新愛知、福日、九日等。(代理業)博報堂。(沿革)創業明治二十九年一月。(十一、十、三〇)

共立社 神田區駿河臺三丁目九。(電)神田一五一八、二六二四。出版業。個人經營。(代表者)南條初五郎。(支配人)岡本圭史。(廣告)同。(編輯)西村吉三。(新聞廣告費)二萬圓。(他廣告費)二千圓。(使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日、時事、讀賣、報知外地方新聞約十社。(代理業)内外通信社、八昭堂。(沿革)創業約十年。

大體豫約出版に重きを置き、單行本も年二十種出版。(十一、十、三〇)

金港堂書籍株式會社 神田區今小路二。(電)三六一三、三四二四。(營業科目)出版書として中等教科書。株式。十萬圓。(代表者)原安三郎。(使用新聞)(東京)朝日、日日、讀賣、時事(大阪)朝日、毎日、月刊もの、方主なり。(廣告取扱)萬歲社、大明通信、一星社。

金星堂 神田區神保町三ノ二(電)九段四〇六八。圖書出版。個人經營。(代表者)福岡益雄。(新聞廣告費)東朝、東日、讀賣、大朝、大毎、その他。(廣告取扱)博報堂。(創業)大正七年十月一日。(十一、十、三〇)

有朋堂書店 神田區錦町一ノ一九。出版、辭典、參考書、教科書、有朋堂文庫、漢文叢書。(代表者)三浦理。

有斐閣 神田區神保町二ノ一七(電)九段三二二、三二三。書籍出版及小賣。個人經營。(店主)江草重忠。(支配人)山野金藏。(廣告)鈴木正次郎。(外幹部)星川良雄、西田勝三。(使用新聞)東朝、東日、時事、中外、大朝、大毎、其他。(代理業)博報堂、電通、其他。(沿革)明治十一年均三段。(代理業)博報堂及直接創業大正十一年七月。

姉妹機關に萬里閣あり。

實用雜誌社 神田區錦町一ノ十一。月刊實用雜誌發行。

實業之日本社 京橋區銀座西一丁目三。(電)京橋五一二一五。定期刊行物、圖書の出版及び販賣、藥品の取次並に販賣。株式。三十萬圓。(代表者)増田義一。(編輯)小倉秀遺。(營業)梅山組。(廣告)吉田貞信。(十一、十、二四)

實業之世界社 芝公園五號地十ノ三。(電)芝一五五〇一一、一五一一六。月刊實業之世界。個人經營。(代表者)野依秀市。(廣告)佐野光。(使用新聞)朝日、中外、讀賣、東日、大朝、大毎、其他。

小學館 神田區一ツ橋通町三。(電)九段代表四一八一—四一八五。雜誌書籍出版。個人經營。(代表者)相賀祥宏。(支配人)相賀正行。(新聞廣告費)五萬圓。(他廣告費)二十萬圓。(使用新聞)七十紙。(段數)五段。(代理店)電通、博報堂、萬年。(沿革)大

先代江草斧太郎の創業にかゝる専ら法律・政治・經濟書の出版を主とせり。

有精堂 神田區神保町一ノ三九雄山閣 麴町區富士見町。(電)九段五七七、二三一四。圖書出版。個人經營。(新聞廣告費)六萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、新愛知、福日、名古屋、北海、ス、河北、東朝、東日、廣中、九日、報知、讀賣。創業大正五年九月二十三日。

十一月創業二十周年を迎ふ。

目黒書店 神田區南甲賀町五。(電)神田一〇五八一。九。(營業科目)中等教科書、教育圖書出版。個人經營。(代表者)目黒甚七。(支配人)大澤吉直。(營業目黒)四郎。(廣告)小野宗治。(廣告取扱)博報堂。(沿革)明治二十四年創業。

明治書院 神田區錦町一ノ一六。(電)神田二二四七—九。中等學校用教科書及び國語漢文、歴史、宗教等の參考書。株式。三十萬圓。(社長)三樹退三。(專務)森下松衛。(常務)三樹良知、三樹愛二。(廣告)文入宗義。(新

聞廣告費)七、八萬圓。(使用新聞)東朝、東日、讀賣、報知、時事、國民、中外、大朝、大毎、新愛知、名古屋、福日、九日、河北、タイムス。(代理業)主として博報堂。(沿革)明治二十九年故三樹一平の創立、大正三年個人經營を株式に組織變更、三樹一平社長となり十三年十二月一平死去鈴木友三郎社長となり昭和七年十二月病氣の爲め社長を辭し故一平の長男退三社長となる

三笠書房 神田區神保町三丁目。(電)九段四〇一三。(代表者)竹内富子。(廣告)同。(新聞廣告費)三萬五千圓。(使用新聞)東朝、讀賣、東日、大毎、大朝。(代理業)電通、博報堂。十一月年度に五千部以上突破せるもの、單行本「父啄木を語る」「是清遺訓」「隨筆讀本」「偉人を語る」。

全集ドストイエフスキー讀本現代日本文學、戀愛小説全集、現代長篇小説全集を出版す。(十一、十、三十)

至文堂 牛込區拂方町二七。(電)牛込四四五五。中等學校教科書

學術單行本出版。個人經營。(代表者)佐藤正叟。(廣告)同。(新聞廣告費)一萬八千圓。(他廣告費)一萬圓。(使用新聞)東朝、東日、讀賣、時事、大朝、大毎、其他地方新聞。(代理業)電通。

至誠堂(株式會社) 日本橋區本町四ノ十五。(電)日本橋九〇五。圖書出版販賣。(代表者)加島ミネ。(沿革)加島虎吉明治二十年創業五十圓の資を以て開始し資産廿八萬圓まで進展せしが大震災の爲め昭和六年倒産す。次女幸子昭和七年舊店員に保護せられて至誠堂再起す。(十一、十、二四)

自然療養社 神奈川縣小田原町十字三丁目。(電)二四八。療養書出版。(代表者)田邊一雄。(廣告)吉本三郎。(新聞廣告費)約一萬圓。(使用新聞)全國各新聞。(沿革)大正十二年創立。

事業之日本社 日本橋區吳服町。(電)代表日本橋二四三七。事業之日本發行。個人經營。(代表者)小竹即一。(新聞廣告費)一萬五千圓。(使用新聞)東朝、京日、時事、中外、大時。(段數)平

本嘉納商店 京橋區銀座西三
銘酒菊正宗發賣元。(代理店)正
路喜社、明進社。

逸見山陽堂(株式會社) 日本
橋區本町二ノ四。(電)茅場町六
一、六二、四七七。食料雜詰
及煉乳。株式。五十萬圓。(社長)

告係員)澤田正順。(幹部)平田
生三。(新聞廣告費)一萬四千圓。
(他廣告費)八千圓。(使用新聞)

東朝、東日、讀賣、時事、他地
方紙。(代理業)電通、正路喜社。
(沿革)明治十七年創業、大正七
年株式會社に變更。

最近人工母の乳發賣、ケリー
ムスブの素發賣。(十一、十、
廿九)

豐島商店 神田區美土代町二
ノ一。金婚正宗及白酒釀造元。

(代表者)吉村政治郎。

虎屋 赤坂區表町二ノ一六。菓
子類製造販賣。

地下鐵ストア 上野、須田町、
日本橋、銀座、新橋(須田町ス
トア三階ストア本部)(電)本部
ストア神田二一六一五。食料
品、實用雜貨、食堂。四千萬圓。

明治三年二月創業。
■本店外市内大森、高田馬場、
目黒、澁谷に營業所あり。(十
一、十、廿四)

養命酒本舖出張所 澁谷區
上通四ノ三五。

大日本製菓株式會社 京
橋區京橋二ノ八。

大日本麥酒株式會社 目黒
區目黒町三田二四七。京橋區銀
座七ノ一。エビスビール、サツ
ボロビール、リボンシトロン、
リボンランズベリー、リボンタ
ンサン、ナポリン、モルトコー
ヒー釀造元。(廣告)小林武彦。

太平洋貿易株式會社 麹町
區丸ビル四階。コーヒー及サン
キスト果物雜詰其他。(代表者)
新納吉太郎。(廣告)小林市太郎。

臺灣合同鳳梨株式會社
(本社)臺灣高雄市堀江町。(出張
所)東京・丸ビル六階。ペイン
アツブル罐詰製造販賣。七百二
十萬圓。(社長)勝田永吉。(專
務)鍋島熊道。(常務)星野直太
郎。(使用新聞)東朝、大毎、其
他。(沿革)昭和十年六月創立。

(代表者)早川德次。(支配人)高
木謙吉。(事業課長)濱田茂雄。
(廣告)山田鐵哉。(第一任入係
長)松田正樹。(第二任入係長)
土橋英二。(上野店長)小谷吉郎
(須田町店長)栗原長雄。(日本
橋店長)山口正。(銀座店長)永
見龍輔。(新橋店長)藤崎茂太、
(食堂係長)河野正。(新聞廣告
費)一萬五千圓。(他廣告費)三
萬五千圓。(使用新聞)東日、東
朝、中外、讀賣、時事、報知等。
(代理業)博報堂。(十一、十、廿
八)

中央製菓株式會社 東京市
城區北砂町三丁目、大阪市西
成區旭川通り八丁目。(電)本所
三四二八一九。乳菓カケツト
並に一般ビスケット。株式。五
十萬圓。(代表者)本多眞一。(營
業)高岡淑雄。(新聞廣告費)五
萬圓。(他廣告費)十萬圓。(使用
新聞)東朝、東日、報知、讀賣、
時事、大朝、大毎、以下地方紙
五十八社。一箇月五百行一十
行。(代理業)電通、告天社、豐
國、中央廣告社。

銚子醬油株式會社 千葉縣

(十一、十一、二)
寶酒造株式會社 京都市伏見
區竹中町六〇九。(電)伏見四〇。
九〇。酒類製造販賣、味淋燒
酎。株式。六百十九萬圓。(社長)
四方卯三郎。(常務)大宮康爾。
(廣告係)加納勉。(使用新聞)全
國。(代理業)萬年社、電通社。
(沿革)大正十四年九月六日株式
會社に組織變更。(十一、十、廿)

ネツスル・ミルク・フー
ド 神戸市三宮局私書函四。乳製品
食料品一般。

中井商店 京橋區新川町二ノ
四。大關發賣。

中川堂漬物店 神田區鍋町五
長崎文明堂 麻布區籠筒町。
野田醬油株式會社(東京出張
所) 日本橋區小網町三ノ一、
二號。(電)茅場町三一五五七。
醬油釀造販賣。會社。三千萬圓。
(代表者)茂木七左衛門。(十一、
十一、一)

グリコ株式會社 大阪市西淀
川區御幣島町五三。(電)福島四
五五六一九。グリコ、ビスコ、
株式。百萬圓。(代表者)江崎利
一。(副社長)江崎誠一。(支配

銚子町。(東京)日本橋區小網町
三ノ二八。ヒゲタ醬油製造販賣。
(代表者)濱口吉兵衛。
リグリー株式會社 京橋區
銀座八ノ一。食料品一般。(代表
者)ビー・デー・ブライオン。
大倉恒吉商店 京都市伏見南
濱町。清酒、月桂冠釀造元。株
式。(代表者)大倉恒吉。
若林合名會社 神戸市灘區新
在家宮西。(電)葺合四六〇。御
影二〇四六。酒釀造販賣。合名。
五十五萬圓。(代表者)若林與左
衛門。(支配人)井上貫治郎。(營
業)後田石藏。(廣告)井上久次
郎。(新聞廣告費)五萬圓。(他廣
告費)二十萬圓。(使用新聞)大
朝、大毎、外十數紙。(代理業)
金水堂、外二店。(沿革)江戸時
代創業、明治廿九年會社組織。
(十一、十、廿八)

カルピス製造株式會社 澁
谷區向山二六。カルピス、ゴロ
ナ(567)、カビーコーヒー。
株式。(代表者)三島海雲。(支配
人)結田公平。(廣告)井上成意
■十一年六月澁谷區向山二六番
地の新社屋竣工、同月十五日舊

人)古藤仙藏。(營業)同。(廣
告)同。(經理、庶務課長)細見
豐。(販賣部長)吉武武。(工務)
高島靖。(工場長)橫平政一。(代
理業)電通。(沿革)大正九年四
月大阪西區堀江に創業、後昭和
六年十二月現在にうつる。(十
一、十、三〇)

化學食品研究所 京橋區銀座
一ノ五。

ヤマサ醬油出張所 日本橋
區船場町一ノ四。

柳屋商店 日本橋通二丁目二
ノ一。海苔、鰹節。個人經營。

(代表者)外池誠一。(新聞廣告
費)約二萬圓。(使用新聞)東朝、
大朝、東日、大毎、時事、都、
新愛知、九州日、京城日報。
各紙の記事中の三十行廣告。(代
理業)正路喜社、萬年。(十一、
十、三〇)

山邑酒造株式會社 兵庫縣
武庫郡魚崎町魚崎四五二。(電)
御影二一〇一。神戸葺合七四五。
清酒(櫻正宗)及其他の酒類製造
並販賣。株式。五百萬圓。(代表
者)山邑太左衛門。(專務)山邑
英一郎。(營業課長)石野熊一郎。

館よりこれに移轉す。
加勢星株式會社 蒲田區新
宿。コーン發賣。
嘉納合名會社 大阪市東區橫
堀町一丁目。白鶴釀造發賣元。
(代表者)嘉納治兵衛。
同東京支店 京橋區木挽町五
ノ二。銘酒白鶴發賣元。(代表者)
山田定助。
河合欣三郎商店 足立區千住
一ノ七二。(電)淺草二六四。足
立二一七〇。河合の花白酒、日
本橋あまさけ、河合の花燒酎、
味淋ウキスキー。三十萬圓。(代
表者)河合欣三郎。(支配人)古
川隆智。(營業)村松常三郎。(新
聞廣告費)三千圓。(他廣告費)
一萬圓。(使用新聞)五新聞。(代
理業)告天社。(十一、十、廿八)

龜屋鶴五郎商店 京橋區銀座
七ノ二。(電)銀座七七二一五。
和洋酒食料品商。個人經營。(代
表者)杉本幸子。(支配人)杉本
鶴次郎、齋藤泰三(新聞廣告費)
二萬圓。(他廣告費)一萬圓。(使
用新聞)東朝、東日、時事、都
ジャパンアドバナー、タイムス。
(代理業)電通、正路喜社。(沿革)

(廣告主任)小金丸勝次。(使用新
聞)大朝、大毎、東朝、東日、
讀賣、其他合計十七紙。(代理業)
東京、大阪、電通其他。(沿革)
享保二年創業、大正八年株式會
社組織變更。(十一、十、三〇)

同大阪支店 西區北堀江清酒
「櫻正宗」發賣元。(代表者)濱田
萬次郎。

山城製茶株式會社 京都府
相樂郡上狛町。(電)山城木津七。
口本茶、コーヒー、紅茶製造販
賣。株式(森永製菓の特株半數
以上)。五十萬圓減資十萬圓。(常
務)伊藤道顯。(販賣)杉本竹次
郎。清水順一(仕入部長)大東與
一郎。(新聞廣告費)五千圓。(他
廣告費)二千圓。(使用新聞)滿
日、奉天新聞、其他内地新聞
隨時。(沿革)昭和九年五月創立。

昭和十年十月森永製菓株式會
社より伊藤道顯氏常務取締役と
して入社以來業務刷新を計り業
績著く舉り前期より配當を復活
すると同時に利益金の八割以上
を社内保留をなし遠からず増資
の機運に際會せり。(十一、十、三
〇)

19

山本海苔店 日本橋下室町一丁目。海苔販賣。

丸金醬油株式會社東京出店 麹町區丸の内三ノ二、二十一號館。(本店香川縣小豆島)。

松下商店 大阪市東區高麗町二ノ一六。

正田醬油株式會社 群馬縣館林町。

升本總本店 麹町區永樂町丸ビル内。白鷹發賣元。

ブラジル珈琲宣傳販賣本部 京橋區銀座四ノ二聖書館内。(代表者)エ・エ・アツスマソン。(支配人)岩井尊人。

十年十一月支配人岩井尊人君ブラジルより歸朝す。

不二家洋菓子舖(合名會社) 横濱市伊勢佐木町一、外銀座二ヶ所、新宿、大森。洋菓子、チョコレート、キャンデー、喫茶、食堂。合名。四十萬圓。(代表者)藤井林九衛門。(支配人)藤井要。(營業)藤井誠司。(廣告)近藤嘉克。(主要幹部)藤井一族。(使用新聞)ジャパントイムス、アトパタイザ、日日、朝日、讀賣。(代理業)電通。(沿革)明治四十

三年開業。(十一、十、三〇)

藤野罐詰所 日本橋區龜島河岸二四。

古谷商店製菓工場(株式會社) 札幌市北六條東一ノ三九二。(電)代表一八八、二〇八。製菓其他。株式。百萬圓。(代表者)古谷辰四郎。(廣告)梅村舜造。(外幹部)古谷忠司、古谷譽。(新聞廣告費)一萬二千圓。(他廣告費)一萬八千圓。(使用新聞)(東京)讀賣、都、(東北)秋田魁其他、(北海道)タイムス其他、(樺太)樺太日日其他。(代理業)東京は電通、北海道樺太は區々。(沿革)大正六年一月創業。(十一、十、三〇)

小網商店 日本橋區小網町三丁目。菊華發賣。

壽屋 大阪市東區住吉町五二。洋酒、食料品及賣磨類。株式。二百萬圓。(社長)島井信治郎。(廣告部員)七名。(使用新聞)全國約三百社。(代理店)全國知名取扱店全部。

壽海產物株式會社 神田區鍛冶町一ノ四。壽漬發賣。

近藤商店 日本橋區吳服町一ノ

三。ぬか漬の素發賣。

近藤商事株式會社 日本橋區室町二ノ一。(電)日本橋一〇、一三二一四。蜂ブドウ酒、レッキス、キ久葡萄酒、キユーブ、風瑞(新日本酒)。株式。百五十萬圓。(代表者)近藤利兵衛。(營業)土肥信義。(廣告)草野豐。(他幹部)伊藤伊八、諸橋心一。小山佳兄、清水時松、山崎晴道。(使用新聞)内地、支那、滿洲、百七十紙。(代理業)電通外八店及直接。(沿革)明治十七年。

十一年六月從來の近藤利兵衛商店を改めて近藤商事とす。

國分商店 日本橋區通一ノ二一。利久、洋酒、食料品。(代表者)國分勘兵衛。(代理店)電通、告天社。

江井ヶ島酒造株式會社 兵庫縣明石郡大久保村江井ヶ島。(電)江井ヶ島四、五。酒類一般醸造、高級酒神鷹、日本魂、菊王、豪傑其他、白玉ホワイトワイン、白玉燒酎。株式。百萬圓。(社長)下野豐太郎。(專務)下野退三。(常務)下野八右衛門。(取締役技師)長服部實一。(營業)坂

口寬一。(廣告)田中權之助。(新聞廣告費)一萬圓。(他廣告費)一千圓。(使用新聞)大朝、大毎、神戸新聞、其他各新聞。(代理業)主として昭和廣告社。(沿革)明治二十一年六月會社組織とし同十二月開業、資本金三萬圓、寶曆年間下野家祖先が興し以來繼續し來れる清酒釀造業を強化擴大す、釀造品目も清酒以外に味淋釀造を始め、新式機械に依り燒酎酒精の蒸溜更に各種洋酒類の製造をも始む。

愛知トマト製造株式會社 愛知縣知多郡上野村大字荒尾。(電)荒尾三、三六。カゴメケテツブ、カゴメソース。株式。一百万圓。(取締役社長)野口一太郎。(廣告)川口伸三郎。(新聞廣告費)五萬圓。(他廣告費)三萬圓。(使用新聞)大毎、東日、讀賣、時事、都、報知、新愛知、名古屋、大朝、東朝、福日、滿日其他。(代理業)電通、旭廣告、萬年、名通、有功社其他。(特設)本社第一工場愛知縣知多郡上野村、第二工場滋賀縣草津町、第三工場愛知縣知多郡大府町。(十

一、十、三〇

佐久間製菓株式會社 豊島區池袋一ノ五七〇。サクマドロップ製造販賣。

祭原商店(株式會社) 大阪市東區安土町四ノ一九。(電)本町五九三。罐詰和洋酒食料品商。株式。百萬圓。(代表者)祭原邦太郎。(支配人)祭原源治郎。(振興部長)水野光太郎。(廣告主任)寺田藤治郎。(沿革)明治十一年創業、大正八年組織を株式に改組、現在店舗は地階共七階洋館。

キリンビール會社 京橋區京橋二ノ四。八重洲ビル内。キリンビール發賣元。

極東煉乳株式會社 麹町區丸の内九ビル内。

明治屋東京支店 京橋區京橋二ノ四。(電)代表京橋六一一。和洋酒食料品販賣店。株式。五百萬圓。(社長)磯野長藏。(支配人)相原理作。(營業)同。(廣告)同。(使用新聞)都下全新聞。(廣告取扱)正路喜社、電通、廣告社。(創業)明治十七年。

十年十月臺灣專賣局製造支那酒の内地一手販賣權を獲得宣傳

を開始す。

明治製菓株式會社 京橋區京橋二ノ八。菓子及煉乳。株式。六百萬圓。(社長)相馬半治。(營業)水野恭平。(廣告)同。(新聞廣告費)二十萬圓、其他三十萬圓。(使用新聞)全國七十五紙。(代理店)電通、東亞通信、萬年、正路喜社、告天社、弘報堂。(沿革)八年九月大日本製菓株式會社(金太郎ミルク其他)を合併し資本金五百萬圓を増資して六百萬圓となる。

三井物産食料品部 日本橋區室町二ノ一。食料品一般。(代表者)柳田健。

三澤屋商店 日本橋區坂本町三五。ブルドックソース發賣。

小兒牛乳株式會社 神田區淡路町二ノ六。

食の元製造株式會社 大阪市櫻宮。

眞牛乳株式會社 小石川區水川下町三四。牛乳。

廣屋商店 日本橋區小網町。富貴發賣。

森永製菓株式會社 芝區田町一丁目二二。(電)三田一二〇

一、二、九

菓子及食料品の製造と販賣、森永ミルクキャラメル、チョコレート其他數百種。株式。七百五十萬圓。(社長)松崎半三郎。(營業)常務取締役)森永善吉。(廣告課長)山崎宗晴。(販賣課長)小山政也。(庶務課長)眞田武。(會計課長)取締役)白川順一。(中央仕入部長)渡邊安雄。(使用新聞)東京、大阪、地方百二十新聞。一箇月最高三頁半、最低半頁。(代理業)電通、東亞通信、京華社、萬年、告天、社正路喜社。(十一、十、三〇)

十年十月第四回キャラメル藝術品の入選を發表す。應募五十六萬三千餘點に達す。

十一年三月廣告部長山崎宗晴君彌生會に加盟す。

鈴木洋酒店 日本橋區本町三ノ四。洋酒、食料品。(代表者)大河正次郎。(代理店)電通。

鈴木商店 京橋區寶町一ノ七。味の素、澱粉、化學工業藥品、肥料。株式。一千一百万圓。(社長)鈴木忠治。(專務)鈴木三郎助。(支配人)高梨新三郎。(廣告)高木清茂。(廣告部員)東京

本社六、大阪支店五。(十一、一、二)

服裝雜貨の部

伊勢丹 四谷區新宿。百貨店。株式。二百萬圓。(代表者)小菅丹治。(營業)小菅千代市。(廣告)小沼昇。(新聞廣告費)數萬圓。(代理店)正路喜社、廣告社、電通。

十年十二月買収せるほてい屋並に接續新館の工事落成す。

服部時計店(株式會社) 京橋區銀座四丁目二。(電)京橋一〇三〇一三、二一五一九。時計製造販賣。株式。二千萬圓。(取締役社長)服部玄三。(取締役)服部正次、篠原三千郎、河田源三。(監査役)松山陸郎、渡邊喜助。(支配人)土方省吾。(廣告)大塚英史。(廣告取扱)電通、廣告社、正路喜社其他。(沿革)明治十四年先代服部金太郎氏創業廿五年時計製造工場精工舎を創立、大正六年十一月資本金一千万圓全額拂込済の株式會社に組織を變更。昭和十年七月資本金

二千萬圓(内一千二百五十萬圓拂込)に増資す。

伴傳兵衛商店(株式會社) 日本橋區通一丁目。(電)日本橋二

西川商店 日本橋區通一ノ七。

東横百貨店 澁谷區省線驛前

鬼足袋工業株式會社 日本橋區大傳馬町一ノ二〇。鬼足袋、

大阪ゴム底足袋株式會社 大阪府東區淀川區豐崎。

大丸 大阪府南區心齋橋筋一。

高島屋吳服店 京都市烏丸通

圓。(代表者)飯田直次郎。(支

同大阪支店 大阪府南區長堀

同東京支店 日本橋區通二ノ

十合吳服店 大阪府市心齋橋。

更、次で昭和六年三月株式會社

中川伊作商店 (蜂メリヤス

松屋吳服店 京橋區銀座三ノ

松坂屋 上野廣小路。(電)下谷

同大阪支店

大阪府南區日本橋筋三丁目。(電)或三〇〇三。

萬崎洋服店

神田區神保町。洋服生地輸入販賣製造。株式。

福助足袋株式會社

堺市南安井町二丁目。(電)堺二八五、

天賞堂時計店

京橋區尾張町二ノ一。時計、寶玉貴金屬、美

三福

四谷區新宿三ノ五。(電)七

三越

日本橋區室町一丁目。百貨店。株式。三千萬圓。(取締役

京新聞全紙

地方の支店は地元有力紙。(廣告取扱)電通、廣告

同大阪支店

大阪府東區高麗橋二丁目。(電)北濱三五四一、

白木屋

日本橋區通一ノ九。(電)日本橋一三三一、一三四一。百

イリス商會

麴町區有樂町一ノ一有樂ビル内。貿易商。(代表

岩谷冷蔵株式會社

京橋區銀座一ノ三。岩谷冷蔵器、冷蔵

池貝鐵工所

芝區三田四國町二ノ一五。高田工作機械。内燃

機械の部

伴野貿易株式會社 京橋區

販賣、化粧品雜貨の輸出入。株式。五十萬圓。(社長)伴野文三郎。(營業)山田豐志知。(使用新聞)朝日、日日、時事、讀賣。(廣告)取扱)電通、新聞聯合。

日本ポリアル蓄音器商會 大森區堤方七五、蓄音器、音譜販賣。

日本蓄音器商會東京支店 京橋區銀座一ノ四、蓄音機一般、日東レコード。(代表者)藤田忠一。(新聞廣告費)五萬圓。(使用新聞)東日、東朝、時事、報知、國民、地方有力紙。(代理店)電通。

日本樂器製造株式會社 京橋區銀座七ノ一。

日本タイプライター株式會社 京橋區寶町一ノ二ノ三。(電)京橋四一六一一四。(營業科目)邦文タイプライター、複式金額番號タイプライター、萬能鑄造機、邦文モノタイプ及附屬商品類、印刷機、製本機械材料一式。株式。五百萬圓。(專務)城森省三。(常務)川畑光志。(取締役)橋利雄。(工場長)柳田良作。(廣告費概算)二萬圓。(廣告取扱)電通、廣告社。(沿革)大正三年發明、大正四年日本書字機商會設立、大正七年株式組織に變更現在に至る。(新聞製作材料業一覽にもあり)(十一、十、三〇)

日本フォード自動車株式會社 横濱市神奈川區守屋町二ノ三(電)代表神奈川二三三三。一。自動車製造。株式。千六百萬圓。(代表者)ベンチャミン・ユツプ。(販賣)稲田久作。(廣告)岡田保三郎。(代理業)太平洋廣告取次社。(沿革)創立大正十四年二月。(十一、十、三〇)

日本コロニア蓄音器株式會社 川崎市久根崎一二五。日本自動車株式會社 赤坂區溜池町三〇。(電)赤坂一一〇一一九。(營業科目)自動車、自動車、自動自轉車、飛行機、飛行船、材料及部分品、附屬品、諸油、塗料、機械器具、輸入、製造販賣、修理、塗替、中張、車室製作、自動車並自動船海上、保管、運送請負、保險代理引受。株式。三百萬圓。(社長)石澤愛三。(支配人)稻原啓三郎。(販賣)同。(宣傳)關谷四郎。(タイヤ部長)小川兼三。(取締役)。(用品)五條道久。(工作)河本芳藏。(以上參事)。(新聞廣告費)約三萬圓、其他一萬圓。(使用新聞)東朝、東日、時事、大朝、大毎、名古屋、新愛知、福日、報知其他。(廣告取扱)新聞聯合。(沿革)大倉喜七郎男の創立に係るもの、日本に於ける最古の販賣會社、諸官廳、軍部關係の特殊注文を多く引受く。

日本ビクター蓄音器株式會社 横濱市神奈川區守屋町三ノ三四三。(電)代表神奈川二七三一。蓄音器及レコードの製造。

日米商店 京橋區銀座五ノ一。(電)銀座九〇八、九〇九。(營業科目)富士自轉車發賣元、其外自轉車、附屬品卸商。株式。二百萬圓。(代表者)岡崎久次郎。(支配人)守屋千里。(本店は直接販賣に當らず)(總務部長)菅野健介。(使用新聞)全國。(廣告取扱)電通、廣告社、正路喜社、告天社、京華。(沿革)創業三十六周年。東京に本店を置き、東京、大阪、名古屋、福岡、京

七歐無線電氣商會 (株式會社) (本社)麴町區內幸町大阪ビル内。(營業所)麻布區東町二六。(電)三田三二七七八、三五七六。ラヂオ取信機及無線機器材料。株式。廿萬圓。(社長)七尾菊良。(新聞廣告費)七千五百圓。(他廣告費)五千圓。(使用新聞)東朝、東日、讀賣。(代理業)博報堂。(十一、十、二八)

宇都宮商店 大阪市東區淡路町一丁目。ライト體溫計、ザイベルト、顯微鏡、醫療器ゴム製品。(代表者)宇都宮宇作。

久能木商店 日本橋區室町二丁目。久能木式石油コンロ及び吸入器其他。(代表者)久能木宇兵衛。

八洲自動車株式會社 赤坂區溜池町三一。(電)赤坂一一九一一一九三。米國製クライスラー・プリムス・フアゴ自動車日本總代理店。二十五萬圓。(代表者)木村兼次郎。(使用新聞)東日、東朝、時事、讀賣、都、中外、モーター、スピード、日刊自動車新聞等。(段數)百八十行。(代理業)正路喜社。(沿革)大正

城、臺北、六支店を有す。

日米スター自動車株式會社 赤坂區溜池町二。自動車輸入。株式。五十萬圓。(代表者)相羽有。(新聞廣告費)六萬五千圓、其他三萬五千圓。東京各新聞、大朝、大毎、地方四十五種新聞。(代理店)電通、豐國。

日産自動車株式會社 横濱市新子安。(電)本局六三三。自動車製造。株式。一千萬圓。(社長)鮎川義介。(常務)山本惣治、久保田篤次郎。(使用新聞)東京八紙、大阪二紙、地方百餘紙。(廣告取扱)電通。(沿革)昭和八年十二月創業東洋唯一最大の自動車大量生産設備を有し國產自動車の八割強を生産する工場也、従業員千八百名、外に大阪工場二百名、生産能力自動車年二萬臺外に部分品。

堀井騰寫堂 神田區鍛冶町三(電)神田四二二一六。(營業科目)堀井騰寫版一般輸出入業。(代表者)堀井新治郎。

東京電氣株式會社 川崎市堀川町七二。マツダ電球。積算電力計、電流制限器、配線材料、配線器具、屋内照明器具、屋外照明器具、ラヂオ用機械器具、家庭用電氣器具、醫療用器械類、キバ體溫計等。株式。四千二百萬圓。(專務取締役社長)山口喜三郎。(營業)清水與七郎。(廣告)寺尾誠。(使用新聞)日本全國百新聞。

千代田組 麴町區丸ノ内一ノ一。(營業科目)電機諸機械、工具、油類、セメント、金庫。(代表者)中上三郎治。

大倉金庫本店 (合名會社) 日本橋區本町二ノ七。(電)日本橋八三二、二七八二、二七八三。金庫、鐵扉、鋼鐵製品。合名。十萬圓。(代表者)松井源五郎。(支配人)飯田作司。(營業)三浦鈴太郎。(新聞雜誌廣告)一萬圓、(印刷物)二萬圓。(代理業)豐國。創業明治五年。(十一、十、廿四)

大阪精米機製造所 大阪市港區夕風町一丁目。

カールツアイス株式會社 麴町區丸ノ内二ノ二〇郵船ビル内。

神奈川電氣株式會社 芝區

川北電機企業社 大阪市旭區今福町二〇三。各種電機機械器具製造、電氣土木工事設計監督請負、電氣企業投資。(代表者)岩崎。

吉田時計店 (株式會社) 下谷區上野元黒門町一二。(電)下谷一一五一六。時計貴金屬。東洋時計、ナルダン、チソツト、ウキラー。株式。二百五十萬圓。(代表者)吉田庄五郎。(支配人)木村倉造、佐藤健三。(營業)木島支配人兼。(廣告)木島支配人兼。(新聞廣告費)二萬圓。(他廣告費)一萬五千圓。(使用新聞)朝日、日日、讀賣、都、時事、報知、毎夕。(沿革)創業明治三十四年、姉妹會社に東洋時計株式會社拂込資金四十萬圓、大連市東洋時計商會拂込資廿萬圓、メーター類、自動車用品取扱、東洋商會あり。(十一、十、二八)

竹内金庫店 日本橋區馬喰町二ノ一。(電)浪花五一六〇一一二。竹内式金庫。(代表者)竹内太郎。

中川金庫株式會社 日本橋區室町三ノ五。

七歐無線電氣商會 (株式會社) (本社)麴町區內幸町大阪ビル内。(營業所)麻布區東町二六。(電)三田三二七七八、三五七六。ラヂオ取信機及無線機器材料。株式。廿萬圓。(社長)七尾菊良。(新聞廣告費)七千五百圓。(他廣告費)五千圓。(使用新聞)東朝、東日、讀賣。(代理業)博報堂。(十一、十、二八)

八洲自動車株式會社 赤坂區溜池町三一。(電)赤坂一一九一一一九三。米國製クライスラー・プリムス・フアゴ自動車日本總代理店。二十五萬圓。(代表者)木村兼次郎。(使用新聞)東日、東朝、時事、讀賣、都、中外、モーター、スピード、日刊自動車新聞等。(段數)百八十行。(代理業)正路喜社。(沿革)大正

十四年創立。
梁瀨自動車株式會社 日本橋區通三ノ四。自動車販賣、修理、保管。株式。五百萬圓。(代表者)梁瀨長太郎。(支配人)大澤喜市。(營業)鈴木由五郎。(廣告)飯沼久三。(新聞廣告費)約十萬圓。(使用新聞)東朝、東日、時事、報知、大朝、大毎、外地方一流新聞三十社。(契約行數)約一千行。(代理店)弘報堂、太平洋廣告取扱社。

山岡發動機工作所 京橋區木挽町七ノ二。

山野樂器店 京橋區銀座四丁目。一般樂器、レコード、樂譜。

山口自動車工場(工場)向島區吾嬭町西五ノ一七。(電)墨田二四五三。(營業所)日本橋區小傳馬町三ノ一。(電)浪花四三三五、四七七二。鋼鐵製全廻轉部防水式、山口自轉車、製造販賣。個人經營。百萬圓。(代表者)山口重彦。(支配人)山口虎彦。(三業)市來政光。(新聞廣告費)十二萬圓。(他廣告費)六萬圓。(使用新聞)全國。(代理業)電通、旭廣告、新興社、京華、豐國。

(沿革)創業廿五年全國に七十餘の配給所を設置、その管轄に全國五千軒の代理店を有し一絲亂れざる統制下に共存共榮の實績を上げつゝあり。
■十一年度に第二次五ヶ年計畫發表、工場の配給所代理店の有機的結合を強化、他方國內に於ける需要層の向上に勉む。
■十一年六月山口重彦、山口虎彦の兩君渡歐。(十一、十一、一)

丸石商會 神田區今川橋、トライアンフ自動車、ダイアモンドチェーン、ダンロップタイヤ、ブリミヤ自轉車等數十種。(代表者)山口正助。

松下電器製作所 大阪市此花區大開町二ノ二五。

福録商會 豐島區覺白町三ノ三五。

富士電機製造株式會社 麴町區丸ノ内二ノ六。
コダック・ジャパン・リミテッド 京橋區銀座西六ノ三。(電)銀座一一二四、一一二五。イーストマン製寫真材料卸、紐育コダック・ジャパン・リミテッド支店。(代表者)ピー・アール。

清水商會 神田區五軒町。

十字屋樂器店 京橋區銀座三ノ二。歐米樂器、蓄音器レコーダ、ラヂオ、樂器、樂書。(代表者)倉田繁太郎。

日立製作所 麴町區丸ノ内二ノ一二。電氣機械器具、電線。其他一般機械器具機關車の製造販賣。株式。一千萬圓。(社長)小平浪平。

森田製作所 大阪市港區池田町四ノ一。森田式消防用ガソリン自動車ポンプ、起重機、消火器、噴霧器、其他。(代表者)名和陽一郎。

守谷商會(株式會社) 日本橋區吳服橋二ノ三。(電)日本橋代表三二五一(6)。電氣用諸機械器具材料、鐵山土木建築船舶用諸機械、紡績機用諸機械其他工業品礦油輸出入貿易。株式。一百萬圓。(專務取締役)守谷商會。

(新聞廣告費)七千圓。(他廣告費)七百圓。(使用新聞)東朝、東日、時事、報知、讀賣、中外、日刊工業、日本工業。(代理業)博報堂、正路喜社。(沿革)明治四年創業、大正七年株式會社に

デマリ。 (支配人)同。(營業)福森憲一。(廣告)同。(使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日、其他。(代理業)東洋廣告取扱社。

小西六本店 日本橋區室町三ノ一。(電)日本橋一六六〇一六六四、七二二一四、二六五六。寫真機械、同材料品。合資。二百萬圓。(代表者)杉浦六右衛門。(業務擔當)杉浦千之助。(營業)森貞三。(外主要幹部)(大阪支店長)杉浦宗次郎。(六樓社工場長)杉浦誠次郎。(經理)西川竹三郎。(代理業)電通。(沿革)明治初年、工場(六樓社)(新聞製作材料業一覽にもあり)所在地淀橋區十二社。

後藤金庫店 京橋區西八丁堀二ノ六。

帝國ミシン株式會社 日本橋區江戶橋一ノ一二。(電)日本橋四六九四、四八五六。國產蛇の目ミシン。株式。一百萬圓。(社長)小野連三。(專務)小瀬與作。(取締役營業)小宮山武嘉。(廣告)嶋田卓彌。(新聞廣告費)十萬三千圓。(他廣告費)四萬圓(使用新聞)東京、大阪各紙其他

組織變更。(十一、十、二八)

杉山商會(合名會社) 大阪市西區立賣堀南通二丁目一六。(電)新町九〇一四、三一二七。諸機械及クボタ發動機、クボタデキーゼル、西島ポンプ。合名。二十萬圓。(代表者)杉山武夫。(廣告)吉坂泰太郎。(外幹部)江永保一、油太介、川島幸太郎。(新聞廣告費)四萬圓乃至五萬圓(他廣告費)二萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、其他地方の諸新聞。(代理業)大電通、旭廣告、其他本社直接。(創業)明治二十二年。(十一、十、廿六)

演藝の部

日本活動寫真株式會社 京橋區京橋三ノ一。(電)京橋二一二一九。映畫製作配給。八百萬圓。(社長)松方乙彦。(營業)田村榮一。(廣告)大久保謙治。(常務)堀久作、石井常吉。(新聞廣告費)十二萬圓。(他廣告費)十萬圓。(使用新聞)東朝、東日、讀賣、時事、報知、國民、都、中外、毎夕、中央、やまと、東

地方紙。一ヶ月總契約二萬四千行。(代理業)電通、博報、内外、八紙其他。(沿革)大正十年創業本邦最初の世界標準型足踏ミシンの製作を創始し、年額輸出五千臺國內販賣七千一萬二千臺の今日に及べり。
■最近一ヶ年間に全國樞要地に直營支店八ヶ所を開設通計十五支店を擁せり。
■増資に基き小金井に六千坪の新工場を建設十一年十一月落成せり。(十一、十一、一)

葵自動車株式會社 赤坂區溜池町三九。(電)赤坂一〇四〇、一〇四二。歐米自動車輸入販賣、ナツシュ、國産六甲。株式。五十萬圓。(代表者)難波金七。(支配人)菅野利兵衛。(廣告)増澤剛。(使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日、時事、報知、讀賣、外地方十數紙。(代理業)聯合、博報堂、外數社。(沿革)大正七年創業(合資會社)昭和八年十二月株式會社に組織變更。

安全自動車會社 赤坂區赤坂見附。自動車一般販賣。

淺沼商店 日本橋區本町二ノ

每、東夕、大勢、帝國、毎、二六。(代理業)電通、正路喜社。(沿革)大正元年。

日本映畫劇場株式會社 麴町區有樂町。常設映畫館。

東京寶塚劇場株式會社 麴町區有樂町一丁目。(宣傳)樋口正善。

常盤興業株式會社 淺草區公園六區。劇場經營貸貸。(支配人)大久保源之丞。(宣傳)川口一郎。(廣告費)四萬八千圓。(代理店)正路喜社。

南明座 神田區小川町三ノ一一。映畫。(代表者)片山三四造。(支配人)磯野茂。(廣告)同。(使用新聞)日日、朝日、讀賣、都、各紙五十行位。(代理店)電通。

公園劇場 淺草區公園六區。劇場經營。(宣傳)木内末吉。(代理店)大河組。

目黒キネマ 品川區上大崎町(廣告)宗田政雄。(代理店)電通、シネマ銀座 京橋區銀座七丁目一ノ六。(電)銀座二七五一。活動常設館。個人經營。(代表者)糸川正三。(新聞廣告費)一千五百圓。(他廣告費)一千五百圓。

宮田製作所 東京市蒲田區雜色町九一。(電)大森一〇九五、五四八三、蒲田二〇四六、三四七七。自轉車、自動自轉車、自動車、航空機、其他一般車輛。株式。一百五十七萬一千圓(全額拂込済)。(取締役社長)宮田榮太郎。(販賣)宮田敏夫。(沿革)創業明治十四年、分工場千葉縣大

多喜町。舊來本社の姉妹會社として東京、大阪及福岡の三都市に在りたる合資會社宮田製作所販賣店を業務擴張上本社に合併し支店とす。

佐倉金庫店 京橋區西八丁堀二ノ六。高級金庫販賣。

雄工社(株式會社) 板橋區志村清水町六二三。(電)板橋二七三三。書類用金庫。

一八。寫真機械、活動寫真機、理化學用機械、賣藥及製藥、度量衡。合資。五十萬圓。(代表者)淺沼治。(支配人)菅保男。(營業)加藤信夫。(新聞廣告費)三千圓。(代理店)正路喜社。(新聞製作材料業一覽にもあり)
■新聞の廣告掲載は仕入先にて當商會の名義を掲げて廣告す。

(使用新聞)東日、東朝、時事、アドバタイザリ。一ヶ月五百行。(沿革)大正十三年三月。(十一、十、二二)

松竹映畫興行社 (SYCON)

(電)丸ノ内二四七七―七九。映畫劇場經營(主として洋畫興業)(代表者)大谷竹次郎。(事務理事)細谷祐傳。(理事兼營業部長)蒲生重右衛門。(企畫課長)肥後博。(營業課長)中田晴康。(文藝課長)南部圭之助。(新聞廣告費)約十八萬圓。(使用新聞)東朝、東日、讀賣、時事、報知、都、國民、每夕、其他日刊新聞殆んど全紙其他映畫關係新聞雜誌。(沿革)昭和八年六月一日設立。

松竹合名會社 京橋區新富町六ノ一〇。

所屬九館―Sクラス帝劇、武藏野館、大勝館、Yクラス邦樂座、常盤座、新宿松竹座。Cクラス昭和館、日本館、本郷座。

松竹興業株式會社 京橋區新富町。

劇場經營。(社長)大谷竹次郎。(事務)城戸四郎。(歌舞伎座係)坂入英雄。(明治座係)

細谷辰雄。(東京劇場係)潮崎佐一。(新歌舞伎座係)森脇辰夫。(廣告費)十二萬圓。(代理店)正路喜社、電通。

十一月十日宣傳部長植木松塔君肺炎の爲め長逝す。

松竹キネマ株式會社 京橋區新富町。

活動寫眞フィルム製作及映畫館經營及輸出。(社長)大谷竹次郎。(事務)城戸四郎。(宣傳)野坂賢雄。(廣告費)九萬六千圓。(代理店)正路喜社。

新橋演舞場 京橋區木挽町六ノ九。

(電)銀座八一七、三七五六。興業。株式。二百萬圓。代表者)川村德太郎。(支配人)金子秀吉。(廣告)石川木舟。(代理店)弘報堂。

新興キネマ 京橋區八丁堀二ノ三。

(電)七六八―七六八九。五〇二一、五〇四九。映畫製作配給、興行。株式。五十萬圓。(代表者)大谷竹次郎。(副社長)堤左次郎。(支配人)吉村百太。(營業)本間賢治。(廣告)岡部龍。(京東撮影所長)白井信太郎。(東京撮影所長)高橋歲雄。(代理店)電通。(沿革)昭和六年九月創業。

P.C.L映畫製作所 麴町區有樂町二ノ一。

銀行會社の部

板谷生命保險會社 日本橋區江戶橋一ノ二。(沿革)昭和十年十二月前橫濱生命保險會社を改名。

日本勸業銀行 麴町區山下町一ノ一。銀行業。株式。一億四百五十萬圓。(新聞廣告費)七萬六千四百圓。其他一萬五千六百圓。(使用新聞)東朝外六百六十二紙。(代理店)電通、外八店。

日本勸業證券株式會社 麴町區內山下町一ノ一。(電)銀座二四三五―二四三九。債券、公債買賣、貸付、不動產金融貸付。株式。三百萬圓。(取締役社長)栗原鷹丸。(支配人)野村貞雄、赤岡道明、永野光。(庶務課長)荒尾美哲。(使用新聞)都下八新聞、地方十八新聞。(代理店)電通。(十一、十、三〇)

日本航空輸送株式會社 芝區田村町一丁目。(電)銀座四四〇五一六。(營業科目)定期航空

遊覽飛行。株式。一千萬圓。(取締役社長)原邦造。(沿革)昭和三年十月創立。

日本興業銀行(株式會社) 麴町區丸ノ内一ノ八。(電)丸の内二五一、二六一。株式。五千萬圓。(總裁)結城豐太郎。

日本生命保險會社 大阪市東區今橋。(宣傳)佐伯愚一。

同東京支店 日本橋區通一ノ五。

十一月三日九日社長弘世助太郎君逝く、享年六十六。

山口合名理事長佐々木駒之助君その後任となる。

日清生命保險株式會社 麴町區大手町二ノ二。(電)代表丸ノ内一五二一。生命保險。株式。二百萬圓。(代表者)吉田秀人。(總務理事)吉岡幸雄。(募集課長)小野木長次郎。(廣告)井關章。(使用新聞)中央、地方約八十紙。(代理店)電通、正路喜社、博報堂。(十一、十、三〇)

仁壽生命保險會社 麴町區內幸町一ノ一。(代理店)電通。

遠山芳三商店 日本橋區兜町二ノ一六。株式仲買。

常盤生命保險株式會社 麴町區有樂町一、二。(電)銀座一五〇一―一五七。生命保險業。(社長)岡本英作。(廣告)布施龜之助。(代理店)正路喜社、内外廣告、電通。(沿革)大正二年三月創業。

千代田生命相互會社 京橋區京橋二ノ二。(社長)門野幾之進。(事務)堀井卯之助。(庶務)植松義雄。(使用新聞)五十一。(代理店)八。

川島屋商店 日本橋區兜町二ノ二。

(電)茅場町二二三―一五。有價證券買賣募集引受。株式。三百萬圓。(社長)遠山元一。(常務)山下繼治。(取締役)神田萬吉、永井仙吉、高橋義四郎、戶田新太郎。(調査部長取締役)吉野岳三。(新聞廣告費)一萬五千圓。(他廣告費)五千圓。(使用新聞)東朝、其他。各紙二十五行二段毎日。(代理店)告天社。

片倉生命保險株式會社 京橋區京橋三ノ二。(電)京橋五一六一―一六。生命保險事業。株式。二百萬圓。(代表者)今井五介。(支配人)市川謙重。(使用新聞)

約五十紙。(代理店)電通、萬年、正路喜社、旭廣告、廣告社。

太陽生命保險會社 日本橋區江戶橋二ノ八。

報知、國民、讀賣、中外、都、地方は河北、北越、新愛知、名古屋、中國、福日、北海タイムス、小樽等六十紙。

玉塚商店 日本橋區江戶橋一ノ五。

(電)日本橋二一〇一―一三、三一―二一九。有價證券買賣。株式。二百萬圓。(代表者)玉塚榮次郎。(廣告)渡邊胖吾。(使用新聞)全國主なる新聞。(代理店)一定せず。

南滿鐵道株式會社東京支社 赤坂區葵町二。(電)赤坂二、一一―一〇。(大阪支社)堺筋安土町(電)本町一七〇〇、一七〇一。

野村證券株式會社 大阪市東區安土町二。證券株式仲買。株式。一千萬圓。(代表者)廣岡

音吾。(使用新聞)大朝、大毎、大時、各地方出張所々在地の各紙。(代理店)萬年社。

野村生命保險會社 日本橋區兜町一ノ三。(代表者)杉野喜精。(新聞廣告費)一萬六千圓。(使用新聞)東京五大新聞、東洋經濟新聞、ダイヤモンド。(代理店)電通、ダイヤモンド。

安田銀行 麴町區大手町一ノ六。株式。一億五千萬圓。(代表者)安田善次郎。(新聞廣告費)二萬圓。(使用新聞)東京日刊新聞十六紙、經濟雜誌十數種。(代理店)廣告社、電通、帝通、博報堂、弘報堂、東京通信、自由通信、豐國。

安田生命保險株式會社 日本橋區小網町二ノ二。(電)代表茅場町一二三一―一七。三千萬圓。(社長)四條隆英。(支配人)田中直通。

藤本ビルブローカー證券株式會社 日本橋區通一ノ四。千代田信託會社內。(代表者)大島三橋。(新聞廣告費)三萬圓。(使用新聞)東京日刊十六社、經濟雜誌の主なるもの。(代理店)

電通、京華、共益、日本經濟通信。帝國興信所(株式會社) 京橋區新富町一丁目三番地一、二。(電)京橋三一八一―一六。信用告知業、帝國興信日報(日刊)發行帝國信用錄、帝國銀行會社要錄其他書籍發行。株式。五十萬圓。(取締役社長)後藤勇夫。(支配人)藤田守一。(營業)同。(廣告)同。(沿革)創業明治三十三年三月三日、支所五十九ヶ所、所員一千名、日報代一箇年四十圓、信用告知の一大設備を有す。結婚紹介、代理業、出版業。

帝國生命保險會社 麴町區丸ノ内一ノ一。

愛國生命保險會社 麴町區有樂町一ノ二。

有隣生命保險會社 麴町區丸ノ内三丁目。

明治生命保險株式會社 麴町區丸ノ内二ノ一六。(電)丸ノ内一〇一―一〇六。生命保險。株式。二百萬圓。(取締役會長)藤田讓。(使用新聞)東朝、東日、時事、報知、其他。(代理店)電通、正路喜社、京華、廣告社。(沿革)明治十四年七月九

日創立。(十一、十、三〇)
三井物産株式會社 日本橋區室町二丁目一ノ一。(電)日本橋代表二二五、二二六、二二七、二二八、物品販賣業、問屋業、運送業、代理業、製材業、造船業、繫船並陸揚場業及以上の各業に附帯する事業。株式。一億圓。(代表者)井上治兵衛、田島繁二。(使用新聞)中外商業新報。(十一、十、三〇)
三井銀行 日本橋區室町二ノ一。株式。(代表者)三井源右衛門。(新聞廣告費)四萬八千圓。(使用新聞)東朝、東日、報知、中外、時事、經濟關係雜誌。(代理店)東京通信、電通。
三井生命保險株式會社 日本橋區室町二丁目。(電)日本橋代表三一四、特長三一四六。生命保險。株式。二百萬圓。(社長)有賀長文。(專務)野依辰治。(庶務課長)加藤業作。(業務課長)根本勘吾。(調査課長)金原正二郎。(沿革)大正三年三月創立高崎生命、昭和二年二月三井生命と改稱す。

三菱銀行 麹町區丸ノ内二ノ五。(電)丸ノ内代表二二三、二二四、長距離代表二二三九。銀行業。株式。一億圓。(取締役會長)串田萬藏。(常務取締役)瀨下清、加藤武男、山室宗文。(本店營業)丸山英彌。
昭和生命保險相互會社 芝區田村町四ノ一。
百貨店協會 麹町區丸ノ内海上ビル内。(書記長)伊藤重治郎。
住友生命保險株式會社 東區北濱五丁目二。(電)北濱代表二〇六。生命保險。一百五十萬圓。(專務)北澤敬二郎。(支配人)小松正則、平井政之助。(營業)加納純一。(新聞廣告費)三、四萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、外百二十種。(代理業)電通、萬年、旭廣告。(沿革)明治四十年五月。(十一、十、三〇)
鈴木圭三商店 日本橋區兜町二ノ一。
伊東屋 京橋區銀座通り二丁目和洋紙、文具一般。(廣告)足立。

雜の部

日本軍手製造株式會社 京橋區木挽町二丁目四。(電)京橋一九七〇。軍手(木綿製手袋)及メリヤス編物機械。株式。五萬圓。(代表者)今村壽男。(營業)浪花勇。(廣告)小澤巖。(幹部)長島利治。(新聞廣告費)一萬圓。(他廣告費)一萬圓。(使用新聞)全國主要新聞。(段數)六段。(代理業)萬年、京華、其の他二十ヶ所。(沿革)今井壽男經營ノ野江編物製造所を昭和八年法人組織とし千代田編物株式會社と改稱、昭和十一年九月日本軍手製造株式會社と改稱今日に至る。(十一、十、三〇)
日本電話建物株式會社 京橋區銀座七ノ三
東京灣汽船株式會社 芝區芝浦理立第八號地。(電)二一四一一二四四。東京近海遊覽航及運輸業。四百萬圓。(取締役社長)林甚之政。(專務)鈴木富太郎。(總務)橋爪三郎。(經理)鈴木治三郎。(營業)森義男。(宣傳課長)同。(會計課)益子智。(庶務課)稻垣隆士。(事業課)安井政。(船舶課)萩原久造。(用

度課)高橋傳榮。(船客課)武田重久。(貨物課)宮澤克太郎。(新聞廣告費)五萬圓。(他廣告費)三萬圓。(使用新聞)都下重大新聞。(代理業)電通、正路憲社、其他。(十一、十一、末)
 ■十年十月宣傳部長森井康雄君退社し營業部長森義男君の兼務となる。
 ■十一年十月芝浦八號地に移轉す。
東京ラヂオレーヤー株式會社 芝區三島町十八。(電)芝八、八二。電氣治療器ラヂオレーヤー、賣藥エキスピン。株式。四十萬圓。(代表者)飯田敏文。(新聞廣告費)三萬圓。(他廣告費)五萬圓。(使用新聞)主として地方紙五十紙位。隨時一頁位づ。(代理業)電通、(但し主として直接取引)。(沿革)創業十六年株式組織に變更十二年前。
 ■十一年ラヂオレーヤーの改良型を完成し、專賣特許を得て再宣傳に着手す。(十一、十一、卅)
東京農業園 神田區柳原。園藝用種子一切及家畜類の販賣。合資。(代表者)秋葉重吉。(廣告

費)年額一萬圓。(代理店)電通豊國、其他。
巴商會 神田區鍛冶町一九。巴風呂湯沸し竈其他數種。(代表者)岡本利平。
オキシヘーラー獎勵會 牛込區神樂町二丁目一。(電)牛込二二〇四、二二〇五。家庭治療器オキシヘーラーの製造販賣。個人經營。(代表者)矢部泰造。(營業)木村又四郎。(廣告)矢部泰造。(新聞廣告費)一萬圓。(他廣告費)五千圓。(使用新聞)東朝、日日、讀賣、報知、大朝、大毎、その他地方紙。(代理業)豊國、電通。(沿革)大正二年創立。(十一、十一、二五)
大川吸入器本舖 日本橋區本銀町。大川吸入器。
神崎商店 日本橋區米澤町一ノ二。
雅叙園 目黒區行人坂下、芝區芝浦、料理店。
第一ゴム製造所 瀧野川區瀧野川町、フレンド月經帶。
並木製作所 京橋區南傳馬町三ノ三。萬年筆製作。(代表者)瀧野菊次。

梅澤インキ製造會社 大阪市北區芝田町五二。新聞用インキ、印刷用各種。(代表者)西尾留三郎。
ノーブルバンド工業株式會社 淺草藏前三ノ六。(電)淺草二四八。ノーブルバンド。
矢滿登商會 大阪市西區靱通一。(電)土佐堀三四五、三四五六。ハタキン懷爐本舖。個人經營。(代表者)的場仁市。(支配人)内海榮一。(廣告)關雅雄。(新聞廣告費)三萬圓。(他廣告費)二萬圓。(使用新聞)都會新聞、地方新聞約七、八十社。(段數)一千行及五百行。(代理業)旭廣告、日新社等。(沿革)創業大正十二年。(十一、十一、三〇)
大和ゴム製造所 神田區東神田一。ビクトリヤ其他ゴム製品一般。
山梨水晶株式會社 山梨縣西八代郡大河内村。(電)大河内七、下部七。水晶。株式。十五萬圓。(代表者)米澤良知。(新聞廣告費)二萬圓。(他廣告費)四萬圓。(代理業)萬年社、博報堂。(沿革)昭和三年八月一日創

立、目下従業員二百餘名、水晶篆刻界には斷然日本一を誇る。社長米澤良知發明の水晶篆刻機は斯業界に一大革命を起したり。篆刻機は動力を用ひ、一日數千本の篆刻能力を有し、從來水晶印の通弊たりし淺刻りを如何程にても深く刻することが出来る。(十一、十一、三〇)
山本最商店(株式會社) 大阪市此花區吉野町二ノ一三。(電)土佐堀八一八九、八三八。セクターストロブ、セクター風呂釜、セクター竈、其他各種燃焼器川崎オルビット電氣扇。株式。六十萬圓。(代表者)山本最純。(營業)岩瀬正之助。(廣告)同。(新聞廣告費)一萬二千圓。(他廣告費)六千五百圓。(使用新聞)大朝、大毎、東日、東朝、外各地主要新聞。(代理業)萬年、日進、大阪電通其他。(沿革)大正五年創業、昭和十年株式會社に組織變更す。
小柳ゴム製作所 神田區連雀町。
 ■十一年十一月河北新報の第四回廣告意匠文案懸賞に一等入賞

商工大臣賞を受く。
テワイ商會(株式會社) 日本橋區通り三ノ五。(電)日本橋四一六、四五〇四。文化的臺所設備設計販賣。株式。二十萬圓。(代表者)横堀俊三。(支配人)篠崎忠雄。(營業)小林喜一。(廣告)支配人兼務。(大阪支店長)三宅周二。(新聞廣告費)二萬五千圓。(他廣告費)一萬圓内外。(使用新聞)東朝、東日、時事、報知、讀賣、大朝、大毎。(段數)千五百行位。(代理業)電通、廣告社、正路憲社。(沿革)大正十三年九月創業。昭和四年一月株式會社に變更。(十一、十一、卅)
サンエス販賣株式會社 麹町區丸ノ内昭和ビル二〇六號。(電)丸ノ内三七四三。サンエス萬年筆、インキ、クレイヨン、インキ消。株式。(代表者)金勝榮太郎。(支配人)速藤侑宏。(營業)高藤重藏。(會計)中村征二。(廣告)鈴木計三。(常務)鈴木陽右衛門。(使用新聞)五十四紙。(沿革)創業以來二十年、昭和十一年販賣會社新設。
 ■萬年筆インキ及獨特の新製品

を連続的に發賣。(十一、十一、五)
 澤井商店 大阪市南區安堂寺橋通。ムツソリニペン發賣。
 櫻井四寶堂 日本橋區馬喰町二ノ一。

鳩居堂 京都市寺町姉小路。
 美津濃運動用品株式會社 大阪市東區大川町二五。運動用品及服裝製造販賣。株式。五百萬圓。(代表者)水野利八。(使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日、北海タイムス、河北、臺日等。

篠崎イッキ製造株式會社 本所區綠町三ノ一六。チャムピオンイッキ、ライトイッキ製造元。株式。(代表者)篠崎又兵衛。(常務)篠崎清三郎。(支配人)權田昇平。(新聞廣告費)一萬八千圓。(使用新聞)大毎、東日、東朝、時事、地方新聞四十社、雜誌十數社。(代理店)直接及び正路喜社。(新聞製作材料業一覽にもあり)

セーラー萬年筆阪田製作所(株式會社) 吳市濱田町十丁目。(電)二五六九、二六二三。セーラー萬年筆、セーラーイッキ、其他文具製造販賣。株式。

二十五萬圓(全額拂込済)。(代表者)阪田久五郎。(支配人)三浦綱次郎。(營業)原博男。(廣告)中島四郎。(新聞廣告費)五萬圓。(他廣告費)三萬圓。(使用新聞)大朝、大毎、東朝、東日、讀賣、中外、報知、其他地方有力紙。(代理業)萬年、衆報社、正路喜社。(沿革)明治四十四年二月十一日創業。

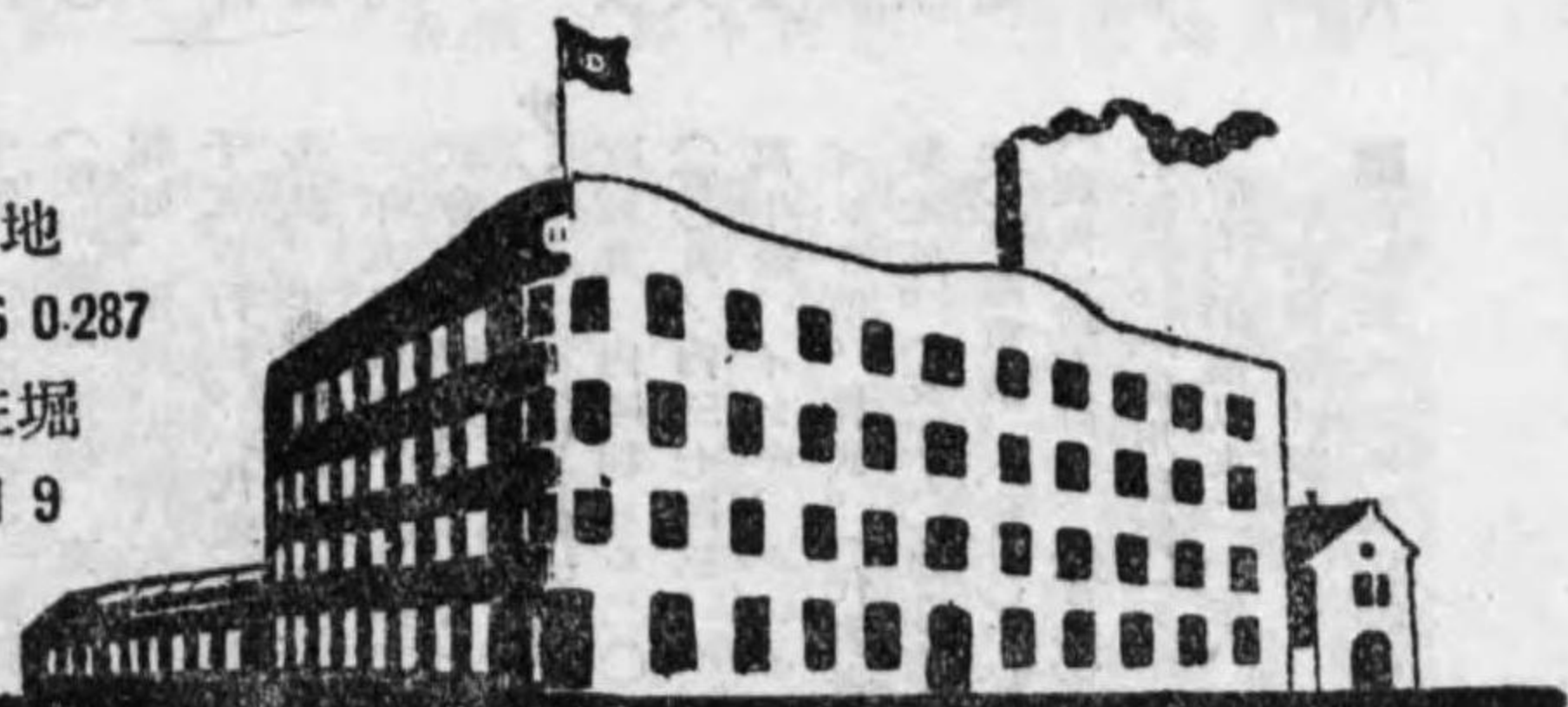
■十一年度には一本で細字、太字の書ける両面書萬年筆及びセーラーダイヤイッキを發行す。(十一、十一、二六)

スワン萬年筆製作所 淺草區馬道三丁目五。(電)根岸一五〇三。萬年筆製造販賣。個人經營。(店主)足立学。(廣告)店主。(沿革)創業明治四十四年二月、昭和五年五月合資會社に變更、昭和十一年五月再び足立学經營とす。

■最近一年間に輸出向製品の外進出をなす。(十一、十、三〇)

活字と機械 築地活版

本社一東京築地
 電話京橋60 0-285 0-286 0-287
 出張所一大阪土佐堀
 電話土佐堀 2-219



新聞關係諸機關一覽

一、本表は東京、大阪に於ける新聞關係機關の一覽表である。表の諸項目は一々其の機關について問合せたものであるが、中には締切期日までに回答を得なかつた爲め、手許の材料により記入した分も多少はある。各項最後の括弧内の数字は調査年月日を示す。一、配列の順序は東京、大阪の二種に分ち、東京は總體的のもの、外は更に編輯、營業、地方紙等に分ち、其各をも出来るだけ更に分類してある。記述順序は次の如し。

- 一、會又は俱樂部名。
- 二、組織、目的。
- 三、沿革。
- 四、事務所所在地、電話番号。
- 五、役員名。
- 六、會員名。

一、東京

日本新聞協會 本會は日本新聞協會と稱し日刊新聞社、日刊通信社等新聞事業に従事する者を以て組織す。本會は會員の親睦を旨とし會員並に新聞事業に従事する者の共済を計り事業の發達並に文化の向上を期す

るを以て目的とす。(沿革)創立大正二年四月八日、東京に創立總會を開き、本協會の生誕を見た。當時會員百一社出席者七十一社、爾來毎年一回大會を開いて大正十一年來完全に全國新聞通信界を網羅するものとなつた昭和五年畏くも總裁として東久通官稔彦王殿下を奉戴した。斯くて茲に二十四週年を迎へた。

(事務所)京橋區銀座四ノ四。(電話)京橋六七七四、八四二〇。(總裁)東久通官稔彦王殿下。會長)伯爵清浦奎吾。(名譽會員)清浦奎吾、徳富猪一郎、尾崎行雄、三宅雄二郎、大島宇吉、東武、秋田清、小坂順造、小山松壽、松岡洋右、上野精一、岡實。(相談役)平野文安、下村宏、奥村信太郎、上野精一、岡實、瀨木博尚、高木第四郎、高木貞衛、高原操、野間清治、阿部良夫、兒玉實良、永江眞郷、安藤和風、小坂武雄、岡崎國臣、湯澤精司、築田欽次郎、時實秋穂、田中都吉、吉武鶴次郎、門野幾之進、頭本元貞、緒方竹虎、高石眞五郎。(理事)長)光永星郎。(理事)岩永裕吉、山口喜一、西澤圭、都築直三、江藤甚三郎、佐藤碧、原田徳次郎、河村徹、小柳調平、布屋徹吉、大宮伍三郎、野中楠吉、山本實一、大森實、正力松太郎、福田英助、田中秋聲、多田爲太郎、佐藤新衛。(監事)三木七郎、一力次郎、高木貞衛。(評議員)鈴木要吉、長谷川淑夫、岡田義胤、大石泰正、氏家清、渡邊弘、

野口二郎、葭村喜三、松林政武、高木八良、今村七平、佐藤三郎、三宅市郎、村山長舉、能島進、大森實、岩永祐吉、末永鐵之助、吉富寅太、木村清一、三好榮次郎、多田爲太郎、野中楠吉、青木雙熊、長野潔、松岡富雄、牧山耕藏、吉武鶴次郎、緒方竹虎、田中秋聲、木村政次郎、服部敬吉、篠原秀吉、田中清文、山田金次郎、柏岡清勝、河村徹、大津征夫、上田碩三、宋眞萬、中崎憲、寺田四郎、香川熊太郎、菊竹淳、山本慎平、中目元治、續木壽三郎、川村直成、杉村廣太郎、山本實一、矢上以久三郎、一力五郎、中川秀吉、高橋嘉津美、勝部本右衛門、光永星郎、山口喜一、西澤圭、都築直三、江藤甚三郎、佐藤碧、原田徳次郎、三木七郎、進藤信義、小柳調平、布屋徹吉、森一兵、一力次郎、芥川浩、大宮伍三郎、正力松太郎、福田英助、江河勝太郎、大石光之助、高木貞衛、佐藤精、東山半之助、廣井重次、方應模、河井戸四雄、田中齊、後藤清郎、村田馨磨、高見章夫、

後川晴之助、佐藤新衛、若田均、赤澤義人、美土路昌一、杉山幹、(廣告料不拂通知に關する委員) 島田昇平、酒井謙吉、高木貞術、三木七郎、岡田伊三郎、瀬木博尚、新田宇一郎。(用紙問題調査責任委員) 福田英助、原田德次郎、吉武鶴次郎、岡田伊三郎、森一兵、一力次郎、小坂武雄、河村徹、山口喜一、田中秋聲、草野造、石井光次郎、大森實。(日本新聞賞委員) 徳富猪一郎、東武、下村宏、岡實、寺田四郎、田中都吉、正力松太郎、福田英助、大島宇吉、與良松三郎、永江眞郷、一力次郎、河村徹、村田憲廣、時實秋穂、光永星郎。

(新聞學院長) 山根眞治郎。(書記長) 兒玉璋一。(甲種會員) はらき(中崎憲)、岩手(日報)後藤清郎、伊勢新聞(松本宗重)、因伯時報(木村清一)、伊豫新聞(大本貞太郎)、博生堂(佐藤春造)、濱松新聞(相佐眞平)。函館毎日新聞(厚谷厚)。函館新聞(長谷川淑夫)。函館日日新聞(佐藤勘三郎)。電通(光永星郎、光永眞三、上田碩三、能島進、

曾我祐邦)。新潟毎日(小柳調平) 新潟新聞(山田助作)。日刊山形(大石泰正)。日本商業通信(山本滋雄)。報知(野間清治、寺田四郎)。北海タイムス(阿部良夫、柏岡清勝)。北羽新報(島田豊三郎)。北陸タイムス(田中清文)。北陸毎日新聞(永井柳次郎)。做蟻(金子晋次郎)。北鮮日報(岡本常次郎)。北鮮日日(三上新)。北國新聞(林政武)。北越新報(廣井重次)。北陸日日(鷹取健次郎)。防長新聞(白銀禮治)。豊州新報(長野潔)。奉天日日(庵谷忱)。平壤毎日(稻葉善之助)。東京朝日(上野精一)。東京日日(岡實吉武鶴次郎、杉山幹)。東京毎日(千葉博己)。東京毎夕(木村政次郎)。鳥取新報(下田勘次)。土陽新聞(橋田早苗)。富山日報(横山四郎右衛門、葭村喜三松)。富山タイムス(大島宇吉)。東京通信(箕浦多一)。徳島毎日(多田爲太郎)。徳島日日(市原理之)。東奥日報(山田金次郎)。東亞日報(宋鎮禹)。豊國通信(谷口武雄)。中外商業(田中都吉、村上幸平)。中央新聞(堀川勝造)。千葉

毎日(五十嵐喜久)。中國日報(大森實)。中國新聞(山本實一)。朝鮮新聞(牧山耕藏)。朝鮮日報(方應模)。朝鮮商工新聞(齋藤五吉)。朝鮮民報(河井戸四雄)。朝鮮經濟日報(小野久太郎)。朝鮮通信(伊藤韓堂)。中國日日新聞(瀨川武雄)。朝鮮中央日報(呂運亨)。朝鮮中央新聞(丸山虎之助)。中外日報(眞溪漢骨)。大阪朝日(上野精一)。大阪毎日(岡實、真村信太郎)。大阪新日報(野田廣二)。大阪電通(光永星郎)。大阪朝報(岡島松次郎)。大分日日(野依秀市)。大分新聞(大津征夫)。小樽(矢上以久三郎)。小樽商業(小山健藏)。近江新聞(平井光三郎)。岡山新聞(井口靜一) 大牟田毎日(平山喜録)。鴨江日報(加藤鐵治郎)。和歌山日日(山崎傳之助)。和歌山新報(久下豊忠)。關門日日(末光鐵之助)。河北(一力次郎)。鹿兒島朝日(山元玄十郎)。鹿兒島(兒玉實良)。樺太日日(太田鎮雄)。樺太時事(栗岡巳八)。海南(香川熊太郎) 讀賣(正力松太郎)。横濱貿易(三宅市郎)。高田新聞(飯田茂勝)。

島新聞(助川啓四郎)。釜山日報(芥川浩)。福井新聞(今村七平)。國民新聞(田中齊)。弘報堂(江藤甚三郎)。神戸又新(小畑虎之助)。神戸新聞(進藤信義)。神戸日日(岡田定吉)。廣告社(湯澤精司)。高知新聞(野中楠吉)。越佐新報(木村清三郎)。愛媛新報(安藤音三郎)。江差新聞(北林屹郎)。旭廣告社(奥野幾次郎)。秋田魁(安藤和風)。愛知(續木藤三郎)。旭川(田中秋聲、五十嵐兵五郎)。山陽新報(高見章夫)。山陰日日(三好榮次郎)。山陰新聞(水津直太郎)。山陰毎夕(押村獎)。酒田新聞(池田藤彌)。岐阜新聞(清寛)。岐阜日日(高橋嘉津美)。九州新聞(高木第四郎)。九州日日(深水清)。九州日報(森田久)。金水堂(福井晃)。京都日出(後川晴之助)。京都日報(大久保喜三郎)。京都日日(山根文雄)。共同通信(松原繁吉)。夕刊大阪(前田久吉)。都(福田英助)。宮崎新聞(仲道政治)。三重日日(杉浦靖敏)。三重縣民(鈴木友二郎)。時事(松岡正男)。信濃毎日(小坂武雄)。信濃日日(小笠

原幸彦)。信濃民報(三澤眞澄)。信濃日報(百瀬渡)。信濃時事(遠山方景)。松陽(岡崎國臣)。正路亭社(布屋徹吉)。下野新聞(川村直成)。静岡新報(江河勝太郎)。静岡民友(大石光之助)。新愛知(大島一郎)。上州新報(木槍三四郎)。上毛新聞(篠原秀吉)。常總(渡邊弘)。自由通信(小高長三郎)。四國民報(東山半之助)。新京日日(染谷保藏)。上海毎日(深町作次)。ジャパン・タイムス(若田均)。門司新報(毛利保太郎)。門司新聞(梅月瀨太郎)。木浦新報(福田有造)。仙臺日日(小原侃)。勢州毎日(西川陽月)。青島新報(小谷節夫)。盛京時報(染谷保藏)。全北日報(松波千海)。百八十九社(二百一名)。乙種會員) 中井川浩、關孤圓、藤井健兒、岩淵榮男、下村恒彌、市來政尙、三井康秀、森勇、吉田覺一、松崎正二郎、三好庄太郎、佐藤精、阿部金衛、片谷鏡太郎、漆原一衛、北村温平、佐藤春雄、中根安、齋豐三郎、安藤彪雄、勝木常雄、元永盛美、栗原廣、木下源一郎、安田頑文、

平林虎男、小野田正、神子鳥稻郎、河崎義男、安武誠一、及川六三四、本田中、迫大平、丸山清作、藤澤民之助、荻原忠三、瀬戸敦、小座間茂、宮澤芳洞、種田豊作、石崎幸銀、吉田秀雄、伊藤興一、井上壽三、中山昇、田畑雅、住田映介、吉岡颯之輔、横田實、鹿子木日出雄、福井輝三、山田市助、麻生林策、青島秀徳、河邑光城、藤井祥正、山本忍介、萩原久雄、櫻鐵三郎、瀨川伊和男、落千代二、三増正穂、田中松兵衛、杉山善之助、樋口徳次郎、石井廣友、庄司貞夫、古川哲治、田中正治、淺海琴一、川崎新吉、坂口猷吉、井上敏行、井口陸造、藤田藤助、平手謙一、三木七郎、久間九郎、廣田四郎、赤澤義人、瀨利武吉、東宮七、山口喜一、長内清、前田潔、河合七郎、瀨川山吾、佐藤守四郎、耳寅吉、高橋恒次郎、瀧本靜良、菊地吉次郎、西美藏、的場利貞、崎野平三、櫻井兵五郎、高木八良、淺野平成、得田孝二、武谷甚太郎、宮澤由三郎、林繁、嵯峨保二、吉藤初三郎、

高田日報(中村又七郎)。臺灣日日(河村徹)。臺南(宮本一學)。高岡新聞(櫻井宗一郎)。臺灣新聞(松岡富雄)。大正日日(米田誠夫)。丹州時報(出口伊佐男)。宗谷新報(岡田義胤)。鶴岡日報(諏訪尙太郎)。根室(兼古萬吉)。長野新聞(山本慎平)。名古屋通信(後藤清文)。名古屋毎日(野村浩司)。名古屋(與良松三郎、森一兵)。長崎日日(牧山耕藏)。南信日日(林七六、三澤慶重)。内外通信(瀨木博尙)。南嶽時事(山村豊次郎)。南信新聞(林雅次)。南信毎日(野澤準治)。室蘭毎日(鈴木要吉)。吳日日(今敷宗治)。釧路新聞(遠藤清一)。群馬新聞(加藤徳重)。山形自由(服部敬吉)。山形民報(齋藤庄之助)。山梨日日(野口二郎)。山梨毎日(保坂政次郎)。萬朝報(石井文作)。萬年(高木貞術)。滿洲日日(村田憲廣)。マンチュリア・デリー・ニュース(高柳保太郎)。京城日報(時實秋穂)。藝備日日(中村厚次郎)。元山毎日(西田常三郎)。福岡日日(永江眞郷)。福島民報(中目元治)。福島民友(氏家清)。福

今井徳太郎、西方稻吉、鍋田祥平、澁谷謙三、土田行丸、有川哲四郎、竹村才一、弘中武一、溝部啓三郎、西村藤夫、森幸次郎、岩滿太平、石井光次郎、緒方竹虎、杉村廣太郎、美土路昌一、都築直三、志毛井確太郎、島田昇平、伊藤金次郎、遠藤次郎、相馬基、高橋直通、中川恒之、前田亮、廣瀬勝、寺田仙之助、武田永孚、工藤規、宮川善五郎、鳥口初太郎、柿崎千代吉、相馬常吉、眞島信茂、梁源模、申浩均、佐藤三郎、明渡泰次郎、小汀利得、大谷浩、佐藤新衛、外狩顯章、中村菊之助、月性登吉、田上市太郎、山本正房、中町國吉、上野卓爾、築藤綱一、林保登、伊藤音三郎、飛鳥江亮智、和田重義、石森久彌、牧山圭秀、神代祇彦、石丸務、小林秀雄、鮫島宗也、三宅哲夫、宋乘暉、金燭元、大森豊吉、宮岸如亮、田中常人、佐藤碧、伊藤貫一、宮本惣平、村山長舉、刀彌館正雄、飯田爲三郎、吉川義章、潮海秀之助、岩子龍太郎、小田民造、每木一八、澤邊保雄、

藤井眞須男、田代實助、春日中
和、熊野御堂好女、御手洗三三
郎、松浦清平、竹田津吾一、平
野文安、加納虎太郎、本田龍、
加藤敏三郎、森下禎三、小山榮
一、祖上祐三、小川延吉、渡邊
眞一郎、戸田長次郎、三井茂、
一力五郎、赤坂敬止、大場俊、
高橋儀藏、櫻田定熙、千知岩德
太郎、木原小平、青太雙熊、鯉
坂貞盛、平井義彦、河内時申、
加藤七五郎、村尾龜一、河村峯
太郎、末光功一良、河野馬喜松、
安滿長三郎、寺岡正巳、井上三
男、杉本善之助、土野長壽、吉
川文次郎、香川和男、武知勇記、
玉井喜久馬、瀬谷薫、今井喜藏、
高市次郎、沖島謙三、庄田良、
小和田嘉一、三谷誠亮、高瀬正
美、島津春、山池清瑞、長谷理
教、大澤貞吉、永井省三、中柳
勝次、入貝良郎、大月京平、德
富迪、大西隆之助、瀧澤文治郎、
片田温一、中谷清治、磯田義治、
杉村乙次郎、梅田茂、大宮伍三
郎、工藤愷夫、田端才二、瀬木
博信、名取周平、宮澤濱治郎、
前島貫一、井上雄馬、久留島豊、

廣田寛一、貴田忠衛、赤松彦太
郎、新橋太右衛門、渡部彦四郎、
佐藤善吉、齋藤仁、清水富士平、
寺田重雄、米澤熊之進、栗原伸
中川秀吉、日笠芳太郎、天谷深
吉、李相協、余尙會、兒島吉治、
高田知一郎、原田德次郎、菊竹
淳、阿部暢太郎、齊田耕陽、大
槻不二雄、黒田靜男、竹林巖、
富永隆之、野口義夫、古和口虎
雄、三瓶仙輔、木暮仁輔、半谷
眞雄、唐橋重政、渡邊利正、山
野秀一、永延清四郎、藤山正三、
堀克己、浮田金次、青田憲次郎、
大野三郎、湯澤清、中島成功、
栗尾結城、井上環、和田恒彦、
向井勘兵衛、酒井謙吉、堀口金
太郎、富泰榮、森本隼太郎、北
林一、岸田喜八郎、樋口鏡六、
皆川哲雄、武橋祐吉、佐藤竹之
助、井上勝太郎、昇季雄、大森
熊藏、小林幸太郎、野宮熊之進、
西部健而、松下兵馬、須澤奇峯、
杉山榮、松田卓、伊豆富人、本
田與一、草野造、神原啓一、永
嶺信恒、高木亮、林裕資、有働
達吾、山田豊、松島直養、關應
陽、佐藤駒太郎、清水俊光、西

尾孝一、木下章、永井重雄、武
藤啓二郎、福井眞司、瀬古安太
郎、片岡暉、横田彌太郎、福良
虎雄、岡島義郎、山本信博、勝
部本右衛門、新井寛三、西澤圭、
三澤精英、大日方利雄、中澤淳
一郎、森岡重藏、岩下確爾、金
田輝夫、原貴雄、堀江三五郎、
西村長次郎、伊藤平治、中村周
一郎、安田彦三郎、淺田源一、
宮澤源三郎、黒崎雅雄、福澤義
男、東泉庸、田邊信平、橋本滿
次郎、野澤善三郎、新江寅、群
司勘之助、酒井義徳、羽生田源
三、小川兼四郎、井出郷助、荻
原實、青野與右衛門、清水本之
助、遠山五男、鳥居政幸、井上
忠太郎、小川源太郎、鈴木平一
郎、田中齋、岡田伊三郎、小原
實、大島一衛、水野幸吉、山浦
貫一、山崎兼次郎、十河榮忠、
樋口清太郎、大澤米造、青木巖、
松本七五郎、野斗勝文、城谷黙、
山本精一、鹿野秀三、梅月貞。

を推し、次いで黒岩周六氏、添
田壽一郎氏を経て現に前中外商
業社長兼田欽次郎君會長たり。
(事務所)東京日新聞社内。(電
丸ノ内三二、三三一。(會長)
築田欽次郎。(幹事)岡崎鴻吉、
廣田四郎、田中齊、服部錠三、
高木富五郎、頭本元貞。(會計監
督)光永星郎、坪谷善四郎。(會
員)(報知)寺田四郎、鈴木宇一、
廣田四郎。(東日)奥村信太郎、
高石眞五郎、岡崎鴻吉、杉山幹、
久富達夫、西村公明。(中外商
業)村上幸平、佐藤三郎。(讀賣)
柴田勝衛、高橋雄毅、前田蓮山。
(滿日)細野繁勝。(國民)田中
齊。(都)大谷誠夫、服部錠三。
(博文館)坪谷善四郎。(日本新
聞通信)金子有隣。(電通)光永
星郎、上田碩三。(ラルド)頭
本元貞。(外交時報)半澤玉城、
高木富五郎。(富山房)長谷川福
平。(鐵道時報)木下立安。(新聞
研究所)永代靜雄。(實業之日本)
増田義一。(自由通信)小高長三
郎。(社外)築田欽次郎、額母木
桂吉、青木精一、安藤正純、斯
波貞吉、神田正雄、松尾要、田

春秋季會 新聞雜誌及通信記者
の社交俱樂部。(沿革)明治四十
一年の創立、會長に箕浦勝人氏

村全宣、富田幸次郎、馬場直美、
矢野晋也、新居房太郎、座間勝
平、伊達源一郎、芝染太郎、吉
植庄一郎、井上正明。(一一・一
〇・一〇)

二十一日會

編輯幹部を以て組織し編輯に關する意志の疎通を計る。(沿革)大正十四年四月二十一日發起人を開き、會名規約等を決定、翌五月十一日發會式を兼ねて第一回會合を催す六月の第二回會合に於て會則を變更し、爾來毎月二十一日に例會を開く事として今日に至る。(事務所)同盟通信社(電話銀座二二二)(幹事)中根榮、長谷川光太郎、鈴木宇一、渡部英夫、古野伊之助。(會員)(報知)岡野茂雄、川口清榮、倉辻明義、齋藤義作、鈴木宇一。(東日)西野入愛一、岡崎鴻吉、高石眞五郎、高田元三郎、久富達夫、杉山幹。(東朝)緒方竹虎、野村秀雄、美土路昌一、北野吉内。(中外商業)小汀利得、小田島定吉、兒玉秀雄。(讀賣)高橋雄彪、柴田勝衛。(國民)田中齊、山内一郎。(都)服部錠三、渡部

東京新聞通信聯盟

正五年六月成立、都下新聞社通信社二十八社聯盟。(沿革)昭和六年七月社団法人として内務大臣認可さる。(事務所)京橋區銀座西七ノ四(電話銀座一五四七)(理事長)金子有鄰。(理事)小高長三郎、石和田八郎、似島吉次、瀨尾榮太郎。(監事)福澤七五郎、宇田國榮。(會員)都下新聞社通信社代表二十三名。(一一・一一)

新聞通信記者會總

昭和六年十一月の俱樂部改革の時各俱樂部の橫斷的聯盟として成立せるもの。(事務所)首相官邸内。(幹事)永田俱樂部外十二俱樂部。(加盟俱樂部)竹橋俱樂部、黒潮會、交通記者會、經濟記者俱樂部、東京労働記者會、山下俱樂部、首相官邸記者會、法政研究會、財政俱樂部、拓務研究會、同氣俱樂部、司法記者會、内閣記者會、永田

八社會

都下八社の定價實行を目的とする決議實行機關として昭和十一年九月三日中外商業新報社長田中都吉君の提唱に依つて結成されたもので、本機關の中には八社首腦部を以つて分科されてゐる「八社首腦部會」と販賣部長を以つて更らに「八社部長會」の分科がある。(會員)(八社首腦部會)正力松太郎(讀賣)、石井光次郎(東朝)、山田潤二(東日)、三木七郎(報知)、田中都吉(中外)、前田久吉(時

事)。田中齊(國民)(八社部長會)原重徳(國民)、原澤吉三郎(時事)、櫻原五朗(中外商業)、高田廣海(東朝)、七海又三郎(東日)、岩崎英祐(報知)、務臺光雄(讀賣)。
●十一年八月都新聞脱退す。
編輯關係
政治・經濟・社會

帝國議會記者俱樂部

明治廿三年帝國議會開設と共に前記の目的を以つて組織され、昭和四年四月分裂したが同年十一月更新し、結束を鞏固に爾來俱樂部の目的遂行に遺憾なきを得てゐる。創立以來同盟新聞記者俱樂部と稱せしめ昭和十一年十二月五日の總會に於いて現稱に改む。(事務所)衆議院構内。(役員)山本彦三郎、唐島基智三、西村虎一、金子有鄰、丹野虎吉、瀨尾榮太郎、小林藤吉、熊谷寛一、山田豊。(會員)在東京新聞社二十一社、在東京通信社四十社、在地方新聞五十四社、在地方通信社一社。(一一・一一)

永田俱樂部

社の政治部擔當者を以て組織す
(沿革)内閣制度實施と同時に本年
をもつて五十一周年。(事務所)
麹町區永田町首相官邸内(電銀
四〇〇九、二七六〇)。(幹事)順
番、四名、三ヶ月交替。(會員)
(二六)石田左近、森岩吉。(日本
通信)此經春也。(日本聯合通信)
缺。(日本合同通信)矢花義敏。
(日本運動通信)埼玉吉次郎。(北
海タイムス)的場利貞。(東京通
信)平井勝利。(東京毎日)宮本
基。(東京毎日通信)白谷豊太郎、
(東京毎日)田原恒雄、御藤納健、
(東京夕刊)齋藤康。(東京時事
通信)佐々進。(東邦通信)矢田
吉季。(東海通信)百武功。(東
洋通信)吉田彌四郎。(東亞通信)
森山徳治。(特別通信)缺。(獨
立通信)元木肇。(千代田通信)
徳永健一。(中央)船田順弘。中
央通信)缺。(朝野通信)金子四
郎。(大阪時事)水谷信雄。(大成
通信)北條爲之助。(大日本通信)
缺。(臺灣日々)中柳勝次。(臺
灣新民報)吳三連。(名古屋)北
井利雄。(内外通信)一ノ瀬勝夫、

内閣記者會

東朝、東日、
時事、中外四新聞社の内閣擔任
記者團。(事務所)麹町區永田町
二ノ一(電)銀三六三三。(幹事)
二社半期交代。(會員)(東朝)入
澤文明、大渡順二、山崎武彦、
鹽澤總、岸勇夫、宮崎世龍、田
畑政治、磯野清、中野五郎。(東
日)橋野克郎、田村壽、塚田一
甫、野中盛隆、小林義郎、佐藤

首相官邸記者會

昭和十一年五月二十七日永
田俱樂部より分離。(事務所)内
閣總理大臣官舎内。(役員)毎月
幹事三名選任。(會員)(同盟)中
村伸康、久野茂男、首藤恒、松
田常雄、淺野豊、江木武彦。(讀
賣)花見達二、大熊武雄、古田
徳次郎、安藤覺。(報知)森義夫、
藤田尚芳、木原通雄、神田道徳、
(福日)橋本善次、中野節郎、梶
原景親。(國民)(總聯盟)決議
により目下除籍中)山内藤市、
青山二郎、宮本傳治。(新愛知)
後藤勇、熊谷行利。

霞俱樂部

外務省出入の新
聞及通信記者を以て組織し、
一、職務上の便宜を計ること、
一、俱樂部員は相互扶助を旨と
し共通の利益擁護並増進の爲に
は適當なる措置を執ることを以

櫻田俱樂部

日刊新聞通
信社の民政黨擔任記者團。民政
黨成立前の憲政會擔當櫻田會と
政友本黨擔當の如月會が、成立
と共に兩者合併して櫻田俱樂部
となつたものである。(事務所)
麹町區内幸町民政黨本部内(電
話銀座三〇七〇)。(幹事)七名三
箇月交代。(會員)(日本通信)是
經春也。(二六)下條光三、森岩
吉、土田泰治。(報知)下田三郎、
小原俊一。(東京毎日通信)櫻井
貢。(東京夕刊)齋藤康。(東京
時事通信)浦澤一男。(日日)廣

山下俱樂部

政友會擔當
新聞通信記者を以て組織す。
(沿革)元十日會と稱し昭和三年
より現名となる。(事務所)麹町
區内山下町立憲政友會本部内
(電話銀座六〇八)。(幹事)森川
不二男、阿部欽一、石田左近。
(會員)(二六)石田左近。(報知)
岡崎博光、猪取直二。(東日)今
尾登、佐藤三郎、松浦年三郎。
(東京毎日)金子憲太郎。(東朝)

宮内記者會

宮内省諸新
聞通信記者團。前名坂下俱樂部
を改稱す。(事務所)宮内省内。
(會員)(同盟)小寺信重、藤原繁
太郎、田中徳、藤井信次郎。(報
知)出原忠夫。(東日)藤澤準二。
(大毎)吉良武夫。(英文毎日)新
井達夫。(東京毎日)山本一能。
(東朝)岩田豊秋。(大朝)松上倫
美。(朝日グラフ)大島泰平。(聯
合演藝)庄司和。(東海)百武功
(千代田)齋藤義香。(中外)田中
順之助。(愛通)永友宗正。(時
事)金行動。(大時)津田正彦。
(日通)水越福藏。(毎夕通)中村
次兵衛。(日本)稻見大藏。(都
小澤新一。(名古屋)大島隆二。
(讀賣)窪田忠次郎。(一一・一〇、
一五)

陸軍省記者俱樂部

陸軍に關する記事蒐集を目的と
つて組織し、取材の合理化を目
的とす。(事務所)海軍省廳舎内
(電話銀座五二〇〇)。(幹事)幹
事二名、任期二箇月、各會員交
替。(會員)(報知)佐野野彦、神
田道徳、楠孝平。(東日)池松文
雄、長瀧武、高橋司三治、八並
璉一。(東京毎日)田原恒雄。(東
朝)林田夫。田村眞作、磯野清、
河野健治、磯田薫一、羽田武嗣
郎。(東京夕刊)西島五一。(中外
商業)瀧澤伯永、秋尾廉。(讀賣)
内田榮、神田孝次。殿田孝次。(名
古屋)池田辰二。(やまと)竹脇昌
作。(夕刊大阪)缺。(都)古澤磯次
郎、神田實。(時事)松元堅太郎、
北川長二郎。(帝國新報)上領一
郎。(北海タイムス)缺。(ジャパ
ンタイムス)山岸孝一郎。(中央)
缺。(臺灣日日)中柳勝次。(日
本)此經春也。(同盟)猪伏清、
森元治郎。(獨立)石田龍藏。(千
代田)缺。(中央)缺。(毎夕)鈴
木直平。(日露)澤宣治。(内外
佐藤信夫。(福岡日日)梶原景親。
一一・一一・一〇)

黒潮會

加盟新聞通信社を以

ずる記者團。(沿革)以前は北斗會の名稱を以て存在せしが一時俱樂部分裂の結果、大正十年五月辛酉俱樂部と稱し昭和七年更に現名に改稱す。(事務所)麴町區永田町陸軍省內。(會員)(東朝)田村眞作、磯野清、林陸夫、磯田薫、石尾市太郎、長一溪、藤井滿洲男、河野健治。(東日)長瀧武、若松宗一郎、秋定鶴造、渡瀬亮輔、長坂慶一、藤田市助、三原信一。(英文東日)北條清一。(大毎)征矢野平三。(報知)百武末義、木原通雄、佐野増彦、西田當元。(讀賣)内田榮、神田孝一、瀧本潔、大山惠佐、大熊武雄。(時事)中村登、津田正彦。(國民)熊谷幸利、田代滿、江端豊信。(都)小原一三、山内正豊、櫻村實。(新愛知)佐伯貢。(中外商業)角出正則、大平進一、田中順之助。(東京毎夕)相川善太郎。(東京毎日)海老名伊吉。(東京夕刊)高橋宗次。(二六)大賀駿三。(帝國新報)鈴木壽正。(日刊工業)加藤彰。(名古屋)竹崎半之助。(北海タイムス)石橋百一。(臺灣日日)中柳勝次。

(滿洲日日)八田泰輔、(同盟)及川六三四、宇多武次、島田三郎、藤原繁太郎。住谷金吉、大岩和嘉雄、高雄辰馬。(日本通信)是經春也。(千代田通信)南谷果。(中央通信)井上明夫。(福日)梶原景觀。(京日)三浦悅郎。(工業)杉山三郎。(滿洲報協會)芹澤眞一、越部半次郎、村上照隆。(以上二十六社六十五名)(一〇一・一〇)

茜俱樂部 本俱樂部は憲兵司令部及東京憲兵隊出入の東京市内に於て發行する日刊新聞通信記者を以て組織し新聞記事取材及俱樂部員相互の親睦を圖るを以て目的とす。(事務所)麴町區竹平町三憲兵司令部內。(幹事)幹事二名、任期二ヶ月輪番交代とす。(會員)(東日)三原信一、藤田市介。(東朝)島津彌六、藤井滿洲男。(時事)石田周藏。(讀賣)瀧本潔、橋岡通雄。(報知)西田當元。(晝夜)植村武。國民)田代滿。(同盟)武田尚昌、小栗周三郎。(都)吉田吉二郎。(中外)村合正夫。(やまと)池田頼治。(一〇一・一一)

内政研究會 内務省所管記事取材の爲め報知、東日、大毎、東朝、中外、國民、時事八社の内務擔當記者を以て組織す(沿革)大正十二年十二月創立。(事務所)麴町區外櫻田町一内務省內(電話座三九九二)。(幹事)伊藤武雄、楠孝平。(會員)(東日)山本彦三郎、佐藤嘉四郎、伊藤實、根上柏實、長坂慶一、住本利男、秋定鶴造。(大毎)井上巖三郎、武良碩、高木徳(東朝)磯田薫一、鹽澤總、久住悌三、藤井丙午、徳山繁太、岡田俊一。(大朝)鈴木總二、伊藤武雄、菊地陽一。(報知)藤田尚芳、楠孝平、神田遊徳、川越博、出原忠夫。(時事)塚本壽一、爪生倫政、西村上、藤井義夫。(中外商業)川邊辰夫、高田秀道、中山眞。(國民)塚野清三。

社大記者俱樂部 (組織目的)社大黨の對外活動に關する取材を目的とす。(沿革)從來無産運動一般を取材とする労働記者が活動せしむ、無産運動の文源が社大黨を中心に形成され、且つ昭和十一年春の總選

舉における躍進の事實に鑑み、同黨内に取材クラブを造るを痛感し、これを労働記者會に提議せしところ、該記者會は所謂傳統云々に提はれ、新クラブの結成を妨げたれば、こゝに獨立俱樂部を設けるに至れり。なほ労働記者會は國內の人民戦線の懸聲に刺激され、労働協談會の觸手の働らく餘地を與へ、新クラブの結成とも完全に完全なる人民戦線派の機關クラブとなれるものゝ如し、しかして社大黨を無視して労働記者會の存在理由なしと信ず。(事務所)日本橋、山下マーカード社大黨內。(會員)江木武彦、近藤安雄、梶原景觀、清河政雄、田原恒雄、秋定鶴造、井上巖三郎、宮本基次、蒲池篤誠、池田頼二。

内務記者會 内務行政に關し迅速、正確に報道せん目的を以て中央通信社地方一般紙及特別紙に依り組織さる。(沿革)内務省記者俱樂部最古の歴史を有し、省内他俱樂部は本會より分る。(事務所)麴町區外櫻田町一内務省內(電話銀座自五

六一一、至五六四〇、内線二七五)(幹事)三名(交替)。(日本通信)水野源一郎。(日本工業新聞)細井武二。(日刊工業)野口三郎、佐々木周雄。(北海タイムス)的場利貞。(東洋通信)吉田彌四郎。(獨立通信)元木藤。(中外通信)瀬戸崎七之丞。(中央通信)井上明夫。(朝野通信)小松正巳。(小樽新聞)武田慶重郎。(河北新報)小林藤吉。(大日本通信)浮田秀正。(大成通信)北條爲之助。(内外通信)鯉江禮三。(名古屋新聞)前田寅次郎。(日本合同通信)松島洋一郎。(帝國新報)西谷實。(帝國通信)小林三男。(時事通信)浦澤一男。(自由通信)石崎健司。(商業通信)多田太吉。(日本新聞通信)國顯雄。(一〇一・一〇)

北辰俱樂部 新聞界へターゲットを共にした古い連中の社交機關。大正八年に内務省の社會部記者團として生れたのが始めで最初は城北會と稱し震災後現名となる。(事務所)麴町區外櫻田町一内務省內(電話銀座五六三四)。(幹事)任期一年、現

在幹事、西衛。(會員)(中央新聞)船田順弘。(晝夜通信)河村儀彌。(讀賣)鈴木恒志。(毎夕)缺員。(同盟)宮本英夫。(やまと)西衛。(愛國通信)篠原榮一。(朝日)帷子勝雅。(東京夕刊)勝川松次郎。(都)小澤新一。(千代田通信)徳永笹一。(中外商業)志田義信。(一〇一・一〇)

大手記者會 會員相互の親睦を圖り内務行政一般の研究並に記事取材のため共同の利益を増進するを目的とし政治、經濟、社會其他各般の事項を綜合して報道する日刊新聞通信社にして東京に本社を有するものは本會則の規定に従ひ本會に籍を有する事を得。(沿革)大正十五年十二月六日讀賣、都、帝國通信社を以て創立、昭和二年六月三日帝國通信社會、同年六月九日、電通、新聞聯合入會、今日に及べり。(事務所)所在地内務省(電話銀座五六二三)。(會員)(讀賣)池田邦夫、池田正之輔、古田徳次郎。(同盟)沼佐隆次、高木慶司、高倉義雄、小柳胖、戸來秀隆、伊東浩三、堀良藏。

(都)村野龍進。(一〇一・一〇)

内華俱樂部 取材の合理化、内政の研究、相互の融和向上。(沿革)初め社會局内に社會部記者の俱樂部として組織され次で本省に分室を設けた。社會局時代を十八日會と稱し、十八日會は内華俱樂部並に労働記者會となり、ついで労働記者會は別個獨立し今日に至る。目下政治、社會兩者あり。(事務所)内務省。(分室社會局四階)。(幹事)木元幹三。(會員)羽方長左衛門、田中繁、横山精、鷹野喜美雄、木元幹三、武藤直義、今村勝三。信定豊、石和田鶴、池田頑次、柴田勇太郎。(一〇一・一〇)

一橋會 文部省擔任記者團。(事務所)文部省內。(會員)東朝入澤文明、飯島保、羽田武嗣郎。徳山繁太。宮崎小市、柳川玄徹。(讀賣)尾形宗治郎、平林愛策。(報知)伊豆忍、藤田尙芳、山本忠次。(中外)鈴形三郎。(東日)長瀧武、小林義郎。八田裕夫、中西彦三郎。(大毎)井上巖三郎、武良碩。(一〇一・一〇)

竹橋俱樂部 東京に本社又は支社を置く日刊新聞及通信社を以て組織し俱樂部員各位の親睦を圖るを目的とす。(事務所)文部省內。(會員)(同盟)佐藤幸一郎、宮本英夫、大澤滋。久保田清松、長島又勇。(時事)中村登。(都)山口士志。(自由)石崎健司。(内外)小島靜三郎。(北タイ)石橋百一。(名古屋新聞)山室次郎。(一〇一・一一)

文部記者會 文部省擔當東京市內日刊新聞の社會部記者を以て組織す。(沿革)大正十年創立現在に至る。(事務所)文部省內。(會員)(中央新聞)米山義兄。(中外商業)高松茂。(都)竹田道太郎。(東京毎夕)田澤良夫。(東京日日)栗原千代太郎。(東京朝日)山田正男。(やまと)小林啓善。(讀賣)木村正。(報知)秀島彬。(時事)森崎實。(一〇一・一一)

財政研究會 大藏省擔當の日刊新聞通信社を以て組織す。本會は會員相互の親睦と取材の便宜を計るを目的とす。(事務所)大藏省內。(會員)(同盟)

財政俱樂部

波多尙、遊澤輝二郎、大森吉五郎。(報知)黒田力造、赤松直昌、今村武雄、岡村信吉。(東日)田部井俊夫、鹿嶋清一、神田五雄。對島好武、高橋司三治、藤井泰一、塚田一甫、坊秀夫、日高利一。(東朝)壁谷祐之、長谷部忠、渡部、有竹修二。(中外商業)後藤基春、岸純三。(讀賣)板津直光、佐間義夫、戸田新一郎、菱山辰一。(名古屋)中村廣治。(都)奥澤順一郎、清水元壽。時事)清水伸、飼手譽四、福良俊之。(やまと)浦野保。(一一・一一・一〇)

金融同志會

信)青柳義孝。(東京通信)西川康。(東京夕刊)鈴木正雄。(東京時事通信)浦田武男。(獨立通信)中野佐助。(東京興信所)大辻全考。(中央)缺。(朝野通信)小松正巳。(大阪朝日)深澤甲子郎。(小樽)多田太吉。(臺灣日)中柳助次。(大勢)松井政治。(内外通信)佐藤陸三。(帝都日)中原正直。(自由通信)河村俊藏。(公益通信)森三郎。(一一・一二・二)

農政記者會

取材及び擔當記者の親睦、(沿草)昭和五年十月設立。(事務所)

瑞穂俱樂部

瑞穂俱樂部 農林省擔任記者團。(事務所)農林省内。(幹事)二名半年交代。(會員)(新聞聯合)淺野豐。(東日)郡捷。(大每)岩崎榮。(北海タイムス)菊池吉次郎。(小樽)多田太吉。(讀賣)小山義一。(每夕)御籠納健。(夕刊)鈴木正雄。(萬朝)田中繁。

産業研究會

(大東)石和田一彦。(一一・一〇・二) 社又は支局を有する日刊新聞社及通信社の派遣記者を以て組織す。農林省關係のニュースを取材し、併せて會員相互の親睦を圖るを以て目的とす。(沿草)舊農商務省時代より存在、農林省獨立の際改組今日に至る。(事務所)農林省内。(會員)(自由新聞)石崎健司。(民衆通信)石川博。(萬朝)仁尾勝男。(大成通信)北條爲之助。(商業通信)加賀卯之吉。(日刊工業)鎮田竹三郎。(朝野通信)金子四郎。(東洋通信)吉田彌四郎。(日本新聞通信)岡田雄。(每夕通信)中村次兵衛。(名古屋新聞)瓜生田岩喜。(大日本通信)浮田秀正。(東京時事通信)浦田武男。(やまと)浦野保。(日本運動通信)小田島清。(東京通信)前田禮治。(日本工業新聞)深見一信。(河北新報)小林藤吉。(内外通信)木村靖二。(日本通信)水越福藏。(東方政經通信)比野隆保。(獨立通信)元木肇。(東京每夕)森莊三。

經濟記者俱樂部

經濟記者俱樂部 日本及東京商工會議所等擔任の日刊通信記者を以て組織す。新聞記事材料の蒐集研究、並に共同利益の擁護増進を計り、會員相互の親睦を圖る。(沿草)目下の經濟記者關係クラブ中舊きこと隨一、明治三十八年日露戰後創立され其後幾多變遷あつて今日に至る。(事務所)丸之内馬場先門角、東京商工會議所内。(會員)(報知)缺。(東朝)高垣金三郎。(東日)長山浩。(時事)谷村澤吉。(中央)四野宮伸吉。(同盟)新會員申込中。(自由通信)河村俊藏。(讀賣)菱山辰一。(都)石山基春。(中外商業)田中信太郎。(一一・九・末)

兜俱樂部

兜俱樂部 新聞記者、株式業者、取引所關係者の親睦機關たる舊兜會を大正三年に變革單なる社交團體としての記者俱樂部となる。(沿草)明治三十九年創立す。(事務所)東京株式取引所内(電話)66三四四九。(幹事)任期二箇年。(會員)(商機)高山開治郎。(中外)菊池太一、井尻固、上原敏彌、松村健三。

杉之森俱樂部

杉之森俱樂部 取引上の便宜をはかり併せて會員の親睦をはかるを目的とす。(沿草)大正六年杉之森市場開設と同時に組織さる。(事務所)東京米穀

采女會

采女會 都下新聞通信社商工業擔任記者團。取材上の便宜並びに會員相互の親睦を目的とす。(沿草)大正十四年九月の創立。(事務所)京橋區木挽町(電話)銀座四三二九。(幹事)二名宛毎月交替。(會員)(同盟)東宮、竹野進一、津吉英夫。(報知)竹澤倫史、小原俊一。(東京日)江口榮治、山地壽、平岡敏夫、高橋司三治、坊秀男、鹿嶋清一。(東日)長谷川健一、岸勇夫、高垣金三郎、増田春吉、増田壽郎、長一潔。(中外商業)田中信太郎、山下靜一。(大阪毎日)井上縫三郎、岩井良太郎。(大阪朝日)入澤文明。(時事)有賀謙吉、川田秀穂。(都)山本政雄、中島雄二。(讀賣)志賀重藏、林田辰一、菱山貞一、有馬英治。(一一・一二・十五)

商工研究會

商工研究會 日刊新聞通信社商工業擔任記者團。農商務省が兩省に分立の際設立さる。(事務所)京橋區木挽町商工省内

商工記者會

商工記者會 商工業擔任記者團。(事務所)商工省内。(會員)(大東通信)石和田一修。(東京夕刊)關達二。(日刊工業)丹羽一、兒玉勉伍、佐藤剛、後藤信孝。(資料通信)清健介。(日刊自動車新聞)大河内秀昭。(交通每日新聞)大久保正實。(一一・一二・十五)

商品取引所第二部所内(電、茅場町一四、一五)。(會員)(同盟)吉本健吉(萬朝報)菊地幸作(都)前川榮司、橋本春次、橋本晋一。(朝日)井山武雄。(中外)谷口純義、高澤喜太郎、安藤仁三郎。(東京夕刊)山内一市。(時事)谷村澤吉。(東日)平岡敏男。(讀賣)長文連。(一一・一〇・五)

業新報社吉田啓。(會員)中外商(業)吉田啓、中田武夫。(國民)青山二郎、山下重之。(大阪朝日)鈴木總二。(同盟)堀川武夫、秦巖夫、深澤幹藏、下谷高麗生。(北海タイムス)的場利貞。(福日)小池俊雄。(河北)小林藤吉。(一一・一〇・二五)

の内一ノ一鐵道省内。(幹事)高見義雄(報知)秋田貞男。(時事)(會員)(同盟)藤井信次郎。(東朝)池田源治、渡邊伸一郎。(東日)一色直文、那捷。(都)末松太郎。(一一・一〇・末)

部秀男。(朝野通信)金子四郎。(旅行とサーピス)安東富士夫。(毎夕通信)丹野虎吉。(婦人毎日)金澤柳壽。(交通と事業)松田幸也。(帝國新報)久保祐三郎。(商業通信)多田太吉。(自由通信)古原美雅。(一一・一二・二四)

商店記者俱樂部

商店記者俱樂部 商店記者を擔任する新聞、雜誌記者を以て組織し、相互の親睦と聯絡を目的とす。(沿革)昭和七年六月第一回集會、以後毎月一回つ。(事務所)日本橋區江戶橋實際業聯合ビル六階、(幹事)任期半年、二名。(會員)(報知)植木與市。(東日)對馬好武。(東朝)井山武雄。(時事)有賀謙吉。(讀賣)佐々木芳雄、角田隆太郎。(中外)渡邊玄、福富恒樹、半藤眞武、難波秀雄。(國民)牧野四郎。(一一・一〇・末)

鐵道記者會

鐵道記者會 在東京市内本社在勤日刊新聞通信社記者社會部員で結成交通運輸に關する研究を目的。(沿革)鐵道省内に於ける社會部記者團としては最古のもの結成以來廿餘年を経る(事務所)東京市丸ノ内鐵道省内(電丸ノ内三八六六)。(會員)(日本運動通信)柴田直二。(東京毎日)吉田亮之助。(東京毎日)金子憲太郎。(中外商業)内山小夜吉。(やまと)宗重彦。(國際探訪通信)松井政治。(萬朝報)木崎櫻。(一一・一二・二四)

鐵道研究會

鐵道研究會 鐵道行政批判並に報道を目的とす。(事務所)鐵道省内(電丸ノ内四九〇〇)。(幹事)森三郎。(會員)(公益通信)森三郎。(東日)日高利一。(東海)春口善吾。(東京時事通信)後藤春太郎。(中央)四野宮伸吉。(大同通信)川村源市。(運輸通信)徳安實藏。(運輸日報)志賀岩夫。(鐵道公論)平田健。(新聞同盟)清水啓次郎。(一一・一〇・末)

鐵道一新會

鐵道一新會 政治經濟部記者團。(沿革)昭和十年交通部會より分裂結成さる。(事務所)丸ノ内一ノ一鐵道省内(電丸ノ内一八八五)。(會員)(東朝)山崎武彦、宮崎世龍、徳山繁太、伊藤武雄。(東日)佐藤三郎、橋野克郎、武良禎、根上柏實。(報知)伊豆忍、川崎三藏。(讀賣)新田唯一、阿美謙平、阿部克己。(時事)川田秀穂、齋藤重。(東亞通信)森山徳治。(都)山口喬。(一一・一〇・二五)

交通記者會

交通記者會 本會は鐵道省擔當政治、經濟記者を以て組織し相互の親睦を圖るを以て目的とす。(事務所)麹町區丸ノ内一丁目鐵道省内。(幹事)中外商

鐵道省記者俱樂部

鐵道省記者俱樂部 鐵道に關する社會部的記事一切の取材。(沿革)昭和七年八月十五日、鐵道記者會より脱會、鐵道省記者俱樂部を組織、今日に至る。(事務所)東京市麹町區丸

交通研究會

交通研究會 都下新聞通信政治經濟記者を以て組織し會員相互の親睦と交通行政に關する意見の交換研究の機關とす(沿革)大正十五年九月創立、昭和十年鐵道記者同志會を改稱。(事務所)麹町區丸ノ内鐵道省内(電話丸ノ内四九〇〇)。(幹事)二名二箇月交替。(會員)(獨立通信)中野佐助。(東京毎日)占

國鐵俱樂部

國鐵俱樂部 都下新聞通信社の鐵道省擔當記者團。(沿革)昭和十年十月結成さる。(事務所)丸ノ内一ノ一鐵道省内。(會員)(二六新報)石川良一。(日本聯合通信)加古井智憲。(日本新聞通信)岡本俊。(日本通信)此經春也。(東方政經通信)平井

勝利。(中央新聞)玉川憲。(大勢)西村虎一。(萬朝)鯉淵弘。(帝國通信)河口豪。(帝國新報)東海林治作。(共同通信)渡邊尙(民衆通信)滿吉通秋。(一一・一〇・末)

鐵道記者俱樂部

鐵道記者俱樂部 鐵道に關する研究並に諸般の報道を目的とし都下日刊新聞通信社の社會部記者を以て組織す。(沿革)昭和七年八月鐵道記者會より分離獨自の俱樂部となし今日に至る。(事務所)丸ノ内鐵道省第一分室。(幹事)勝川松次郎。(會員)(晝夜通信)安藤杜志雄。(東京時事通信)山中克己。(國民新聞)大谷秀正。(東亞通信)大瀬戸健雄。(民友通信)田中幸夫。(一一・一〇・末)

司法記者會

司法記者會 都下日刊新聞通信社の裁判所擔任記者團。取材と會員相互の親睦とを目的とす明治三十六年の創立(事務所)大森院構内。(幹事)月番。(會員)(二六)石川良一。(報知)大場格之介、神原孝夫、田口利介。(東日)谷島清、大川秀吉、川野啓介、安島譽。(東京毎日)

瀬戸口寅雄。(東京毎日)相川勝利、高野忠藏。(東朝)進藤次郎。金子喜三、菅原俊二。(東京夕刊)伊藤淺次。(同盟通信)福井賢、依岡健一郎、松井善四郎、小座間茂。(中央)瀨古仁一。(中外商業)田中順之助、益子昭良。(讀賣)杉元重明、竹内四郎、宗井幹、佐々木孜美。(國民)遠山寛、藥師寺庄之助。(やまと)沖邑品吉。(都)青山與平、山口定雄。(時事)中島龜次郎、成澤貞行。(晝夜通信)河村儀彌。(帝都日日)長部慶一郎。(法律新聞)石井敬三郎。(法律新報)黒澤松次郎。(法律評論)高窪喜八郎。(日本興信)渡邊重二郎。(東京興信)牧村良次。(帝國興信)關家義清。(商業興信)島谷保治。(十一・十二・二四)

法政研究會

法政研究會 都下日刊新聞記者を以て組織し會員の親交と取材上の便宜を目的とす。(事務所)司法省內。(會員)(東朝)羽田武嗣郎、西島芳二。(同盟)小柳胖。(讀賣)森田親一。(東日)長瀧武、八田裕夫。(都)青山與平。(時事)松元堅太郎。(京城

日報)三浦悅郎。(中外)飯澤章治。(一一・一二・二四)

警視廳七社會

警視廳七社會 新聞取材及び會員相互の親睦を圖るを以て目的とす。(沿革)創立昭和七年三月、左記七社により組織さる。(事務所)警視廳內。(幹事)毎月二社幹事となり、幹事は輪番とす。(會員)(國民新聞)時事新聞、同盟通信、中外商業新聞、東京朝日新聞、東京日日新聞、報知新聞。(一一・一〇・末)

日比谷記者會

日比谷記者會 取材を目的とするもの。(沿革)舊丸ノ内俱樂部を大正八年日比谷記者會と改稱今日に至る。(事務所)麹町區外櫻田町一警視廳內。(電話)銀座九五三、九六九番、廳内二七八、二七九。(役員)月番幹事制。(會員)(東京毎日)夏目正史。(中央)中藤英哉、宮崎卓一。(やまと)豊澄一郎、唐木田正。(萬朝)菅谷雄三郎。(共同通信)中村靈首。(帝國通信)小林三男。(二六)竹谷勝行、室田浦太郎。(一一・一二・二四)

警視廳記者會

警視廳記者俱樂部 兩社員で組織、會員の親睦と取材便宜の目的。(沿革)昭和七年二月日比谷記者會の分裂に伴ひ脱退組織。(事務所)警視廳內(電話廳内三二四)。(常任幹事)高橋巍、外に(月番幹事)二名隔月交代。(會員)(讀賣)津田正房、村田福次郎、橋岡通雄、景山與志雄、須藤均治、釜原武、芹原誠三、竹内四郎。(都)柳谷靜一、庄司麒三郎、岡田冠、田中賢一、八尋正也、八木泰司。(十一・十二・二四)

警視廳記者俱樂部

警視廳記者俱樂部 東京毎日新聞、東京夕刊新報、晝夜通信の三社によつて組織され取材をもつて目的とす。(沿革)昭和七年日比谷記者會より分離し現在に至る。(事務所)警視廳內(電廳内二一八)。(幹事)輪番。(會員)(毎夕)堤松太郎、横山俊太郎。(晝夜)植村武、河村儀彌、笠井眞男、長尾操。(夕刊)西澤武夫、勝川松次郎。(一一・一〇・末)

遞信記者俱樂部

遞信記者俱樂部 新聞通信遞信省擔任記者團。(事務所)麹町區大手町遞信省內。(幹

事三名三箇月交替。(會員)豊國通信)高荷方久。(交通經濟)長谷川龍吾。(獨立通信)元木肇。(大阪時事)水谷信雄。(自由通信)古原美雅。(朝野通信)小松正巳。(日刊工業)德永繁。(東亞通信)森山徳治。(日本工業)兒玉仁秀。(名古屋)中村廣治。(福日)中野節朗。(一一・九・末)

遞信記者會 遞信省關係事項に於ける社會部的事項の取材を目的とす。(沿革)舊名「三角會」、昭和五年四月十五日「遞信記者會」と改名。(事務所)麹町區大手町遞信省内(電九ノ内一八三六。(幹事)木村道夫、永由君人。(會員)北海タイムス)石橋百一。(報知)高見義雄。(東日)郡捷。(東京毎夕)安藤富士夫。(東京夕刊)鈴木正雄。中央新聞)玉川惠。(中外商業)内山小夜吉。(小樽)多田大吉。(讀賣)稻葉熊野。(都)櫻村實。(同盟)永田君人。(時事)木村道夫。(一一・十・廿三)

事情の研究及會員相互の取材上の利便、身分保證を計るを目的とす。(沿革)昭和四年拓務省成立と同時に置く。(事務所)拓務省内。(幹事)松浦年三郎、芥川典。(會員)日本通信)此經春也。(報知)松山幸逸、神田道徳。(東邦通信)北崎房太郎。(東亞通信)森山徳治。(東日)松浦年三郎、橋野克郎。(東朝)渡部迪久住三郎。(東京毎夕)相川善太郎。(東京時事通信)浦澤一男。(同盟)新井正義、芥川典、川口猶作。(中外商業)飯澤章治。(大阪毎日)佐藤三郎、征矢野平三。(讀賣)花見達三、林泉。(臺灣新報)吳三連。(帝國通信)入江群市。(都)山口志士。(時事)阿部欽一。(一一・十・廿一)

拓務研究會 拓務省に於ける新聞記事の報導並に拓務の研究をなす。(事務所)麹町區西日比谷拓務省内。(會員)北海タイムス)藤田輝孝。(東海通信)安達常助。(臺灣日日)中柳勝次。(臺灣新聞)徳富通。(臺灣新報)松野勝義。(滿日)増田清一。(京城日報)宮田晋。(小樽新

日)野中隆盛、渡瀬亮輔、和田敏明、佐藤三郎、松浦年三郎、石橋恒喜、江口榮治、坊秀雄、中保與作。(大毎)井上隆三郎。(東朝)河野健治、久住悌三、鈴木總治、石尾市太郎。(中外)角出正則、大平進一、岸純三。(讀賣)窪田忠次郎、戸田新一郎、尾形宗治郎。(東毎)山本耕三。(滿日)八田泰輔、増田清一。(京城日報)宮田晋、佐藤由。(やまと)伏見武夫。(國民)中村仲康、牧野四郎。(帝國新報)鈴木壽雅。(帝日)池田禎治。(東京夕刊)柴田勇太郎。(都)奥澤順一郎。(時事)忠田義信。(報知)木原通雄。石毛乙次郎、正立英直。(日本工業)長島一三。(日刊工業)南義次、丹羽一。(滿鮮)飯田憲一。(同盟)藤原繁太郎、及川六三四、淺野豊、大森吉三郎、住谷金吉。(弘通)袖木隆治、青山融。(日本新聞通信)岡顯雄。(東海)百武功。(東通)西川康。(時事)浦田武男。(獨立)中野佐助。(内外)鯨江禮三。(毎通)中村次兵衛。(國通)鈴木啓示。(合同)後藤長久。(自由)河村俊藏。(帝

朝鮮記者俱樂部

開)武田慶重郎。(一一・十・廿二)關係の日刊新聞通信社を以つて組織、報道並に親睦を圖るを以て目的とす。(沿革)東京鷄林記者クラブが朝鮮クラブと變り、今日事務所の新築落成と共に新に十年十月結成したるもの。(事務所)芝區田村町朝鮮總督府事務所内。(會員)同盟)木村進、長島又男。(報知)馬立辰雄。(平壤毎日)岩滿太平。(東朝)宮崎小市。(東日)井上隆三郎。(東亞日報)申浩均。(朝鮮新聞)石丸務、神代祇彦。(朝鮮日日)小林秀雄。(朝鮮中央)趙漢用。(朝鮮日報)金東進。(讀賣)林泉。(京城日報)佐藤巖、宮田晋。(釜山日報)堀克己。(新聞聯合)長島又男。(月旦社)大北筆一。(外事通信)馬場進美。(拓務評論)岸清之。(一一・十・末)

對滿記者會

各社對滿事務局出入記者を以つて組織す。(沿革)昭和十年創立。(事務所)麹町區大手町對滿事務局内。(幹事)東朝)渡邊迪。(國通)澁谷春夫。(都)小山信夫。(會員)東

帝都記者會

市役所内他俱樂部への加入不可能であつた爲取材上の便宜を得るべく通信社のみにて昭和三年四月創立す(事務所)東京市役所内(電話九ノ内五一一一五二九)。(會員)(日刊工業)小澤俊雄。(日刊工業經濟)中島末吉。(東京時事通信)藤原強。(千代田通信)水野清之。(中央通信)井上明夫。大東通信)石和田鶴。(民衆通信)加古井知憲。(東京萬朝)茅野朗々。(東洋通信)鈴木忠平。(産業經濟通信)所剛夫。(商業通信)多田太吉。(日刊寫眞通信)福澤七五郎。(日刊時事寫眞新聞)近藤調英。(一一・十一・十四)

東京労働記者會

社會運動擔當の日刊新聞通信記者を以て組織、會員相互の親睦と取材の便宜を計るを目的とす。(事務所)芝公園協同會館(電話芝一三五七)。(幹事)任期半年、二名。(會員)電通)小暮光三。(報知)黒田力造、藤田尙芳、森春造。(東朝)大渡順二、藤井丙午、門田勳。(東日)濱田尙友、長坂慶一、平正一。(中外商業)大塚

利之。(讀賣)鈴木恒志、清水宗兵衛。(國民)藤卷梗之介。(都)遠藤崎三。(時事)遠藤磨。(同盟)小栗周三郎、黒澤俊雄。

東京ラヂオ記者會

新聞及通信社のラヂオ記事擔當記者を以て組織し、新聞記事を取材すると共にラヂオ事業の向上發展を期す。(沿革)大正十四年七月A五放送開始と共に組織し現在に至る。(事務所)芝區愛宕山JOA五内。(幹事)久保田政通、鈴木英助、藤井信次郎。(會員)報知)川村實、黒澤良男。(東日)森川宗興、久保田政通、井澤眞太郎、中山善三郎。(東朝)菊地侃、戸叫武、遠山孝、後隴院良正。(中外商業)足立忠。讀賣)鈴木榮助、加田愛咲、徳永康信。(國民)中澤慶帖。(都)上山敬藏、前田雀郎。(同盟)藤井信次郎。(時事)奥野保夫、木村道夫。(一一・十・末)

日本漫畫會

漫畫家相互の親睦を目的とす。東京漫畫會解散後大正六年創立さる。(事務所)東京中野區本町通四丁目十

通(河口豪)。(日露)大澤清三。(千代田)梶原景親。(東邦)北崎房太郎。(日蘇)平竹傳三。(一一・十・末)

有樂俱樂部

東京府市政記者團。(組織)都下發行日刊新聞を以て組織す。(目的)イ、府市政資料を得るに便すること、ロ、部員の親睦を圖る事、ハ、思想善導に盡す事。(沿革)故阿部浩府知事時代に設立され、武藏野俱樂部と稱す、後、有樂俱樂部と改名、更に都政記者會と改め、再び有樂俱樂部となり現在に及ぶ。(事務所)東京市役所内(電九ノ内五一、一八一)。(幹事)三社宛二箇月交代。(會員)報知)太田實。(日日)西山隆夫。(毎夕)占部秀男。(中央)米山義兄。(中外)田邊秀。(讀賣)佐渡高一。(都)長正路。(時事)渡邊忠義。(毎日)吉田亮之助。(やまと)缺。(一一・十二・十四)

同氣俱樂部

府市關係の政治部、地方部員を以て組織す。(沿革)大正十五年二月創立せるもの。(事務所)東京市役所内。

自治研究會

東京市内に於て發行する日刊新聞通信社の政治部記者を以て組織し、東京府市政の研究、相互の親睦懇親を圖るを以て目的とす。(沿革)東京府市政記者團體として創立の沿革最も古く、大正三年、府市政研究會、府市政記者俱樂部の二團體合併して成立したる自治橋俱樂部の後身にして、大正十一年後藤市長時代自治研究會と改名して今日に至る。(事務所)東京市役所東京府廳。(會員)東京毎夕)安吉英夫。(東京大勢)宮本洵。(東京夕刊)高橋宗次。(東毎)橋本富士夫。(同盟)市川博慈、石川泰三。(讀賣)岡田彦七郎。(萬朝)田中繁。(やまと)茂木耕三。(國民)塚野清三。(帝通)入江群一。(時事)杉山迪教。(一一・八・末)

拓務省に於ける新聞記事の報導並に拓務の研究をなす。(事務所)麹町區西日比谷拓務省内。(會員)北海タイムス)藤田輝孝。(東海通信)安達常助。(臺灣日日)中柳勝次。(臺灣新聞)徳富通。(臺灣新報)松野勝義。(滿日)増田清一。(京城日報)宮田晋。(小樽新

七番地牛島一刀方。(役員)牛島一刀、宮尾しげを、中村圭助。(會員)岡本一平、池邊鈞、池田永一治、細木原青起、前川千帆、清水對岳坊、北澤樂天、辛内誠一、大森弓磨、服部亮英、田中比左良、代田收一、安本亮一、宮尾しげを、牛島一刀、和田邦坊、好本牙城、小野佐世男、志村利男、小峯三四郎、中村圭助、近藤日出造、山本李兵衛、名越國三郎、水島爾保布、矢崎茂内、杉浦幸雄、京谷金介、加藤みの助。(十一・十・末)

美術記者俱樂部

明治の末から大正のはじめにかけて新聞美術記者のみの親睦の會ありしも大正八年に解散、現在には美術記者俱樂部はなし但し毎年秋季官設展開催の際臨時に新聞美術記者團を結成す。(幹事)秀嶋彬、高原四郎、田澤良夫。(會員)(朝日)遠山孝、竹田道太郎。(東日)高原四郎。(讀賣)平林襄二。(報知)秀嶋彬。(國民)小川清、辰巳吉次。(都)粕谷照、摩壽意善郎。(毎夕)田澤良夫。(毎日)高澤初風。(名古屋)大島隆

東京運動記者俱樂部

東京市内の新聞社通信社の運動記者を以つて組織す。(沿革)大正初年の組織。(事務所)麹町區有樂町東京朝日新聞社運動部氣付。(幹事)山田午郎(朝日)。兩角政人(報知)。小島六郎(讀賣)。秋山慶幸(同盟)。進藤鎮雄(讀賣)。(會員)(東朝)小高吉三郎、植村陸朗、小田秀世、佐藤俊太郎、山田午郎、飛田忠順、河合勇、伊藤寛、加藤克亮、久保田高行。(中外商業)福田薫、高松茂、松井武夫、小山東一。(中央)岡村良爾、田代博、玉川惠。(時事新報)宮田正善、廣瀬謙三、宮島武夫、野坂三郎、白崎必、津田正彦。(同盟)宮本昌常、秋山慶幸、秋山與志三、加藤福雄、木村象電、工藤孝一、荒賀嘉樹。(ジャパンプアドバイザー)大橋正路、島内敏郎。(ジャパン・タイムス)芝均平、

東京音楽記者俱樂部

各社音楽關係擔當記者を以て組織し、相互の親睦を圖るを以て目的とする。(幹事)任期三箇月で二人。(現任は時事、都)。(會員)(國民)佐伯孝夫。時事金行動。(大勢)前田貫一。(東朝)相島敏夫。(報知)金子常雄、秀島彬。(都)森満二郎。(讀賣)吉本明光。(十一・十・末)

東京競馬記者俱樂部

各新聞社競馬擔任記者を以つて組織し、會員相互の親睦を圖り馬事知識の涵養を目的とす。大正十二年競馬法の發布と共に帝國競馬記者俱樂部なるものを組織せるも後雜誌と分離し、新聞社のみ東京競馬記者俱樂部となす。(事務所)東京市芝區新樓田町二帝國競馬協會内(幹事)楠茂市、植村陸郎。(會員)(二六)米山誠一。(報知)小島敏三郎。(毎夕)安東富士夫。(東京夕刊)西島五一。(日)高橋謙。(同盟)石川泰三。(中央)玉川惠。(晝夜)植村嘉三郎。(中外商業)茂木幹夫。(讀賣)藤田太(國民)中澤忠一。(時事)岡田光一郎。(十一・十・末)

東京飛行記者會

航空記事の報道を司り、會員相互の

親睦を圖る。(沿革)大正八年、東京飛行記者俱樂部を創立、帝國飛行協會(丸ノ内三菱二十一號館内)毎週木曜日集會、昭和六年六月、飛行館(芝區田村町一丁目)内に一室を借り、東京飛行記者會と改稱現在に至る。(事務所)東京市芝區田村町一三飛行館内(幹事)石尾市太郎、櫻村實、此尾龜男。(會員)(東朝)大朝、石尾市太郎。(中外商業)内山小夜吉。(國民)楓井金之助。(都)櫻村實。(晝夜通信)河村儀彌。(時事)木村道夫。(飛行時報)北尾龜男。(讀賣)稻葉熊野。(東日)大每郡捷。(同盟)永由君人。(報知)横村三男。(新愛知)田代滿。(名古屋)池田辰二。(十一・十・廿)

角力記者俱樂部

國技館の出来る前明治三十七年五月創立の振角會と稱する記者團體が明治四十二年二月國技館の成立と共に現在の俱樂部名となる(事務所)本所區東兩國相撲協會内。(常任幹事)大久保將吉。(幹事)石渡安躬、加藤進、玉川惠。(會員)(二六)山田旭南。(電通)

石渡安躬。(報知)加藤進。(日)相馬基、伊集院浩。(毎夕)相川善太郎。(朝日)植村陸朗。(夕刊)大久保將吉、伊藤淺次。(中外)福田薫。(中央)玉川惠。(讀賣)江馬盛、小島六郎、進藤鎮雄。(萬朝)石井文作。(國民)鈴木年男。(都)宮川謙吉。(時事)東兵衛。(同盟)高雄辰馬、坂田二郎。(大勢)細井貞吉。(やまと)小山清藏、石和田彦一。(帝通)河口豪。(毎日)永井房太郎。(名譽會友)生駒榮藏、丸田一郎、弓館考夫。(十一・十二・十四)

營業關係

日本廣告聯盟

日本に於ける廣告に關する諸團體を以て會員とし各團體相互の連絡を圖り、廣告の發達に必要な事項を攻究し、然して海外進出を目的とす。(沿革)昭和四年十一月創立、毎年各地に於て全國大會を開催す、即ち第一回大阪、第二回東京、第三回名古屋、第四回廣島、第五回京都、第六回福

日本廣告俱樂部

廣告に關係を有する事業の經營者、廣告實務の擔當者及廣告に興味を有する個人及法人。(沿革)昭和四年四月十七日創立し、昭和四年十一月に日本廣告聯盟に加

入今日に至る。(事務所)京橋區銀座西六ノ五鍋町ビル。(會員)井上忠次(京華社)。市川龍治(新愛知)。伊藤重治(立教大學)。石川文吾(商科大學)。井上成意、石橋四郎(カルピス)。飯田美稻(松坂屋)。磯野忠次(アングラ)。石井六朗(廣榮社)。橋本徳次郎(白美液)。濱田四郎(前三越)。八田庄治(丸善)。西部健而(旭川)。西美藏(北海タイムス)。堀田暖二郎(弘告社)。星野定治郎(一星社)。豊田兼助(東京日日)。遠山二郎(大日本麥酒)。富永良太郎(告天社)。千種康允(經濟市場社)。布屋徹吉(正路惠)。大葉久治(寶文館)。大塚浩一(養生堂)。大塚金吾(河北新報)。大西隆之助(臺南新報)。大宮伍三郎(名古屋新聞)。大野孫平(東京堂)。奥田啓造(鏡子醬油)小田島義(並木製作所)。小川菊松(誠文堂新光社)。和田三造(東京美術學校)。渡邊六郎(精版印刷株式會社)。龜井豐治(三省堂)。柿沼源治(友田合資)。粕谷正夫(明治屋)。川田佐門次(明治製版)。川崎新吉(新潟毎日)。

河村錦一(東横百貨)、吉武鶴次郎(東京日日)、吉谷專吉(博文館)、吉藤初三郎(北國新聞)、吉田泰丸、横前正輔(河原商店)、四條照信(博報堂)、田中常人(中國民報)、竹中京太郎(竹中製版)、田上市太郎(中央新聞)、玉置源一郎(玉置合名)、祖上祐三(臺灣新民報)、津村重舍(津村順天堂)、津村岩吉(津村敬天堂)、土屋健(わかもと)、坪井進之助(泰昌製藥)、牧茂(萬年社)、中山豐三(中山太陽堂)、長田源一(岩谷冷蔵)、中根乾(國民新聞)、中野佐吉(中野文化サル又)、中島虎男(日獨化學研究)、内藤豊治(田邊元三郎)、中橋平三郎(三弘社)、内田好之輔(報知)、野依秀市(帝都日日)、野島常次郎(野島事務所)、野口権夫(十月社)、黒崎雅雄(正路喜社)、栗尾結城(高知新聞)、熊谷敬一(熊谷印刷所)、熊谷寮一(京城日報)、久保政吉(ウテナ)、久保直吉(久保直印刷所)、倉林恒助(料理の友)、久留宮留三郎(東京新療法研究所)、楠本政太郎(尙美堂)、草野尙輝(日本織物新聞)、矢野

松吉(國分商店)、山本昌一(前時事新報)、山崎信興(丸善)、山崎善三郎(夕刊大阪)、山崎卓雄(満日)、山端祥玉(チーチーサン)、安田彦三郎(正路喜社)、柳沼澤介(東京社)、松野喜内(慶應大學)、松宮三郎(廣告研究所)、松浦清平(大分新聞)、増澤剛(葵自動車)、藤田知治(東京出版協會)、福田金次郎(北陸館)、福澤義男(正路喜社)、福澤七五郎(日刊寫眞通信)、不破瑛磨太(電通)、小林行昌(早稻田大學)、小林三太郎(新潟毎日)、小石龜次郎(小西六)、小島良三(中外商業)、小沼昇(伊勢丹)、郡山幸男(印刷雜誌)、權田昇平(篠崎インキ)、江藤甚三郎(弘報堂)、柄島俊輝(白木屋)、江崎清六(グリュ)、赤石喜平(報知新聞)、淺田源一(正路喜)、淺岡準平(キリンビール)、丸山進三(帝國生命)、相賀正行(小學館)、荒木丈太郎(銀座新聞社)、荒木(新聞時代)、荒木武雄(武行綜合資料研究所)、荒木榮吉、佐藤駒太郎(日本工業新聞)、坂口獻吉(新潟新聞)、佐藤卯兵衛(時事

佐藤新衛(中外商業新報)、坂本正雄(新聞及廣告界)、佐久間梅雄(日活營業所)、櫻田定熙(河北)、齋藤岩次郎(折込廣告)、齋藤靜(東京毎夕)、佐藤正(日本廣告看板工業)、北澤樂天、北原鐵雄(アルス)、木村宗一(高島屋)、木野郊三(新聞改造)、岸田公平(カルピス)、結城長治、宮澤源三郎(正路喜)、水野幸吉(新愛知)、宮崎彦治郎(松屋)、皆川省三(美術印刷)、南強一(報知新聞)、水谷龜太郎(講談社)、三浦修治(名古屋新聞)、三井康秀(伊勢新聞)、宮入保式(白木屋)、清水盛浩(萬勉通信)、白川慶三(養生堂)、守隨彦太郎(スベルミン)、下中彌三郎(平凡社)、廣瀬貫川(日本デザイン)、高賀貞雄(横濱貿易新報)、肥田一郎(デアイアントナカノモーター)、森義男(東京海汽船株式會社)、森清華二郎(アングラ)、瀨木博尙(博報堂)、杉浦非水(多摩帝國美術學校長)、垣本泰三郎(時事新報)、風戶治男(日本和洋酒雜誌新聞)、黒川倉好(オリエンタル)、小島仲三郎(フ

ルドツクソリス)、渡邊光司(服部時計)、横井光三(岐日)、玉塚榮次郎(玉塚)、飛鳥江亮智(中國新聞)、原田公道(豊國通信)、南條初五郎(共立社書店)、仲摩照久(明光社)、福永良晃(八昭堂)、薄雲源三郎(博報堂)、小西民治(讀賣)、遠山源太郎(弘報堂)、永井省三(臺日)、芹川宗義、福井敬二(讀賣)、西野博史(三越本店)、木村利三郎(KA社)、(十一月二十一日)
 十一月二日和田三造君を特別會員に推薦す。
 同五月部内に情報部を創設し内田好之輔君を部長とす。
新聞廣告獎勵會 (組織目的)新聞廣告の進歩發達を圖るを目的とす。(沿革)昭和五年十一月十一日設立。(事務所)京橋區銀座西七丁目一、日本電報通信社内。(役員)理事長 神谷市太郎、(理事)波多海藏、高木清茂、中山豊三、草野豊、山梨政平、菊池武一、光永星郎、光永眞三、平尾贊之輔。(會員)約百五十名。(十一月十一日末)

■十年十一月理事滿期(三ヶ年)改選さる。
廣告談話會 (目的)本會の事務所を日本電報通信社内に置く。本會は廣告主並に代理業者を以て組織し、廣告を研究し、斯界の進歩發達を圖るを以て目的とす。(事務所)電通内。(會員)(日活)佐久間梅雄。(コロムビア)伊藤豊太。(北海道製酪)瀨尾俊三。(電通)光永星郎、光永眞三、不破瑛磨太、木下源一郎、安藤彪雄。(東京電氣)小西彦磨。(友田合資)柿沼源治。(中央公論)島中雄作。(カルピス)井上成意。(大日本麥酒)林誠一郎。(高島屋)小瀬竹松、木村宗一。(田邊元三郎)内藤豊次。(津村敬天)津村岩吉。(中山太陽堂)中山豊三。(花王石鹼)秋元直。(並木製作所)小田島義。(ウテナ)久保政吉。(ヤマサ醬油)外岡松五郎。(丸見屋)三輪善太郎。(松屋)宮崎彦治郎。(松本笹筒店)松本朝之助。(丸金醬油)清水連太郎。(丸之内會館)五百木竹四郎。(松坂屋)飯田美稻。(小林商店)神谷市太郎、山崎麻吉。(講

談社)水谷龜太郎。(近藤利兵衛)草野豊榮養と育兒の會)上田良一。(安藤井筒堂)安藤金平。(三共)菊池武一、小林友藏。(麒麟麥酒)淺岡準平。(明治製菓)内田誠。(三越)西野博。(ブルドックソリス)小島仲三郎。松竹興行)三島良藏。(白木屋)宮入保式。(尙美堂)坂本一郎。(資生堂)白川慶三。(平尾商店)平尾贊平。(味の素)高木清茂。(帝國生命)喜多榮一。(十一月十一日末)。

日本廣告研究會 廣告販賣經營經濟研究。(沿革)昭和八年十一月、伊藤、松宮氏等部下大學商學部教授團並に有力會社、商店廣告部長等廿一名の發起人に依つて結成され、爾來三箇年間、會員數二百有餘名に達す。(事務所)京橋區銀座西七丁目三番地新銀ビル(電銀三九七四)(役員)(評議員)(日大)青木庄左衛門。(明大)栗屋義純。(立大)伊藤重治郎。(商大)金子弘。(森永)小山政也、鈴井正基。(早大)松宮三郎。(田邊)内藤豊三。(わかもと)土屋健。(グリュ)江

崎清六。(幹事)(ピクター)峰村幸三。(フラデル)新保民八。(早大廣研)野元伊太郎。(フォード)岡田保三郎。(ミネルバ)高橋達郎。(横濱ゴム)島崎敬夫。(レイト)小川泰儀。(日米商店)加納新三、飯島辨之助。(松原工房)松原惟章、森崎善一。(正路喜社)長岡逸郎。(報知)水田利夫。(電通)奥平稔。(會員)總數二百餘名。(十一月二十一日)

通信文藝聯盟 (會員組織)文藝通信事業の向上發達を期する爲め各種の相互的の事業を行ふ。(沿革)昭和九年五月創立。(事務所)麹町區内幸町一ノ六霞ヶ關ビル(電銀四三七七)。(役員)毎月輪番。(會員)(東京學藝通信)池田均。(大東文藝通信)大沼敦。(大系社)池内祥三。(帝國文藝通信)村川六郎。(現代文藝通信)岩本捷二。(文藝通信社)三輪裕康。(神戸文藝通信)村上牧也。(新聞文藝)川合仁。(新興文藝通信)坂口藤太郎。
 新講談社は聯盟より二月除名(十一月十一日)

東京印刷インキ材
 同五月部内に情報部を創設し内田好之輔君を部長とす。
 組織目的)新聞廣告の進歩發達を圖るを目的とす。(沿革)昭和五年十一月十一日設立。(事務所)京橋區銀座西七丁目一、日本電報通信社内。(役員)理事長 神谷市太郎、(理事)波多海藏、高木清茂、中山豊三、草野豊、山梨政平、菊池武一、光永星郎、光永眞三、平尾贊之輔。(會員)約百五十名。(十一月十一日末)

料商組合 (組織目的)東京府及神奈川縣に於ける印刷インキ並に材料業者を以て組織す。本組合は斯業の發展を期すると共に組合員相互の福利を増進し親睦を圖るを以て目的とす。(沿革)大正三年十月以降本組合を組織現在に至る。(事務所)東京市京橋區銀座西五丁目對鶴館内。(役員)(組長)龜岡豊二。(副組長)馬場喜久松、中西京次郎。(理事)小林千代吉、小林謙太郎、川村喜十郎、水谷景長、山本インキ株式會社、小澤今磨。(評議員)(議長)西原宇市。(副議長)向井徳次郎。(評議員)宮倉猛夫、杉村六右衛門、新井辰次郎、森七左衛門、野崎櫻丸、木村秀次郎、高梨長吉、小島龜三郎。(會員)約百二十名。(十一月十一日末)

東京印刷同業組合
 (組織目的)凸版、平版、凹版の製作及印刷を營業爲す者を以て組織すると共に、組合員協同一致して營業上の弊害を矯正し、其の利益を増進する目的を以て左の業務を行ふものとす。印刷技術の改良發達及販路の擴張を

講ずること。取引者の不正手段豫防に關すること。仲裁判斷をなすこと。従業員並職工徒弟を表彰すること。職工及徒弟の取締。(沿革)明治二十三年十二月二十六日東京活版印刷業組合を創立し、次で明治二十五年九月三日東京活版印刷業組合を創立し、明治四十四年一月二十七日兩組合合併し現在の東京印刷同業組合を設立す。(事務所)京橋區新富町二丁目二十二ノ二。(役員)(組長)大橋光吉。(副組長)鈴木正平、青木弘。(會員)組合員數千九百五十五名。(十一・十・一)

製本同業組合

東京市内の製本並に製本業者を以てする社団法人(強制加入権を有す)。營業上の弊害を矯正し其の利益を増進するを以て目的とす。(沿革)明治三十三年六月八日農商務大臣認可。(事務所)神田區錦町二ノ七(電神田二七三二)。(會員)千百名。

東京小間物卸商同業組合

(沿革)本組合の前身は

東京小間物卸商組合と稱し、明治二十五年四月十九日創立せられたるが、明治四十年九月二十一日重要物産同業組合法に依る現在の如き東京小間物化粧品卸商同業組合の設立を見るに至る。(事務所)東京市日本橋區馬喰町三丁目三番地。(役員)(組長)小林喜次郎。(副組長)田中吉兵衛、鈴木新吉、安藤福太郎。(會計監督兼評議員)森本善七、長瀬富郎。(名譽顧問)三輪善兵衛、平尾贊平、宮本庄七。(理事)廣田嘉一。(組合員)九百五十餘名。(十一・十二・廿)

東京活字製造組合

(事務所)京橋區築地、築地活版製造所内。

東京紙商同業組合

專業と兼業とを問はず店舗を有する内外紙の卸商、仲買商を營業とする者を以て組織す、組合員の一致協同を主とし營業上の弊害を矯正し信用の保持事業の發達を企圖するを目的とす。(沿革)明治四十年七月二日組合成立今日に至る。(事務所)神田區駿河臺三丁目六番地一號(電神田一九六一)。

東京木具同業組合

(事務所)神田區美土代町二ノ一、小野方。

新聞社・代理業

如月會 各社廣告部長の團體。昭和六年復活す。(幹事)毎月交替。(會員)新田宇一郎(東朝)。清澤巖(東日)南強一(報知)。中根乾(國民)春名(時事)。小島良三(中外)。稻葉輪一(讀賣)。山名信之助(都)。(一一・一一・廿)

浪花會

廣告代理店有志と大阪新聞の有志支局長との親睦。(沿革)大正七年頃に會を設く。(會員)順番幹事二名。(會員)瀨木博信。木下源一郎。田中幸太郎。宮澤源三郎。中井繁治。藤本安雄。井上。遠山源太郎。佐藤勇助。瀧澤麗之輔。祖上祐三。湯澤清。秋元忠。(十一・十二・十)協同會 東京に於ける有力な

東京新聞廣告協會

東京市内に本店、又は支店、出張所を有する廣告代理業者を以て組織し、會員相互の親睦を圖り、業務上の福利を増進するを以て目的とす。(沿革)大正十三年十二月二十二日創立。(事務所)京橋區銀座西五ノ四豐國通信社内(電銀座一三七七)。(幹事)交替にて二名宛幹事置く任期四ヶ月。(會員)博生堂(佐藤春造)。(萬歲社)佐藤四一郎。(日進通信)丸山武。(豐國通信)谷口武雄。(大河組)井上菅造。(確報堂)上山銳彦。(大明通信)竹内萬平。(大同通信)川村源市。(宗田組)宗田新一郎。(上田三交社)上田龜吉。(告天社)富永良大郎(明信社)井土信吉。(自由通信)

日本廣告協會

主として屋外廣告業者を會員とする團體。社団法人創立昭和五年十月。(事務所)京橋區横町三丁目五番地一六(電京橋六六一四)。(會長)堀田暖二郎。(相談役)三枝舉一郎。(理事長)龍瀨直藏。(理事)三十三名。監事十名。(會員)百九十六名にして、外に賛助會員二十七名。(十一・十・末)

商店新聞懇談會

在京有力紙廣告部長と有力廣告主の懇談機關として昭和十年十一月に設立さる。年四回隨時會合し廣告界の時局に就いて種々懇談且つ親睦を圖る。(事務所)特ニ事務所を設けず幹事廻り持ちとす。(會員)(東朝)新田宇一郎。(大毎)藤本安治。(報知)南強一(滿日)山崎卓雄。(臺日)永井省三。(時事)春名成章。(味の素)高木清茂。(クラブ)中山豊三。(ライオン)神谷市太郎。(蜂アドウ)草野豊。(三共)菊池武。(十一・十二・十)

廣告主

彌生會

廣告取引の合理化を目的とす。(沿革)昭和三年三月創立。(事務所)月番幹事の勤務先を事務所とす。(幹事)月番制毎月交代にて幹事を爲す。常任幹事及會計高木清茂(會員)(ライオン)商磨本舖小林商店(神谷市太郎)六月、十二月月番。(味の素)本舖鈴木商店(高木清茂)五月、十一月月番。(蜂アドウ)酒近藤商店(草野豊)三月、九月月番。(チマコロン)本舖(天野陸良)二月、八月月番。(三共株式会社)菊池武一(四月、十月月番)。(丸見屋商店)三輪善太郎。(クラブ)中山豊三。(森永)山崎宗晴(一月七月月番)。(十一・十一・十)

十日會

(目的)東京小間物化粧品卸商同業組合員にして化粧品製造または發賣を業とする者を以て組織し、會員各自營業上共通の利害問題を攻究し時運の大勢に順應し障害の防禦除去利益の保護増進を策するを以

淡交會

新聞雜誌廣告を合理的に且つ最も効果的に利用せんとする廣告主が相寄り毎月一乃至二回づつ會合して研究及び懇談會を開く。(沿革)松崎半三郎氏提唱酒井謙吉氏幹旋にて昭和五年四月津村岩吉、小山政也、安永雅哉、万年雨橋、内藤豊次君等を初期會員とし爾來會を重ねること百數十回。(事務所)幹事事務所内。(幹事)會員中二名づつ輪番に半歳交替。(會員)津村

なかよし會

我新聞廣告業界に於て相互に懇親を計り併せて我々を指導啓發する團體の極めて稀なるに鑑み中央並に地方新聞社員有志相圖り昨年九月左記のメモを以て『なかよし會』なる親睦團體を結成。(事務所)京橋區銀座西七、貿易會館一號室、京都日日新聞社支社内(電銀座六〇五六)。(會員)(平壤毎日)岩瀨太平。(東日)伴哲夫。(旭川)西部健而。(報知)西川正一。(函館タイムス)本間隆。(都)尾坂正三。(九州日報)渡部勝彦。(北海タイムス)土橋三郎(時事新報)堤字之資。(藝備日日)香名秋次。(中國民報)熊谷愛藏。(臺灣日日)牧野昇三。(大阪

毎日(深水三郎。(夕刊大阪)佐久間正好。(中外商業)紫垣正次。(名古屋新聞)平井節。(京都日日)末岡金太郎。(讀賣)勝呂宗弘。(會友)伊藤隆。(十一・十一)一)

東京出版協會(事務所)

東京市神田區小川町三丁目八番地。(會員)(會長)(有斐閣)江草重忠。(副會長)(博文館)大橋進一。(三松堂)松島孫吉。(協議員)(興文社)石川寅吉。(古今書院)橋本福松。(學習社)西村辰五郎。(大倉書店)大倉保五郎。(厚生閣)岡本正一。(誠文堂)小川菊松。(春陽堂)和田利彦。(三省堂)龜井豐治。(大明堂)神戶文三郎。(北星堂)中土義敬。(雄山閣)長坂金雄。(丸善)山崎信興。(中興館)矢島一三。(斗南社)藤田知治。(金星堂)福岡益雄。(川流堂)小林又七。(文盛堂)榎原友吉。(富山房)坂本守正。(目黒書店)目黒甚七。(明治書院)三樹愛二。(大日本圖書株式會社)杉山常次郎。(三教書院)鈴木種次郎。(協議員待遇)(警醒社)福永文之助。(東京堂)大野孫平。(光風

日本雜誌協會(會員共通)

館)上原才一郎。(十一・十一)末)の利益を擁護し雜誌業の發達文化の向上を圖るに在り。(沿革)大正三年五月創立。(事務所)東京市神田區一ツ橋教育會館内。(會員)(會長)(大日本雄辯會講談社)野間清治。(副會長)(株式會社主婦之友社)石川武美(評議員)博文館。北隆館。ボケツト講談社。東海堂。東京堂。中央公論社。料理の友社。改造社。大日本雄辯會講談社。大東館。研究社。婦女界社。婦人之友社。文藝春秋社。文教社。實業之日本社。主婦之友社。新潮社。誠文堂新光社。小學館。會員)は五百五十有社。(十一・十一)末)

東京書籍商組合(組)

東京市内に營業所を有する圖書出版及び販賣業者を以て組織す。(目的)組合員協同一致して營業上の弊害を矯正し斯業の發達を圖る。(沿革)明治二十年十一月六日に設立爾來引續き現在に至る。(事務所)東京市神田區駿河臺一丁目二番地。(役員)

(組長)一。(副組長)二。(評議員)五。(名譽評議員)二。(會員)三、三二〇名(十一・十)末)

地方委員會(會員)

知)堀口憲。(日日)一宮毅。(朝日)堀川光彌。(中外)櫻原吾朗。(讀賣)小杉正一郎。(國民)富田作藏。(時事)片山勝。(十一・十二)二〇〇)

市內委員會(會員)

知)柿澤萬次郎。(日日)橫山慶太郎。(每夕)小田泰藏。(朝日)永井大三。(中外)信太正之輔。(讀賣)鹿原虎之助。(都)廣野三平。(國民)藤田文明。(時事)根本德重。(十一・十二)廿)

市內協議員會(會員)

(報知)柿澤萬次郎。竹中保一。小口佐一郎。(日日)橫山慶太郎。後藤辨吉。木元規矩男。(每夕)塚越三郎。(朝日)永井大三。堀見健三。中川英三。(中外)信太正之輔。小室秀夫。(中央)平野健治。(讀賣)鹿原虎之助。八反田角一郎。小堀史郎。(やまと)井澤欣象。(國民)藤田文明。藤

本新治郎。(都)廣野三平。川口開三。(時事)根本德重。高倉理發智。(十一・十二)廿)

即賣委員會(即賣關係の任に當る各社責任者を以て組織す。)

(會員)(報知)大村辨。(日日)大崎省吾。(朝日)田寺正敬。(中外)小室秀夫。(中央)平野健治。(讀賣)八反田角一郎。(都)伊東六七八。(國民)藤田文明。(時事)清水源三郎。(十一・十二)廿)

近縣擔當員團(各社販賣部地方擔當員を以て、近縣販賣協定に資するため數個の團體を組織し、毎月持廻り例會を開き、臨時事務上の協定を爲す、その諸團體左の如し。)

多摩會(東京府下擔當社員團)玉和會(埼玉縣同上)神交會(神奈川同上)

靜親會(靜岡同上)甲友會(山梨同上)信友會(長野同上)葉盟會(千葉同上)新協會(新潟同上)常盤會(茨城同上)群和會(群馬同上)枋誼會(栃木同上)福徳會(福島同上)青葉會(宮城同上)岩青會(岩手青森同上)千秋會(秋田同上)羽陽會(山形同上)北辰會(北海道同上)(十一・十二)廿)

地方紙關係

全國新聞支局會(地方)

新聞東京支局を以て組織す。約二十年前に組織せられしもの。(事務所)京橋區銀座五ノ四上毛新聞支局内(電銀座四〇七)。(幹事)漆原一衛、原田三之丞、野斗勝文、山田不二夫、大内寛、前橋秋生、石丸務、岩瀨太平。(會員)百二十三名。(函館日日)稻垣政次郎。(函館毎日)漆原一衛。(函

館新聞)北村温平。(北海タイムス)西美藏。(北門日報)原田三之丞。(十勝新聞)赤澤吳。(小樽)加藤敏三郎。(室蘭毎日)赤松彦太郎。(旭川新聞)西部健而。(岩手日報)岩淵榮男。(八戸毎日)鈴木國三郎。(日刊山形)富永利三郎。(東奥)藤田義一。(河北)膽澤寛三。(山形新聞)當部彦四郎。(福島民報)三瓶仙輔。(福島民友)武田喜久朗。(福島新聞)赤澤政助。(青森日報)藤野保三。(秋南新聞)野崎作太郎。(秋田魁)井上勝太郎。(酒田新聞)村瀬米華。(弘前新聞)原田柳二。(はらき)藤井健兒。(上野新聞)堂島正助。(横濱貿易)廣瀬保吉。(横濱經濟)原田三之丞。(山梨民友)中田清。(山梨民報)三枝嶺三郎。(常總)宮島孝雄。(上州新報)入江貞真。(上毛新聞)坂斗勝文。(下野日日)宮本甚之助。(下野新聞)橋本滿次郎。(伊勢新聞)松崎正二郎。(新潟毎日)川崎新吉。(新潟新聞)坂口獻吉。(北陸タイムス)齋藤俊一。(北陸毎日)宮澤由三郎。(北國新聞)吉藤初三郎。(北越新報)小野喜一。

(北信毎日)青山晴一。(富山日報)窪西敬二郎。(高岡新報)篠本桑藏。(高田日報)石川敏夫。(長野新聞)山田不二夫。(名古屋毎日)宮本孝吉。(名古屋新聞)大宮伍三郎。(南信新聞)佐藤書行。(南信日日)宮澤濱治郎。(福井新聞)渡邊利正。(越佐)樋口鐵六。(愛知新聞)村瀬留次郎。(佐渡日報)山崎且次。岐阜日日)佐藤駒太郎。(靜岡新報)井上忠太郎。(信濃日報)小穴哲人。(信濃毎日)西澤圭。(信濃民報)岩立慶三郎。(新愛知)水野幸吉。(神戸又新)成井貞雄。(神戸新聞)酒井謙吉。(江州日日)中村延雄。(京都日出)太田長治。(防長)堤八十次。(中國民報)田中常人。(中國新聞)飛鳥江亮智。(岡山每夕)馬場幸次郎。(岡山新聞)稻垣四方雄。(關門日日)河野馬喜佐。(吳日日)新東政勝。(山陰日日)四日市長。(徳島毎日)前田亮。(海南)今井喜藏。(香川新報)林省三。(南豫時事)山浦利喜衛。(高知新聞)栗尾結城。(愛媛新報)大内寛。(四國民報)松本七五郎。(日州新聞)富松金三郎。

(豐州新報)西村藤夫。(鹿兒島朝日)河内時中。(鹿兒島)松浦信八。(長崎新聞)里見謙吾。(小倉新報)太田卯藤治。(大分新聞)松浦清平。(佐賀毎日)石原勝二郎。(九州日日)神原啓一。(九州日報)山下敏男。(九州新聞)山田豊。(宮崎新聞)山田壽惠吉。(門司新報)船戸岩男。(北鮮日日)佐久間新吾。(北鮮時事)柳澤篁治。(平壤毎日)岩瀨太平。(東亞日報)申浩均。(朝鮮日報)金東進。(朝鮮日日)小林秀雄。(朝鮮毎日)大内寛。(朝鮮民報)松尾慶治。(朝鮮中央)趙漢用。(朝鮮新聞)石丸務。(朝鮮商工)小林秀雄。(大邱日報)岩瀨大平。(京城日報)熊谷寛一。(釜山日報)堀克己。(奉天毎日)深田龜太郎。(奉天新聞)小谷節夫。(滿洲日日)山崎卓雄。(大新京日報)高橋信吉。(臺灣日日)永井省三。(臺灣新聞)德富迪。(臺南新報)大西隆之助。(臺灣新民報)祖上祐三。(樺太日日)山田壽惠吉。(樺太時事)古川文次郎。(大北新報)齋藤松三。(青島新報)松本七五郎。(上海毎日)佐野博章。

(日米新聞) 鈴木喜一。(羅府新報) 渡邊司郎。(十一・九・二)

所) 京野區銀座西六、北海タイムビル内(電銀座一六)。(理事長) 東武。(會員) 聯盟、北海タイムス、河北新報、新愛知、福岡日日の四社。(十一・十二・二十)

地方新聞聯盟 有力地方新聞十六社の在京支社、支局長を以て組織し、會員相互の親睦と共同の利益を計るを以て目的とす。(沿革) 昭和七年二月五日會を設立し九年一月地方新聞聯盟と改稱す。(事務所) 役員三名事務所、半々年交互廻り持ち。(會員) (河北新報) 藤澤寛三。(秋田魁) 井上勝太郎。(静岡新報) 井上忠太郎。(下野新聞) 橋本滿次郎。(信濃毎日) 西澤圭。(新潟毎日) 川崎新吉。(小樽新聞) 加藤敏三郎。(北國新聞) 吉藤紗三郎。(北海タイムス) 西美藏。(臺灣日日) 永井省三。(東奥日報) 藤田義一。(中國新聞) 飛鳥江亮智。(福島民報) 三瓶仙輔。(新愛知) 水野幸吉。(岩手日報) 市來政尚。(福岡日日) 荒卷昌吉。(十一・十・末)

所) 京野區銀座西六、北海タイムビル内(電銀座一六)。(理事長) 東武。(會員) 聯盟、北海タイムス、河北新報、新愛知、福岡日日の四社。(十一・十二・二十)

營業關係

土曜會

加盟各社の親睦を圖り、小説原稿その他の共同購入(沿革) 昭和八年三月、臺灣日日新聞、名古屋新聞、小樽新聞、滿洲日日新聞、京城日報の五社にて結成され、昭和十一年八月神戸新聞入會、六社となる。(事務所) 東京市京橋區銀座三丁目三豐玉ビル。(電話) 京橋五七〇二。(役員) 當番幹事制度。(會員) 小樽新聞、臺灣日日新聞、名古屋新聞、滿洲日日新聞、京城日報、神戸新聞。(十一・十二・四)

同十一月より時事と共に特別外電の購入を開始す。拓務新聞協會 本會は朝鮮、臺灣、滿洲及樺太に於ける新聞社在京社員又は通信員が相互に知識を啓發し且つ通信の迅速及營業の發達を圖るを目的とす。(沿革) 創立大正九年。(事務所) 芝區南佐久間町二ノ六平壤毎日新聞東京支局内(電芝八五三)(幹事) 德富、岩滿。(會員) (平壤毎日) 岩滿、岩滿。(朝鮮日報) 金東進。(朝鮮民報) 松尾慶次。(朝鮮新聞) 石丸務。(京城日報) 熊谷寛一。(釜山日報) 堀克己。(滿洲日日) 山崎卓雄。(盛京時報) 松本七五郎。(臺灣日日) 永井省三。(臺灣新民報) 祖上祐三。(臺灣新聞) 德富迪。(臺南新報) 大西隆之助。(北鮮時事) 柳澤算治。(朝鮮毎日) 大内寛。(朝鮮時報) 藤野保三。(奉天毎日) 深田龜太郎。(東樺日日) 赤澤吳。(樺太日日) 山田壽惠吉。(南洋日日) 末廣清信。(十一・十二・二十)

地方新聞記者聯盟

地方紙東京支局通信社員を以て組織し會員相互の親睦と通信上便宜を得るを目的とす。創立昭和七年九月十三日。(事務所) 拓務省内拓務研究會内。(會員) (名古屋) 山室次郎。(臺日) 中柳勝次。(臺灣) 德富迪。(臺南) 松野清一。(河北) 小林藤吉。(京日) 宮田普。(滿日) 增田清一。(北海タイムス) 的場利貞。(小樽) 多田太吉。(九日) 來島三郎。(旭川) 佐々木正。(中國新聞) 島川成辰。(福日) 松尾協。(十一・十二)

八火會

(目的) 日本電報通信社長光永星郎(號八火)氏を中心とし、地方新聞有力支局長を以て組織し、相互の親睦を以て目的とす。(沿革) 昭和七年十二月結成、爾後毎年二回乃至三回の大會を開催、今年十月の秋季大會を以て第十一回を重ね。(事務所) 京橋區銀座西七ノ一日本電

日本新聞聯盟

北海タイムス、河北新報、新愛知、福岡日日新聞、以上四社の編輯並に營業方面に關する共同機關。(沿革) 昭和五年十一月創立。(事務所) 京野區銀座西六、北海タイムビル内(電銀座一六)。(理事長) 東武。(會員) 聯盟、北海タイムス、河北新報、新愛知、福岡日日の四社。(十一・十二・二十)

報通信社内。(役員) 會員中より順次大會毎に三名或は四名を抽籤任命し、常時七名の幹事を置く。(書記長) (電通) 吉田秀雄。(會員) (横賀) 高賀貞雄。(いはらき) 藤井健兒。(下野) 橋本滿次郎。(上毛) 野斗勝文。(福民報) 古和口虎雄。(河北) 櫻田定照。(岩日) 市來政尚。(東奥) 藤田義一。(魁) 井上勝太郎。(山形新) 渡部彦四郎。(静岡) 井上忠太郎。(新愛知) 水野幸吉。(名古屋) 增田録郎。(信毎) 西澤圭。(新報) 川崎新吉。(新潟) 坂口猷吉。(北越) 小野喜一。(福井) 渡邊利正。(北國) 吉藤初三郎。(北毎) 宮澤由三郎。(伊勢) 松崎正二郎。(岐阜日) 横井光三。(京日) 小林俊司。(神戸新) 酒井謙吉。(中民) 田中常人。(山陽) 三澤猛混。(中國) 飛鳥江亮智。(關日) 河村峰太郎。(高知) 栗尾結城。(愛媛) 大内寛。(海南) 清水彌一。(德毎) 前田亮。(福日) 荒卷昌吉。(九日) 山下敏男。(九日) 神原啓一。(九州) 西東秀剛。(長日) 前橋秋生。(鹿新) 松浦信八。(鹿朝) 河内時申。(豊州) 中

不言會

西義次。(宮崎新) 山田壽惠吉。(北タイ) 西美藏。(小樽) 加藤敏三郎。(函新) 北村温平。(函日) 稻垣政次郎。(旭川) 西部健而。(臺日) 永井省三。(新民報) 祖上祐三。(臺新) 德富迪。(臺南) 大西隆之助。(京日報) 熊谷寛一。(朝鮮) 石丸務。(東亞) 申浩均。(鮮日報) 申泰翊。(釜日) 堀克己。(平毎) 岩滿、岩滿。(滿日) 山崎卓雄。(電通) 光永星郎、光永眞三、不破礎磨太、木下源一郎、平林厩男、栗原廣、石井衛太。(十一・十二・二十)

湯茶話會

地方紙と廣告主の緊密懇親を目的とし地方有力紙五十を以て組織す。(沿革) 昭和五年十二月、現會員の總意に依り成立年二回懇親を兼ねる總會を開く。(事務所) 京橋區銀座西五ノ一廣告社内。(幹事) (九

州日日) 神原啓一。(因伯時報) 古川文次郎。(山梨日日) 林省三。(函館毎日) 漆原一衛。(臺灣) 德富迪。(廣告社) 木村政雄。(會員) (秋田魁) 井上勝太郎。(靜岡新) 井上忠太郎。(河北) 櫻田定照。(海南) 清水彌一。(富山日報) 山崎且次。(岩手日報) 市來政尚。(山梨日日) 林省三。(下野) 橋本滿次郎。(信濃毎日) 西澤圭。(豊州) 中西義二。(旭川) 西部健而。(釜山) 堀克己。(臺灣) 德富迪。(臺南) 大西隆之助。(名古屋) 增田録郎。(北越) 小野喜一。(山形新聞) 渡邊彦四郎。(新潟毎日) 川崎新吉。(小樽) 加藤敏三郎。(鹿兒島朝日) 河内時申。(いはらき) 藤井健兒。(北國新聞) 吉藤初三郎。(中國民報) 田中常人。(臺灣日日) 永井省三。(北海タイムス) 西美藏。(函館毎日) 漆原一衛。(上毛) 野斗勝文。(大分) 松浦清平。(長崎日日) 前橋秋生。(東奥) 藤田義一。(因伯時報) 古川文次郎。(九日) 神原啓一。(横賀) 高賀貞雄。(中國新聞) 飛鳥江亮智。(滿日) 山崎卓雄。(福日) 荒卷昌吉。(京日)

博友會

會員相互間の親睦を圖る爲に結成。(沿革) 昭和九年十一月一日結成、會を重ねる事四回。(事務所) 博報堂内。(役員) 二總會毎に改任(六名)。(會員) 五十名。(十一・十二・一)

福貴會

地方新聞二十三社員を以て組織し、會員相互の親睦を計るを以て目的とす。(事務所) 京橋區銀座西六ノ二大同通信社内(電銀座四三〇二)。(役員) (會長) 川村源市。(常任幹事) 井上勝太郎、西澤圭。(會員) 石丸務、吉藤初太郎、西美藏、小野喜一、中西義二、藤田義一、栗尾結城、田中常人、加藤敏三郎、櫻田定照、河内時申、大西隆之助、市來政尚、古和口虎雄、西東均介、水野幸吉、井上忠太郎、荒卷昌吉、橋本滿次郎、松崎正二郎、森俊司。(十一・十二・廿)

二、大阪

編輯關係

大阪商工會議所記者俱樂部

俱樂部員相互の親睦を圖り新聞使命を全うするを以て目的とす。(事務所)大阪市北區堂島濱通二ノ一二(電話一五一四)(幹事)磯野勝衛、井上定規。(會員)井上定規、磯野勝衛、由上勝男、内田博義、高垣金三郎、高橋信三、岸本政清、東明、芥川弘、眞砂峯、岸本正一郎、中村繁男、岩淺貞雄、森本肇、野村得一、安本宜雄、向井清三、中野豊、櫻井長徳、光田顯司、濱田申一、西村久彌、武生文治。(以上二十三名)。(十一・十二)

億兆記者俱樂部

會員各自親睦。(沿革)明治三十年三月創立。(事務所)大阪府廳内警察部三階記者室。(幹事)和田六東。(會員)(報知)篠原武英。(大阪日日)西本縣治。(大阪中外)栗田迪。(大阪朝報)三枝伊之助。

大阪市政記者俱樂部

日刊新聞並電通、新聞聯合の市政擔當者を以て組織す。(沿革)昭和八年六月十日設立今日に及ぶ。(事務所)大阪市北區中之島一丁目大阪府廳内市政記者室(電本局五〇五〇、一二六〇)(役員)(現在五月三十一日總會當選幹事)宮森喜久二、南寶太郎、中石清一。(會員)(大阪朝日)森本賢太郎、大島右助、水戸庫夫。(大阪毎日)宮森喜久二、平野長一、前芝確三。(大阪時事)水内節男、中石清一。(大阪朝報)

大阪鐵道記者俱樂部

親睦並に交通研究。(沿革)大正十二年に創立、昭和三年五月大阪鐵道局開設と共に局内に記者室を置き現在に至る。(事務所)大阪市北區大深町、大阪鐵道局内。(電、北、四七〇〇)(幹事)舟橋勝吉、大北朔郎、守山義雄。(會員)杉森一、利辻廣樹、大北朔郎、栗原俊夫、酒井忠俊、砂田治雄、高木弘一、高山英次郎、土居政治、伊藤幹、野田宗二、兵頭久次郎、古市美津雄、舟橋勝吉、古村巴、宮尾普賢、光田顯司、守山義雄、岸本正一

大阪洋灰記者俱樂部

大阪新聞通信記者相互の親睦を圖るを目的とす。昭和四年十一月十五日の創立。(事務所)東區瓦町三丁目相互ビル洋灰聯合會内。(役員)持田迪磨、山川孝次郎。(會員)佐津川涉。(大朝)青江治良(夕刊大阪)吳三連(大毎)持田迪磨(大阪中外商業)山川孝次郎(大時)石田爲之助(同盟通信)芥川弘(大阪經濟)德永有二(關日)光田顯司(名古屋)牧田要藏(新愛知)本多季男(電通)岡田萬龜

人絹記者俱樂部

會員の懇親と共同利益。(沿革)昭和八年九月創立。(事務所)大阪市東區備後町日本絹業會館内(幹事)北海タイムス、名古屋新聞、大阪經濟新聞。(會員)電通、同盟、報知、讀賣、中外、新愛知、名古屋、北海タイムス、都、京都日之出、大朝、大阪經濟、織物新聞、日刊工業、日本工業、夕刊大阪、關西中央。(近況不明)

大阪鐵道記者俱樂部

福井仁三郎。(關西中央新聞)田中俊一。(關西日報)德永有二。(大阪日日新聞)宮飼慶三郎、橋野登、中村文司。(夕刊大阪)筒江保。(大阪經濟)高山英次郎。(大阪電通)南寶太郎。(大阪毎日)永井紹勝。(大阪新日報)高木弘一。(大阪中外)栗田迪。(同盟)板垣武男。(日刊工業)伊藤千尋。(日本工業)大川鐵三。(大正日日)宮尾普賢。(大阪夕刊)胎中和郎。(大阪今日)染井左門。(近況不明)

大阪鐵道記者俱樂部

大阪經濟)田川健吾。(同盟)岸芳一、吉田良好、館亘彦。(大阪新日報)長澤昌一。(大阪毎日)林孝志。(大正日日)岡本太郎。(關西日報)和田六東。(關西中央)北村謹一。(夕刊大阪)橋本薰。(昭和日日)祖山松良。(大阪中央)太田岩穂。(讀賣)矢田久彌。(大阪今日)武本英一。(國民・新愛知)舟橋勝吉。(大阪夕刊)佐々木常造。(名古屋)奧山重義。(大阪朝日)篠崎昌美。(日刊工業)瀧石豊稻。(十一・十一・十二)

大阪鐵道記者俱樂部

田六東。(會員)(大阪日日)大北朔郎。(大阪中外)栗田迪。(大阪朝報)中島直光。(大阪新日報)長澤昌一。(大阪今日)武本英一。(大正日日)宮尾普賢。(同盟)館亘彦。(大阪經濟)田川健吾。(關西日報)和田六東。(關西中央)北村謹一。(夕刊大阪)安阿宗一郎。(昭和日日)祖山松良。(大阪中央)太田岩穂。(日刊工業)井上啓一。(日本工業)大川鐵三。(大阪夕刊)佐々木常造。(十一・一〇・末)

大阪鐵道記者俱樂部

一日發會以來毎月例會或は講演會見學等を開き、昭和九年より廣告文化なる機關誌を發行し、叙上の目的を前進しつゝあり。(事務所)大阪府東區内本町橋詰町大阪府立堂島館内、(役員)會長、森平兵衛。(理事)十名。(書記長)一名。(評議員)三十八名。(會員)二百一名。(十一・九・末)

大阪綿業記者俱樂部

大阪綿業擔當記者團。會員の親睦を圖り、綿業の研究をなす。昭和五年の創立。(事務所)大阪市備後町綿業會館。(役員)同盟通信(布浦芳郎)。大阪經濟新聞(岡仲榮次郎)。(會員)(大朝)石山慶治郎。(日刊工業)永井綱雄。(大毎)穂積三雄。(都)松尾茂。(大時)猿丸元。(新愛知)高橋浩。(夕刊大阪)東野有三。(名古屋)光田顯司。(日本織物新聞)新田直藏。(報知)鮫島健男。(中外)平野隆之。(十一・十二)

營業關係

在阪全國新聞支局聯盟

大正十五年春結成。(事務所)大阪市西區靱南通二丁目ユタカビル、臺灣日日新報支局内(但し毎年一回幹事改選と共に移動す)。(會員)前掲在阪全國地方新聞支局聯盟員一覽と同じ。(十一・十・末)

大阪廣告協會

會員組織廣告關係者等の圓滿なる結合と其の協調とにより廣告事業の理想的經營と廣告文化の普及を目的とす。(沿革)大正九年二月十

大阪廣告主俱樂部

會員は大阪市及び其の附近に本支店を有する廣告主に限る。會員相互の親睦を圖り廣告の進歩並に効果増進を攻究するを以て目的とす。(沿革)大正十五年設立(大阪廣告俱樂部)と改稱。同年七月廣告研究俱樂部と改稱。同年十一月九月現在の名稱に改む。(事務所)大阪府西區京町堀通一丁目四五、大阪商工パーラー内(電土佐堀三二六六)。(役員)常務理事)松井啓、有田二郎、白根嵩。(理事)(十二名)。(特別會員)池澤原治郎。飯守勘一。岸本龍郎。(會員)(武長)伊藤正夫。(伊藤由)伊藤英夫。(瑞西)ゼル化學)伊東仙吉。(岩本商店)岩本信一郎。(アルボース製藥)

大阪廣告主俱樂部

伊能正輝。(若林合名)井上久次郎。(三越支店)井口榮藏。(巴商會)石塚宗三郎。(そご)蓮田聖三郎。(日本電話建物)小屋田堯(田邊五兵衛)島居由太郎。(松竹興行)島江鏡也。(森永製菓)石田茂。(味之素)千葉皓三。(淺田館)大久保謹吾。(大日本麥酒)大森寅之進。(養生堂)乙部孝。(大阪瓦斯)越智進。(岡藥局)岡彌三。(大阪鐵道)岡野宗三。(京阪電氣)和田昌允。(伊東胡蝶園)渡邊雄。(東亞藥園)藤本照郎。(今津)梶田和一。(大阪電氣)米田傳司。(小林商店)吉田武夫。(順和商會)谷口作治郎。(森下)谷本弘。(高島屋)高橋勝平。(山之内藥品)多田京平。(日本コロムビア)田附與一郎。(平尾贊平)田邊尚一。(松竹興行)田中慶助。(日本ポリドル)瀧久雄。阪和電氣)田島甚併。(山田安民)短田二郎。(大丸)副田壬一。(和光堂)筒井芳美。(中山太陽堂)永原政一。(關西土地)中西俊三。南海鐵道)長尾恒行。(桃谷順天館)長野隆太郎。(丸金醬油)中澤純一。(大日本製藥)中島武三郎。(美津

泉州日報社 山崎善三郎 堺市熊野町大道

關東 橫濱貿易新報社 三宅市郎 橫濱市中區本町六丁目
いはらき新聞社 中崎 憲 水戸市南町
下野新聞社 川村直成 宇都宮市池上町
上毛新聞社 篠原秀吉 前橋市曲輪町
上州新聞社 高橋いと 同 北曲輪町
桐生經濟新聞社 茂木近之助 桐生市永樂町三丁目

奧羽

東奥日報社 山田金次郎 青森市長島町
青森日報社 外崎千代吉 同 柳町
青森報知新聞社 關精一 同 安方町
弘前新聞社 工藤十三雄 弘前市一番町
八戸毎日新聞社 武藤勝美 八戸市番町
岩手日報社 岩淵榮男 盛岡市内丸
秋田魁新報社 安藤和風 秋田市大町一丁目
山形自由新聞社 服部敬吉 山形市七日町
日刊山形新聞社 西方利馬 同 香澄町八幡石
鶴岡日報社 五十嵐喜一郎 鶴岡市若葉町一丁目
莊内新聞社 佐藤政吉 同 馬場町
石巻日日新聞社 松川鐵四郎 石巻市仲町
河北新聞社 一力次郎 仙臺市東三番丁
仙臺日日新聞社 小原侃 同 東四番丁
東華新聞社 小野平八郎 同 木町末無
福島民報社 中目元治 福島市榮町
福島民友新聞社 氏家清 同 大町

中部

新潟毎日新聞社 小柳調平 新潟市東伸通一番町
新潟新聞社 山田助作 同 西堀前通七番町
新潟毎日新聞社 吉川大介 同 同
北越新聞社 吉原彦一 長岡市坂ノ上町二丁目
越佐新聞社 藤井浩然 同 荒屋敷町
高田新聞社 飯田茂勝 高田市本町三丁目
新發田新聞社 長谷川寅作 新發田新發田町
富山日報社 横山四郎右衛門 富山市總曲輪
富山タイムス社 大島宇吉 同 同
北陸タイムス社 田中清文 同 同
北陸日日新聞社 鷹取健次郎 同 同
高岡新聞社 櫻井宗一郎 高岡市末廣町
北國新聞社 林政武 金澤市南町
北陸毎日新聞社 櫻井兵五郎 同 同
金澤新聞社 土田行丸 同 同
北國夕刊新聞社 神田重義 同 弓町
福井新聞社 今村七平 福井市佐佳枝中町
信濃毎日新聞社 小坂武雄 長野市南縣町
長野新聞社 山本慎平 同 旭町
南信日日新聞社 三澤慶重 長野縣諏訪郡上諏訪町
中信日日新聞社 中澤今朝雄 同 北佐久郡岩村田町
岐阜日日新聞社 高橋嘉津美 岐阜市今小町
岐阜新聞社 清寛 同 朝日町
山梨日日新聞社 野口二郎 甲府市百石町
山梨毎日新聞社 保坂政治郎 同 紅梅町
静岡新聞社 山口忠五郎 静岡市追手町

静岡民友新聞社 大石光之助 同 七間町一丁目
新愛知新聞社 大鳥宇吉 名古屋市中區御幸本町通
名古屋新聞社 森一兵 同 中區西川端町
名古屋毎日新聞社 野村浩司 同 新榮町
愛知新聞社 山内末長 同 小林町

近畿

伊勢新聞社 松本宗重 津市丸ノ内本町
三重縣民新聞社 鈴木友二郎 同 下部田町
近江新聞社 大久保清治 大津市伊勢屋町
京都日日新聞社 山根文雄 京都市中區區烏丸通
日出新聞社 後川晴之助 同 同
神戸新聞社 和田恒彦 神戸市神戶區榮町六丁目
神戸又新日報社 加藤芳助 同 同 六丁目
神戸日日新聞社 岡田定信 同 同 二丁目
シヤパン クロニクル社 エー・モルガン 同 浪花町
中國日日新聞社 山本兼太郎 姫路市東紺屋町

中國

因伯時報社 木村清一 鳥取市西町
鳥取新報社 眞嶋信茂 同 鍛冶町
山陰日日新聞社 三好榮次郎 米子市日野町
松陽新聞社 勝部本右衛門 松江市殿町
山陰新聞社 水津直太郎 同 白湯本町
合同新聞社 杉山 同 岡山市東中山下
岡山新聞社 井口靜一 同 柿屋町
中國新聞社 山本實一 廣島市上瀧川町
藝備日日新聞社 中村厚次郎 同 大手町

吳日日新聞社 今敷宗治 吳市堺川通三丁目
關門日日新聞社 末光鐵之助 下關市東南部町
關門毎夕新聞社 浦部宗春 同 西ノ端町
防長新聞社 白銀禮治 山口市後河原
宇部時報社 脇タキ 宇部市東區常盤通一丁目

四國

德島日日新聞社 松島 肇 德島市富田浦町
德島毎日新聞社 多田爲太郎 同 寺島町
四國民報社 東山半之助 高松市西内町
香川新聞社 小田榮次 同 濱ノ丁
愛媛新聞社 安藤晉三郎 松山市一番町
伊豫新聞社 大本貞太郎 同 大手町
海南新聞社 香川熊太郎 同 南堀端町
南豫時事新聞社 井上雄馬 宇和島市丸ノ内
高知新聞社 野中楠吉 高知市本町
土陽新聞社 橋田早苗 同 同
高知日日新聞社 三宮 緣 同 西紺屋町

九州

福岡日日新聞社 阿部暢太郎 福岡市渡邊通六丁目
九州日報社 森田久 同 天神町
九州新報社 草壁才吉 八幡市北本町六丁目
くろだいや新聞社 菰田雅夫 大牟田市有明町
長崎日日新聞社 牧山耕藏 長崎市大村町
崎陽日報社 近藤調一 同 五島町
長崎民友新聞社 西岡竹次郎 同 出島町
軍港新聞社 長醫秀夫 佐世保市天満町

| | | | | | | |
|--|---|--|--|---|--|---|
| 菊池 八郎 富田 道雄 櫻井 清 松岡康四郎 黒田 近藏 小島 四郎 北川 庸一 北原 眞一 夏目芳太郎 (社員見習)神弘、松田貞一、 山崎忠雄、今成豊吉、松田 又七(準)松田義八、榎秀明 (囑託)渡嘉敷唯錦 | 平田駿三郎 山田 均 大木 重三 小野 秀 木佐貫彦二 山田 和作 宗岡 薫 宮川 三榮 丹羽 三郎 齋藤 三郎 齋藤 三郎 川畑 玄二 下山俊一郎 長塚 義英 和田 伴造 松本 貞雄 竹歳 平 角田 隆良 後藤 和馬 藤原高次郎 渡邊 秀雄 | 金山 信一 名倉 勝平 田口 正男 梶原 明美 磯村 信雄 桂川 武四 關 市造 大村 勉 花香 四郎 齋藤 三郎 齋藤 三郎 川畑 玄二 下山俊一郎 長塚 義英 和田 伴造 松本 貞雄 竹歳 平 角田 隆良 後藤 和馬 藤原高次郎 渡邊 秀雄 | 根本 憲正 大久保三郎 押木 正二 久保 光三 松本 定男 櫻井徳太郎 松本 憲司 花香 四郎 土橋篤太郎 青木 高 齋藤七之輔 門眞 金松 神山 康司 西川 正一 船谷新太郎 鈴木 義雄 鈴木 義雄 佐久間 博 中谷 忠政 | 監理部長 中村 清治 杉本 修三 一森 正吉 仲野 鷹雄 (準)最上實 (囑託)吉本友二 活版部長 劍持彌太郎 松澤考一郎 天野民三郎 沖 彌七郎 齋藤 弘一 奥 操 大倉 熊吉 平林精太郎 小林勝太郎 (準)秋元周作(下略) ステロ部長 渡邊 幸松 日向 岩吉 石居 義雄 猪瀬勸一郎 (準)大島考吉(下略) 印刷部長 綠川 義雄 保坂要之助 松本治三郎 南部 義三 渡部 兵作 鹽原 繁雄 (準)中野茂十(下略) | 診療所 監事 赤石 喜平 所長 柳川 賛治 主事 芦田 義雄 (下略) 能率増進運動協會 囑託 高橋孝太郎 特派員並專 屬通信員 (八王子)米山兼利、内村俊 雄、(立川)川島武夫、(府中) 齋藤佳和、(横濱)(部長待 遇)天野眞治、折登健三郎、 笹岡巖、榎谷重春、小林保 之、(社員見習)湯淺音平、林 田誠一、中野善吉、橋口住 考、淺倉育造、左近汪、川 崎(富樫長英、(横須賀)谷中 正次、小西利雄、(鎌倉)榎 谷重春、(小田原)廣瀬定一 (平塚)坪谷正吉、(千葉)澤 田英一、小暮智男、(市川) 菅沼政雄、(銚子)徳原啓、 (館山北條)馬場龍雄、(松 戸)白石敏夫、(浦和)川岸毅 智郎、(社員見習)宮原宇吉 (熊谷)中澤平馬、(川越)大 | 澤要之助、(水戸)有馬秀雄 尖倉恒孝、(土浦)金子政雄 (下館)茅根道昌、(宇都宮) 大村司俊、(社員見習)宮原 宇吉、(栃木)並木誠、(足利) 吉田良直、(日光)鈴木正市 郎、(前橋)橋本彌三郎、中 川清、(高崎)藤村富士太郎 (桐生)慶徳章次、(甲府)野 村太郎、功力透、(谷村)柴田 周藏、(瑞穂)川端登司己、 (静岡)杉本桂、(牧野)政二、 中川義雄、(濱松)長田茂郎 小杉鏡作、(沼津)愛川重義 (清水)渡邊敏雄、(名古屋) 中井芳三、(岡井)井茂、三宅東 滿、中山基明、松本爲男、 (豊橋)板坂外吉、(岐阜)新 田敦史、(津)鈴木重治、(福 島)黒田保伸、(師勝)夫、(會 津若松)西尾義勝、(郡山)水 野才正、(平)田村參也、(白 河)青木里次、(仙臺)荻野喜 輝、(田口)明、大沼直志、(山 形)板坂正友、(武井)承平、(米 澤)藤田龍夫、(青森)荒木利 雄、(社員見習)田淵幸雄、 (八戸)三瓶勇、(弘前)漆田 |
|--|---|--|--|---|--|---|

營業局

工務局

| | | | |
|---|---|---|--|
| 論說委員 青木 得三 藤田 尚芳 伊豆 忍 中林 貞男 笠間 重利 堀内 敬三 新宮支局 部長待遇 幸島 紅葉 天津特派員 石田 盛雄 (囑託)大槻 特別通信員 中村 藤吉 ベルリン 黒岩 貞雄 調査部長 岡野 茂雄 青木 武雄 市毛 大成 榎本 喜一 金子 隆夫 原 覺夫(準)小林 修二 武山虎、松丸新市、園田厚、 公仁道 學藝部長 榎金 種史 中代富士男 菅田 博 今村 中 片岡 貢司 生澤 正一 小川 哲男 市川 爲雄 (社員見習)佐藤寅雄、川端 勇男、渡邊義三郎、山本文雄 家庭部長 永井和歌丸 副部長 勝 承夫 小原 俊一 水野 芳郎 黒澤 良男 神長謙五郎 丸山敬太郎 丸山恒太郎 川村 實 麻生恒太郎 今井 三郎 川崎 三藏 | 青木 得三 山邊林太郎 川口 清榮 小室 誠 東明 行彦 齋藤 義作 木村 幹枝 笹本 恭彦 津田 一夫 正立 英直 小堀 十朋 秋葉惠次郎 (以下準)鈴木美雄、田中日 出男、判治一雄、柳田平四 郎、塚越義照 社會部長 東明 行彦 (部長待遇)藤平 權一 副部長 石毛乙次郎 杉本 榮一 山田 靜蔚 大場格之介 横村 三男 高見 義雄 田井 眞孫 春山 泰雄 森 春造 神原 孝夫 鈴木 英一 | 藤田 尚芳 伊豆 忍 山岸 幸人 高橋 耕司 清水 和彦 中谷壽次郎 高橋 順二 堀川 直義 廣瀬 恭 松田 利吉 猪俣 政義 (社員見習)坂田源三、望月 尊、小林孝祐、(準)山崎正 雄、(專通)宮崎秀勇、堀内 保達 通信部長 岡崎 博光 副部長 淺川 四郎 藤田 薫 同 藤田 薫 佐藤 眞 岡田 豊 新納 武夫 黒川 榮司 大坪 純一 湯川 洋藏 川越 博 山崎 晉道 宮田立志郎 淺野 勇夫 寺島隆太郎 鹽田 良三 萩原 眞一 田口 利介 萩原 眞一 井正太郎 外報部長 赤澤 義人 | 堀内 敬三 香西 俊久 淺田 祐麿 運動部長 小島 敬三郎 兩角 政人 齋田 尚門 天知 俊一 庄子 宗光 田鶴濱 弘 井上 康文 寫眞部長 鈴木 一雄 副部長 大平 清一 笹森與四郎 宇野 鷹雄 芝口 直助 宮本 基留 高崎 武雄 落合 武夫 渡邊 逸朗 柴田 斌 山崎 由竹 佐藤 久作 小林 保之 榎山 武雄 有馬 安夫 横溝 良一 大石 忠助 神谷延太郎 島山 隆久 小林 廣 飯塚 鋪禎(準)木村 利男 高橋 行雄 石井 智 二村 次郎 松本 俊雄 松村 榮 間野男太郎 青代 行雄 佐藤 章 北方 時男 會田 利彌 校正部長 黒木 勇吉 副部長 渡邊 孝二 山浦 敏彦 田森 政治 鈴木 元經 伊倉賢治郎 貝塚吉之助 佐藤爲次郎 |
|---|---|---|--|

忠七、(札幌)大澤貞治郎、(長岡)横
 戶澤榮一、(栗城)欽二、(函館)平
 田淳二、(小樽)大河内敏
 夫、(旭川)金野勝雄、(豊原)
 菊池芳男、(長野)光墨保、
 (社員見習)有田圓二、(松
 本)福島一雄、(上田)原義
 衛、(上諏訪)有賀藤一、(飯
 田)福澤準一、(新潟)渡邊三

東京日日新聞社

昭和十一年十一月廿日現在

| | | | | |
|----------------------|-------------------------|----------------|---------------|----------------|
| 編輯局長 岡實 | 北澤清 岩下秀三郎 | 山本彦三郎 新井達夫 | 河野田鶴雄 小坂新夫 | 吉岡文六 德富雪夫 |
| 取締役會長 岡實 | 芳田萬壽夫 齋藤巖洋 | 今尾登 廣瀬英太郎 | 佐藤勇生 金子義男 | 中保興作 田中香苗 |
| 事務取締役 奥村信太郎 | 藤岡端 伊集院浩 | 田村壽 野中盛隆 | 安島馨 村田忠一 | 落合廉一 岡見護郎 |
| 編輯主任 岡崎鴻吉 | (兼)高橋謙 事務課 | 長瀨亮輔 八並璉一 | 一色直文 若梅信次 | 川上福三郎 松島登 |
| 副主幹 阿部眞之助 | 佐藤碧 笹澤三善 | 若松宗一郎 橋野克郎 | 松井彰 井上練次郎 | 小倉承章 笹井八郎 |
| 編輯顧問 伊藤金次郎 | 川邊眞藏 布施勝治 | 高橋司三治 松浦年三郎 | 伊藤實 高木秀夫 | 市川三郎 田中藤次郎 |
| 特報課 重信嵩雄 | 永戶政治(兼)三俣淺治郎 (兼)大塚虎雄 | 濱田敏明 佐藤嘉四郎 | 堀勤三 中山善三郎 | 竹村三郎 荒井源次郎 |
| 編輯 豐川良之助 | 整理部長 高田元三郎 | 小林義郎 八田裕夫 | 池田菊太郎 松浦良松 | 三宮一耕 岡幹夫 |
| 運動部長(兼)弓館芳夫 小野三千磨 | 岩下 岩下適爾 | 長坂慶一 佐藤三郎 | 西山隆夫 澤田勇 | 圓城寺寅太郎 福田知邦 |
| 高須一雄 | 水野可寬 | 秋定鶴造 坊秀男 | 栗原千代太郎 光行壽 | 根上五郎 渡邊三吉 |

| | | | |
|----------------|-------------------|---------------------|----------------|
| 櫻菜太郎 横田清一郎 | 藤澤孫十郎 加藤孝次 | 志田伊勢松 支局 | 田中重雄 野口勇雄 |
| 別所重雄 吉原隆一 | 遠藤茂三郎 藤森良信 | 靜岡 佐藤義雄 | 岡本正徳(兼)相馬基 |
| 經濟部長 西野入愛一 | 岩崎榮 永戶俊雄 | 札幌 西牧季藏 | 桑原忠夫 東儀勇二郎 |
| 三俣淺治郎 藤岡啓 | 黑崎貞治郎 森川宗興 | 長野 青柳隆治 | 黒澤金治 福田勝允 |
| 高島演 佐藤淺五郎 | 甲田正夫 細沼秀吉 | 浦和 小林之介 | 佐藤信郎 高橋謙 |
| 江口榮治 田川重盛 | 加藤健吉 三宅英一 | 千葉 今吉顯一 | 佐藤信郎 高橋謙 |
| 佐倉潤香 對馬好武 | 井澤眞太郎 高原四郎 | 盛岡 内藤松次郎 | 販賣部長(兼)七海又三郎 |
| 黑田龍馬 山地壽 | 狩野近雄 駐在員 | 福島 岩井肇 | 一宮毅 小林龜千代 |
| 山路通雄 長山浩 | エノミスト 藤井泰一 | 新潟 石橋徹志 | 關芳磨 坂庭吉雄 |
| 平岡敏男 牧野純夫 | 木村孫八郎 藤井泰一 | 宇都宮 飛鳥定城 | 西村信吉 金輪喜代太 |
| 和田太郎 下長根澄 | 岩井良太郎 山本正雄 | 山形 菊池三男 | 北原初次 今井繁 |
| 校正部長 松原至大 | 岩井良太郎 山本正雄 | 秋田 五十嵐友司 | 鈴木勝雄 木元規矩男 |
| 的場郁翁 龜甲峰光 | 武良禎 高木徳 | 青森 永島峰男 | 高崎能太郎 吉田素 |
| 藤澤孫十郎 加藤孝次 | 井上縫三郎 征矢野平三 | 前橋 石橋恒喜 | 藤田昇 渡邊茂 |
| 横山龍三郎 水澤清三郎 | 英文毎日 指田文三郎 | 水戸 西川甲七 | 眞崎俊夫 金栗二男 |
| 增井照義 遠藤茂三郎 | 正富笑入 指田文三郎 | 仙臺 瀨口正央 | 川上貞司 渡邊善房 |
| 櫻庭猛彦 堀田操 | (兼)豊川良之助 指田文三郎 | 通信部主任 太田原良里 | 清水禮一 鳴託鈴木信一 |
| 齋藤武 藤森良信 | 學藝 學 | 濱松 山縣眞式 | 駐在員 鈴木信一 |
| 伊藤博 本田龜雄 | 辻平一 寫眞 | 八王子 永澤博 | 札幌 大場孝雄 |
| 諸岡新平 石井威文 | 小林貞世 編輯局囑託 | 横須賀 福島武四郎 | 札幌囑託 田中金吾 |
| 水村五郎平 渡邊藤作 | 編輯局囑託 | 營業局 昭和十一年十二月十日現在 | 計算課 鹽尻藤太郎 |
| 大野夏男 前田禎三 | 西村公明 (相談役) | 昭和一十一年十二月十日現在 | 日渡長壽 齋木理八 |
| 石井貞二 橋本信 | 西村公明 (相談役) | 局長 岸井壽郎 | 郵送係 |
| 松原至大 魚甲峰光 | 西村公明 (相談役) | 販賣監理 七海又三郎 | 武田春雄 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|---|--|
| <p>岩田 英 新村喜與四 清水 尚 計算課 本山勇太郎 英文每日事務課</p> | | <p>田中 新吉 鶴岡 信治 鳴託 三瀬幸一 検査員 大澤 義彦 澄山 幹夫</p> | | <p>奥田 正雄 富澤 秀雄 淺田政一郎 飯田 欽一 齋藤 菊一 庶務係 吉野 正勝 星野 信之 山本 弘 航空部 田中不二雄 原田 隆 館内 清 寫真部 田中 政喬 長石丸 庄司 高梨 五郎 内堀 正一 高橋 文哉 今井 祐二 鹿島三七夫 御簾納 健 每夕競馬社 木村 政司 御簾納 健 吉野 正勝 東久世信保 石井 利雄 三宅 惠美 漫 畫部 井崎かずを 百合 三郎 松下井知夫 佐次たかし 志村つね平 山川 和男 西塔 子郎 金子 久子</p> | | <p>岩田 英 新村喜與四 清水 尚 計算課 本山勇太郎 英文每日事務課</p> | | <p>田中 新吉 鶴岡 信治 鳴託 三瀬幸一 検査員 大澤 義彦 澄山 幹夫</p> | | <p>奥田 正雄 富澤 秀雄 淺田政一郎 飯田 欽一 齋藤 菊一 庶務係 吉野 正勝 星野 信之 山本 弘 航空部 田中不二雄 原田 隆 館内 清 寫真部 田中 政喬 長石丸 庄司 高梨 五郎 内堀 正一 高橋 文哉 今井 祐二 鹿島三七夫 御簾納 健 每夕競馬社 木村 政司 御簾納 健 吉野 正勝 東久世信保 石井 利雄 三宅 惠美 漫 畫部 井崎かずを 百合 三郎 松下井知夫 佐次たかし 志村つね平 山川 和男 西塔 子郎 金子 久子</p> | | <p>岩田 英 新村喜與四 清水 尚 計算課 本山勇太郎 英文每日事務課</p> | | <p>田中 新吉 鶴岡 信治 鳴託 三瀬幸一 検査員 大澤 義彦 澄山 幹夫</p> | | <p>奥田 正雄 富澤 秀雄 淺田政一郎 飯田 欽一 齋藤 菊一 庶務係 吉野 正勝 星野 信之 山本 弘 航空部 田中不二雄 原田 隆 館内 清 寫真部 田中 政喬 長石丸 庄司 高梨 五郎 内堀 正一 高橋 文哉 今井 祐二 鹿島三七夫 御簾納 健 每夕競馬社 木村 政司 御簾納 健 吉野 正勝 東久世信保 石井 利雄 三宅 惠美 漫 畫部 井崎かずを 百合 三郎 松下井知夫 佐次たかし 志村つね平 山川 和男 西塔 子郎 金子 久子</p> | |
| <p>岩田 英 新村喜與四 清水 尚 計算課 本山勇太郎 英文每日事務課</p> | | <p>田中 新吉 鶴岡 信治 鳴託 三瀬幸一 検査員 大澤 義彦 澄山 幹夫</p> | | <p>奥田 正雄 富澤 秀雄 淺田政一郎 飯田 欽一 齋藤 菊一 庶務係 吉野 正勝 星野 信之 山本 弘 航空部 田中不二雄 原田 隆 館内 清 寫真部 田中 政喬 長石丸 庄司 高梨 五郎 内堀 正一 高橋 文哉 今井 祐二 鹿島三七夫 御簾納 健 每夕競馬社 木村 政司 御簾納 健 吉野 正勝 東久世信保 石井 利雄 三宅 惠美 漫 畫部 井崎かずを 百合 三郎 松下井知夫 佐次たかし 志村つね平 山川 和男 西塔 子郎 金子 久子</p> | | <p>岩田 英 新村喜與四 清水 尚 計算課 本山勇太郎 英文每日事務課</p> | | <p>田中 新吉 鶴岡 信治 鳴託 三瀬幸一 検査員 大澤 義彦 澄山 幹夫</p> | | <p>奥田 正雄 富澤 秀雄 淺田政一郎 飯田 欽一 齋藤 菊一 庶務係 吉野 正勝 星野 信之 山本 弘 航空部 田中不二雄 原田 隆 館内 清 寫真部 田中 政喬 長石丸 庄司 高梨 五郎 内堀 正一 高橋 文哉 今井 祐二 鹿島三七夫 御簾納 健 每夕競馬社 木村 政司 御簾納 健 吉野 正勝 東久世信保 石井 利雄 三宅 惠美 漫 畫部 井崎かずを 百合 三郎 松下井知夫 佐次たかし 志村つね平 山川 和男 西塔 子郎 金子 久子</p> | | <p>岩田 英 新村喜與四 清水 尚 計算課 本山勇太郎 英文每日事務課</p> | | <p>田中 新吉 鶴岡 信治 鳴託 三瀬幸一 検査員 大澤 義彦 澄山 幹夫</p> | | <p>奥田 正雄 富澤 秀雄 淺田政一郎 飯田 欽一 齋藤 菊一 庶務係 吉野 正勝 星野 信之 山本 弘 航空部 田中不二雄 原田 隆 館内 清 寫真部 田中 政喬 長石丸 庄司 高梨 五郎 内堀 正一 高橋 文哉 今井 祐二 鹿島三七夫 御簾納 健 每夕競馬社 木村 政司 御簾納 健 吉野 正勝 東久世信保 石井 利雄 三宅 惠美 漫 畫部 井崎かずを 百合 三郎 松下井知夫 佐次たかし 志村つね平 山川 和男 西塔 子郎 金子 久子</p> | |

東京毎夕新聞社

昭和十一年十二月現在

| | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|---|--|---|--|
| <p>梯 肥出雄 宮原 乾禧 選送課 松岡 稔 堀江 實 中村 久吉 雨宮 保市 辻 久雄 大竹 達三 國保 政市 松岡 庭藏 江花喜與壽 高橋隆三郎 林 清平 木下 珍司 管理課 横山慶太郎 平野 杉松 島田 秀男 大崎 省吾 島田 功時 龜岡 亮三 鳴託 平山新太郎 鳴託 中川 榮助 出張所區主任 廣谷 信次 後藤 弁吉 今喜多慶三 関 鐵治 小島 貞 山田 順三 販賣部出張所勤務 元木 佳光 羽野 義明 鳴託 宇多村敬二 出張所主任 望月 爲義 根岸 實 石松 喜壯 菊地 武吉 野村宗太郎 元木 源市 松村 喜平 小川龜太郎 清瀬 芳夫 畑野光太郎</p> | | <p>片山壽太郎 望月 秀助 高田 直藏 吉浦 義成 中川 懋 尾辻 徳一 中平 牛松 古市保三郎 三浦 光利 熱田 多寶 山口 玉治 鷹山 眞源 清瀬 福治 石井 留造 二藤 茂雄 遠藤 瓶城 田中憲太郎 太田 正好 安藤傳次郎 佐久間 英 木田銀治郎 大木 芳松 入江 武次 田中 榮次 廣告部長 清 澤 巖 原 爲雄 伊喜見禎吉 見谷 博史 撫養 幸男 立花 義順 牛尾 哲造 井上 文雄 淺井龜之助 深水 龍 野村 要 伴 哲夫 柳 茂行 佐々木信道 横井 鉦二 井上 毅三 中村 好郎 長藤友三郎 五百住淳三 中西 茂正 鳴託 倉光喜代藏 鳴託 倉光喜代藏 考察課 豐田 兼助 宮崎 孝行 小松 純夫 武義 鳴託 平尾 武義</p> | | <p>鳴託 齋藤 純一 整理課 矢上 仁一 植田 進一 梶山 丈夫 校正課 細川 達海 齋藤 豊人 春元 信夫 小澤 豊 細川 達海 案内課 宮川 守善 小泉 穆英 坪井 義男 松本 錦 山本 英一 山崎 博 遠藤 喜寛 矢田山保太郎 齋藤 實一 山崎 博 飯守 勤市 三原 勝英 山中 最 山田 眞一 會計部長 中田 善作 大石 極 村上喜代美 酒井 衍 山本 義夫 橋本 亘 和田 準一 友添 保 富岡佐太郎 河島 英治 宮下 龜雄 庶務部長 小泉 進作 岡野 秀治(兼)田中 重雄 海老原半藏 小松光治郎 水谷 強一 駒田 豊二</p> | | <p>鳴託 阿部壽三郎 (兼)笹澤三善(同)相馬 基 (同)野口 勇雄 福田徳之進 守 衛 石元 龜吉 青木 貞吉 谷野宅太郎 志田 眞平 印刷部長 大 森 富 伊部與三郎 本澤保次郎 齋藤 雄三 和田 直輔 齋藤 雅人 岡田 保 其野 末吉 一色 正一 中山 鱗 活版場 鈴本 亦一 田代 風三 川田 鐵藏 内藤 清作 松本卷五郎 齋藤 寛治 小林 吉郎 屋木藤太郎 小林 治吉 皆川 三郎 渡邊 廣吉 西川金太郎 宮原 利元 伊藤 房男 矢木謙太郎 内藤 詢 高田 みち 柳原 彌市 鈴木 保雄 鉛版場 鈴本 保雄 久代 兼藏(兼)齋藤 雅人</p> | | <p>小鮎熊太郎 中村 鋼吉 川島繁之丞 印刷場 (兼)本澤保次郎 久世民三郎 中村 武男 坂内 米吉 大谷 省三 川崎 謹而 淺海 基 上條 親保 佐藤 勝治 鈴木金太郎 寫真製版係 角田多次郎 及川 康雄 藤井岩之助 神谷 萬吉 土屋 廣作 電氣係 鈴木 正二 前野福太郎 人見 麟 大每駐在員 航空部 羽太 文夫 須田 道次 岡 貞文(兼)郡 捷 映畫課 伊藤 恭雄 藤村松之助 伊藤 達雄 池田 永造 鳴託 開田靖一 廣告部 辻本 寛治 藤本 安治 増田 正穂 桂 直樹 若林 昌男 池田 久雄 高取兵吉郎 中村不二男</p> | |
|--|--|---|--|---|--|---|--|---|--|

| | | | | |
|---|---|--|--|---|
| 編輯局囑託 幹藏 論說委員 (部長待遇) 關口 泰 (同) 岡本 鶴松 (同) 町田 梓樓 (同) 土岐 善麿 (同) 佐佐 弘雄 前田 多門 佐佐 弘雄 笠 信太郎(兼)野村 秀雄 (兼)大西齋(兼)北野 吉内 整理部長 北野 吉内 次 長 宮崎 志朗 同 八木 長人 同 安井 俊雄 赤井 直恭 飯島 保 上田 徹信 岡部 一郎 河合 勇 栗原 秀松 工藤 正治 猿山儀三郎 酒井 寅吉 末常 卓郎 土屋 清 永島 寛一 細川 龍彦 棟尾 松治 右田左武雄 宮田新八郎 茂木 政 山田 正男 吉田 武 聯絡部長 鳥越 雅一 次 長 關戸半四郎 上村 英雄 大野 鶴惠 菊池 陽一 古財 徳夫 | 鈴木 總二 蕪澤 信治 (兼)中祖英夫 大朝社通信部東京在勤員 伊藤 武雄 伊藤 武雄 電話部長 吉岡 助次郎 阿部哲太郎 岩井千代三 大庭 弘 小此木貞治郎 小本曾一三 加藤 敏雄 葛岡真太郎 小林 盛雄 酒井 寅吉 庄司市次郎 白石 逸作 柴田 新三 鈴木四吉 土岐 正雄 長澤 義雄 西尾 千治 野田 禮史 橋本 正雄 細田 常吉 松田 虎三 松村 武文 丸山 堅志 森澤 神行 吉田 七郎 米山 直吉 政治部長 細川 隆元 次 長 長谷部 忠 同 壁谷 祐之 (次長待遇) 大塚 喜平 (同) 上月 進 有竹 修二 磯野 清 磯田 薫一 入澤 文明 大渡 順二 久住 梯三 岸 勇夫 河野 健治 鹽澤 總 宮崎 世龍 | 田畑 政治 田村 眞作 羽田武嗣郎 林 陸夫 藤井 丙午 西島 芳二 渡部 迪 山崎 武彦 經濟部長 丹波 秀伯 次 長 田中慎次郎 商況係主任 高木 勝起 (次長待遇) 井山 武雄 朝吹孫三郎 高垣金三郎 澤村 克人 千早健三郎 高野 信 中野 政春 長谷川健一 廣岡 知男 春海 鐵男 増田 壽郎 藤田 武雄 増田 壽郎 社會部長 尾坂 與市 東京版主任 福馬 謙造 次 長 伊東 盛一 同 木下 宗一 同 荒垣 秀雄 同 足立 和雄 伊藤 昇 井之丸喜久藏 池田 源治 石井 勝視 石母田敏夫 石尾市太郎 今井 俊 今井 正剛 岩田 豊秋 小平 鐵男 大澤 曉一 大島 泰平 小原 正雄 岡田録右衛門 加藤 大吉 加藤 民平 帷子 勝雄 | 門田 勤 金子 喜藏 川島 哲郎 河合 政 菅野 長吉 木原 信二 倉光 俊夫 後藤 恒道 小池 信行 郷 康夫 齋藤 寅郎 齋藤 良輔 佐々木清亮 佐藤 忠男 島津 彌六 進藤 次郎 鈴木 鐵雄 園田 俊一 田村 三郎 田村 三郎 高瀬 勝治 竹田道太郎 竹森 又男 田中 仲 武田 又次 寺田 勤 富永 成武 中野 五郎 中里 貞一 内藤 氏哉 仁尾 一郎 長谷川直美 廣西 正巳 福戸 久平 藤井滿洲男 藤田 季俊 古田恒太郎 星野 政雄 古田 倫美 松島 一郎 宮本 英夫 山田 漸 吉里 弘 米永 祝榮 歐米部長(兼)北野 吉内 次 長 本多助太郎 甲斐 靜馬 香取 桂一 神古 百市 千原 楠藏 中山 貞雄 淵岡鶴之助 古垣 鐵郎 深澤長太郎 | 南井 慶二 鈴木 乾三 通信部長 木村 東 次 長 矢島 八洲夫 地方版主任 萩原 庫吉 (次長待遇) 山崎 晴治 (次長待遇) 伊藤 鑑 伊東誠三郎 伊藤 鑑 生田 六郎 巖 徹 蝦原 幸作 奥原 貞三 大平 植助 川村 專一 久保寺三郎 小屋敷美雄 佐々木斧次郎 佐藤 一才 齊藤憲一郎 菅原 俊二 杉本藤太郎 高師 康 田村 正美 武石 榮 長 一潔 徳山 繁太 成田 毅雄 西村勝治郎 林 二郎 林 廣吉 樋口 易正 藤田 保 堀川 善雄 三浦 武夫 三船 四郎 村岸 義雄 吉田 輝雄 横田 省巳 桑原 碩郎 須藤 庫吉 出版編輯部 須藤 庫吉 三原 憲之 須藤 庫吉 次 長 星野 辰男 部長 比佐 友香 (練習生)市川 利次 栗林 茂枝 小林秀二郎 |
|---|---|--|--|---|

| | | | | | | |
|---|--|--|---|--|---|--|
| 谷(渡邊宗藏(本郷)、細田 瑞穂(小石川)、青木儀一郎(麻布)、竹内太郎(新宿)、渡邊宗藏(下谷)、齋藤進(芝一)、東常雄(芝二)、村井武一郎(京橋)、早川榮(日本橋)、佐藤勝市(淺草)、松田良雄(神田)、田邊正一(中郷)、伊藤秀彬(本所)、塚越讓(深一)、奈良理以智(深二)、長井吉五郎(深三)、小田部軍司(湯島)、中根寅男(大井)、横須賀光吉(蒲田) 西山勘次郎(高田馬場)、三好利生(松江)、福井三治(野方)、早川正義(梅田)、馬場義道(大森)、大野四郎光(王子) | 中村嘉代藏(以下略) 鉛版課 佐藤 岩雄 木瀬松太郎 (以下略) 印刷課 飛騨清次郎 菊池 綱吉 (以下略) 發送部 石井 盛男 渡邊 敦行 (以下略) 社會事業部 坂口 義治 顧 問 內田 孝藏 中島 正徳 高木 慎 重田 常清 伊澤 知實 青山 有一 増子 豊 本多 恒三 鈴木 泰嶺 | 東亞問題調査會 會長 緒方 竹虎 幹事 大西 齋 部長待遇 吉田 淳 同 渡邊紳一郎(兼)野原眞太郎 (部長待遇) 太田宇之助 (部長待遇) 知識 眞治 尾崎 秀實 嘉治 隆一 益田 豊彦 紺野 敏治 文書課長 豐原 瑞穂 北村精一郎(兼)野原眞太郎 計課長 庄崎 俊夫 鈴木 清 生江澤速雄 | 東京朝日新聞社 昭和十一年十二月十日現在 映畫班 製作係主任 眞名子兵太 (次長待遇) 谷口 貞固 主任(兼) 井上 幹一 大内 秀邦 山崎眞一郎 松本 四郎 (兼)鈴木喜一郎(兼)横田武夫 渡邊紳一郎(兼)野原眞太郎 (兼)石尾市太郎(兼)横田武夫 伴 俊彦 宮内以佐乎 航空部長 河内 一彦 | 編輯局 主筆(專務) 精方 竹虎 局長(常務) 美土路昌一 局長(常務) 野村 秀雄 局長(常務) 伊東圭一郎 顧問 伊東圭一郎 編輯局勤務 (次長待遇) 羽田 三吉 今井 純 相馬 正男 (勤) 編輯局(練習生) 濱名 二正 (編輯局練習生) 岩崎強平 入江徳郎、辰井正明、藤井 恒男、信太澄夫、米田欣一、堀江忠男 | 中村嘉代藏(以下略) 池田 重信 菅原 由夫 藤原 豐太郎 宮本 茂 久 羽根川政徳 西澤 靜香 (以下略) 東京版廣告部 吉岡 勝重 菊地 義明 南 省吾 松本 竹三 業界版 川村 竹治 顧問囑託 久保 爲市 服部 一郎 (衛生一子部) 小林 新平 桑原 信助 (城北版之部) 川名 與一 八木 鐵司 | 整備係主任 山本惠七郎 學生航空係 小林英次郎 内野 一三 木村 茂樹 小俣 壽雄 近藤 通 近藤助一郎 佐々木松五郎 鳥崎 清 田丸 幸三 長友 重光 中島 憲三 中野 勝義 帆坂 藤吉 記者兼査 伊東圭一郎 (次長待遇) 稻庭 謙治 秋山安三郎 重松 孝 顧問 岩田 宙造 |
|---|--|--|---|--|---|--|

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|--|
| <p>素一 在外各地通信部 (伯林)今仁親男、(北平)小野二郎、(上海)日高清磨</p> | | <p>局長 大島 一衛 囑託 田利 清</p> | | <p>會計部長(兼)大島 一衛 山中 梅生 三枝 保治 高坂伊三郎 吉田 一二 中山 新平 吉田 一二 庶務部長(兼)大島 一衛 北澤 薰見 三橋實三郎 川本 晃 花輪 和育 宮下 正子 吉田 艶子 (以下略)</p> | | <p>事業部長(兼)大島 一衛 竹内 松治 葛野 辰藏 宮原 敦 木本 秀雄 工藤 信一 木本 秀雄 經濟調查部長富谷 五鐵 次 長 山下 重之 松本 伴藏 福島 政種 森 清 池上 徹 工務部長 松井 文雄 次 長 濱田 晉吉 工務課長 松井 文雄</p> | |
| <p>主 任 長山 敬壽 電氣技術 中村喜代太郎 主 任 渡邊 勝雄 中川安太郎 渡邊 勝雄 宗 周三 山本 七キ 田中 ふじ</p> | | <p>活版課長(兼)濱田 晉吉 大組係 主 任 濱野 泰治 主 任 高橋 寅松 山中要太郎 瀧澤 傳藏 武田光太郎 立川 友吉 篠原 石松 宮崎 利夫 吉田 吉藏 工藤連三郎 (以下略)</p> | | <p>探字科長(兼)濱田 晉吉 主 任 半澤 長吉 主 任 古川勘太郎 堀越 幾松 鹽澤壽龜司 堀根甲子三 大島 次郎 鈴木 嘉吉 木村 治郎 賀波澤六郎 曾我 民藏 齋藤安太郎 森 德 橫井儀兵衛 細野政次郎 石橋初太郎 (以下略) 鑄造科長 六郷 旭三 主 任 杉本 藤吉 朝岡 思孝 安田 芳雄 長谷川 勇 安西 芳雄</p> | | | |
| <p>局長代理 村田 攪雄 販賣部長 原 重德 市內課長 藤田 文明 地方課長 富田 作藏 井岡 亮輔 藤木新治郎 堀 武圭 越智 益 飯塚潤一郎 大谷 忠一</p> | | <p>主 任 寫真製版課長志田 茂 主 任 竹內惠一郎 野澤 軍治 小島 勝男 雨澤 秀雄 岩野 滿人 榎本 庄助 松本 三郎 橋本 朝治</p> | | <p>主 任 柳原 大章 發送課長 池田 利雄 川手龜一郎 金子 信夫 森中義三郎 伊藤 高村 山口 慶助 海老澤善夫 加城 新一 小林 人 渡邊 幸隆 山本 精一 (以下略)</p> | | | |
| <p>販賣部市内出張所 (麹町)佐伯由郎、(神田)醍醐伊三郎、(日本橋南部)大塚實一、(日本橋北部)鶴澤隆、(京橋)笠井忠義、(芝)吉田壽郎、(三田)秋山竹二郎、(澁谷)木島順治、(惠比須)山崎末男、(荏原)榎本利雄、(青山)平野菊三郎、(世田ヶ谷)越渡晃、(駒澤)蒔卷忠雄、(幡ヶ谷)岩村正通、(笹塚)森永三郎、(淀橋)岸金錄、(中野)佐藤隆三、(阿佐谷)成澤易直、(四谷)安東繁三、(牛込)寺島源次郎、(小石川)近藤惣五郎、(動坂)島崎仁一、(巢鴨)船木義一、(大塚)中澤靜治、(王子)櫻庭榮一郎、(千住)指出龍吉、(西新井)松本勝美、(入</p> | | <p>谷)石井三郎、(尾久)松山重孝、(下谷)鈴木茂三、(淺草)新井信司、(山谷)兩角利衛、(中ノ郷)須山和助、(本所)川原照、(中延)山木芳造、(大森第二)石川謙、(深川)八木啓治、(江東)須山和助、(目黒)齋藤謙一、(野方)吉田良吉、(大井)山崎淺次郎、(麻布)山本豐藏、(高橋)石井三郎、(向島)小林元吉、(目白)稻村正夫、(戸塚)篠原善五郎、(大岡山)一瀬亮平、(白金)風間淳、(池袋)堀川清市、(瀧ノ川)友杉清孝、(玉ノ井)須山和助、(戸塚)松尾憲一郎、(若松町)日野原鐵雄、(南千住)根津留義、(東中野)有吉健吾、(品川)桑原興七、(十二社)大瀧哲太、(吾嬬)山田三郎</p> | | <p>市内專賣所 (月島)野口禮儀、(板橋)平賀明、(赤羽)井上道夫、(砂町)成田眞夫、(龜戸)田島榮二、(本郷)秋山清人、(駒込)吉田勳、(上野)今津操、(松江)西岡辰一、(立石)野</p> | | | |

| | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|--|--|
| <p>運動部長(兼)白井 正福 太田 茂 鈴木 年男 德永 修一 藤井 利一 學藝部長 辰己 吉次 次 長 新井 忠一 佐伯 孝夫 西山 健兒 中澤 敬佑 湯本みさ子 熊坂 兵助 村上猶太郎 通信部長(兼)植木仁太郎 福島 清雄 松井 敏 中村 勝宣 石川 勳 內山友次郎 加賀傳之助 佐築 敏男 林 友吉 梅谷 京 楓井金之助 校正部長 渡部 一郎 谷口作太郎 鷹巢 清治 山品 彌六 佐藤 正義 永江倫太郎 布施 丙午 米倉 弘二 早川須佐雄 大芝 繁十 早川須佐雄 舟木 麻左 池田 憲藏 寫真部長 初野 正文 個 隆之 山村 壽雄 福本 明 田中長三郎 高橋 董 菅野 政三 富山 衛 根元清次郎 調査課長 湖 見 武 根元清次郎 内山 義元</p> | | <p>渡邊仁一郎 杉森 政雄 遠藤 孝 野田 兼一 加藤 實 角永 積興 櫻井 孝男 渡邊 末男 平川 昂 手島 正利 平野 啓 仁木 高城 杉森 道雄 古宮 正三 中澤 光久 齋藤 猛夫 爲行 啓夫 後藤 義喜 加藤 重 界外 五郎 中臺銀之助 界外 五郎</p> | | <p>好光 昌夫 福本 保 橫濱支局長 枯梗 久治 古谷多津夫 中村 泰雄 野村 直 井上 勝一 毛利 正元 谷口 治可 (特置員)叶三男、山本義仁 (通信員)東小路公孝、竹川秀潮、鶴田太郎、近藤三郎 古瀬右之助、高橋優 静岡支局長 玉崎字三郎 秦 正男 (特置員)加賀見朗 (通信員)服部兼雄、大川靜司、永井福太郎、折笠平吉 山谷宗重 濱松支局長 小川 惠見 埼玉支局長 綠川 敬止 木暮 依一 (通信員)大澤龜太郎、高野岩吉、長尾政明、井上武夫 中村邦一、四方田伊平、鈴木彌市、三橋春次郎、今田猛象、河内七之輔 千葉支局長 北村 好三 藤生 好夫 (通信員)吉田稻之助、有賀隆男、座間知二、小路彌惣治、長谷川光之助、中村貞</p> | | <p>三郎、鈴木泰、伊能同愛、板倉良司、渡邊七郎、林藤三郎 (囑託通信員)酒井國一 八王子支局長 三澤義助 橫谷 亦七 (特置員)増田 武 (通信員)小澤光吉、小出今朝一、筑城米七、佐藤一兵、高橋清 群馬支局上毛日日新聞社内 茨城支局 常總新聞社内 栃木支局下野日日新聞社内 支局管外各地通信部 (高田)伊藤竹三郎、(門司)堀田美喜、(長岡)中川杏果 (富山)堀川定治、(福井)藤野稔、(福井)石原泰介、(長野)増田秀英、(長野)小松己巳生、(飯田町)渡邊一男、(松本市)穂刈登茂作、(津市)保見國治、(宇治山田)上村政吉、(高岡)貴堂傳八郎 (岐阜)堀江收、(奈良)藤原宏、(新潟)兒玉甲七、(豊橋)竹本喜代三郎、(岡崎)伊藤次郎、(金澤)深見直一、(大津)北原寛、(京都)山村</p> | |
|---|--|---|--|---|--|--|--|

| | | | | |
|--|---|---|--|---|
| 岸川 益一 橋本 隆一 八木 覺雄 由比 三男 主 任 濱田 收蔵 伊吹 順隆 運動部長 東口 眞平 アサヒ・スポ 1ツ編輯主任 藤木 九三 (部長待遇) | 田中 忠人 宮川 雄逸 山口 市常 高瀬 毅 松田 三郎 (東京在勤) (次長待遇) (東京在勤) (同) (同) 東朝社出版編輯部 大阪本勤員 佐々木泰男 根本 好道 在外通信機關 滿洲支局長 木下 猛 次 長 高宮 太平 井上震治郎 本郷 基繼 山本 治 古川登久茂 奉天通信部 主 任 坂本 靜一 (練習生) 稻井 實 哈爾濱通信部 磯部 佑治 大連通信部 主 任 宮崎 小市 安東通信部 新義州通信部 主 任 福澤 卯介 海拉爾通信部 主 任 竹中 義一 上海通信 主 任 白川 威海 中村 正吾 長門 猛 | 森山 喬 宮崎榮三郎 北平通信 常安 弘通 南京通信部 主 任 橋本登美三郎 天津通信部 主 任 高橋 順一郎 廣東通信部 主 任 辻 衛 莫斯科通信 局長 丸山 政男 パンコック 通信部主任 青木 眞 倫敦通信 局長 香月 保 聽濤 克己 巴里通信 局長 重德 來助 紐育通信 局長 濱田常二良 羅馬通信事務所 局長 伊藤 七司 前田 義徳 各地通信部 京都支局長 西村道太郎 大塚彌一郎 小倉 五郎 (休職) 戒田 隆三 藤村 泰三 佐山 嘉允 坂本 達 櫻井 善臣 杉江 孝長 宗 寂照 田畑 勢門 | 高橋米次郎 德田 修 西村勇治郎 (寫眞部駐在員) 小久保善吉 (舞鶴通信 部主任) 内村 駿三 (以下通信部略) (福知山) 四方卷太郎 (宮津) 岡田 常治 神戸支局長 平井常次郎 次 長 坪田 耕吉 (次長待遇) 佐伯清十郎 上村 四郎 北詰 信雄 佐藤 準一 北詰 文藏 武久綱四郎 田中 卓二 津田源二郎 島中 正登 林田重五郎 見田 英雄 田 健三 (寫眞部駐在員) 岡本 健三 木村 邊 (阪神主任) 新宮壽天丸 (御影) 八尋俊助、(尼崎) 片 山隆治、(寶塚) 日野惠貫 (姫路主任) 藤田 與 (明石) 須藤 由尾 (洲本) 森 勘次郎 (豊岡) 古賀 尙男 (奈良) 主任 木村 博昭 秦 正流 南 彦一 | 三岡 亮 吉田 恒數 (高田) 小川 砂 和歌山通信 局長 安藤 壽 稻葉 源一 小島千夫也 福田 正一 若林 善三 (海南) 尾關 三郎 (新宮) 稻垣森之助 (田邊) 久原 良吉 …… (大津) 主任 吉永加次夫 今村 誠次 岡田 喜雄 村田秀治郎 村田秀治郎 (彦根) 主任 岸 寛 (八日市) 牧 正義 (津) 主任 松本 楨重 前田 滿穂 山田 二郎 (宇治山田) 主任 兵頭 恭雄 清水 三郎 (四日市) 飯田 稔 (桑名) 平尾 三郎 (松阪) 竹内 重一 (上野) 村主孝太郎 (豊橋) 主任 伊藤 雲巖 林 英雄 (岡崎) 佐藤 勉 (一宮) 石川 正雄 (瀬戸) 岡本 熊次 (西尾) 稻田 裕 |
|--|---|---|--|---|

| | | | | |
|--|---|--|---|--|
| 湯木 修二 速記實習生 小島 重麻 傳書係 米田 保 鈴木 兼吉 鷹尾 需 校閱部長 一花 健藏 次 長 弘末直誠 同 橋本 謹爾 同 橋本 謹爾 主任(兼) 一花 健藏 伊藤 二朗 泉 正繼 (兼) 橋本隆一 出版係主任 山中 伊尹 地方版校閱 山本 道男 主任 橋本 謹爾 荒井 豊 井上 三男 伊藤 政三 石川 銀次郎 石村 矩衛 上田 三治 上野浩二郎 大久保正章 太田 正九 大橋 秀夫 織田 輝雄 尾崎 福一 桂 幹雄 久保田敏夫 倉橋 義雄 後藤 靖 酒井 芳藏 佐藤 良藏 島關 勇 社領丈三郎 岡田 武雄 中井 二郎 中戸 足人 | 西村新二郎 原田 正男 藤澤 成太 磯間常太郎 堀江 正三 松浦 實雄 宮下傳三郎 山田 寛 竹原 賢 通信部長 内田 眞吾 次 長 神谷 十三 同 野入利三郎 同 安井善之助 同 栗林 貞一 同 厚母 勝 同 秋武徳次郎 同 天野 健次 同 岡田 正夫 同 木村 武夫 同 阪井 親 同 柴田 親 同 友田 弘二 同 濱田 俊夫 同 藤原 丈夫 同 宮田 良勝 同 横井節之輔 同 吉元 条雄 同 伊藤 武雄 東京駐在員 | 東亞部長 中村 桃太郎 次 長 本郷 賀一 同 恒川 眞 岡 謙次 熊本 重清 楠 辰己 佐藤十良一 高道 一雄 野村 宣 平松億之助 武内 文彬 阿部 季房 石山慶治郎 今井 義一 萩野 節 熊本 良忠 鳥崎 憲一 高辻 文夫 鳥居 孝一 三宅 貞夫 森 恭三 横田 千秋 和田 齊 主 任 岩田 重人 (部長待遇) 土屋正二郎 (次長待遇) 友義 金保 友義 統計課 幸田 祐道 小泉 信夫 吉富 誓一 社會部長 小倉 敬二 (部長待遇) 鈴木 常吉 次 長 森本賢太郎 同 今井 精造 同 木村亮次郎 | 横山 精一 天野 景治 植村藤四郎 大立 力男 加藤滿壽雄 神先 秀雄 近藤 俊清 島田 博 十河 巖 田中 正男 田中 利一 團野 信夫 出口祐次郎 中野 重夫 西川 尙臣 西川 佳雄 羽田 豊彦 平松 儀勝 水戸 康夫 柳原 源 山田 淳實 渡邊寅三郎 大阪府下駐在員 (堺) 米山保、(大畑) 正吉、(岸 和田) 田淵義一、(睦地) 哲郎、 (守口) 鈴木工、(豊中) 金親 不二男、(吹田) 小山豊樹、 (富田) 中西力、(小阪) 西 田篤行、(兼) 新宮壽天丸 | 寫眞部長 松本 健 次 長 山本 彦一 青井竹三郎 大東 元 岡 美千雄 奥野 省三 (神戸駐在) 岡本 健三 角野 福三 格由幸太郎 (神戸駐在) 木村 邊 喜多 忠三 (京都駐在) 小久保善吉 新海 溥 鈴木 泰全 長谷川義一 藤本 謹 宮内 靈勝 森田 亞雄 横田巳之助(兼) 内海 景普 保存係 主 任 小菅 伸 龍 義男 宮本源七郎 電送係 主 任 相澤 小二郎 主 任 川村 一郎 赤井 正友 上山 哲夫 仲村 一男 村上 進 藤岡 秀雄 調查部長 小林 次郎 調查係 秋澤 次郎 今井眞太郎 |
|--|---|--|---|--|

| | | | | | | |
|--|--|---|---|--|--|--|
| 秋田 正男 宇多 武次 大屋久壽雄 小栗周三郎 上郷 文雄 齊藤 正躬 柴田 勝春 田中 尚德 武田 尚昌 永井 皓 中屋 健次 藤井 隆章 前田 雄二 松井善四郎 村上 達 横地 倫平 横山 芳郎 千葉 愛雄 | 石川 泰三 浦上 冬彦 小田 善一 川崎 正雄 黒澤 俊雄 齋藤 桂助 進藤 幸祿 高橋 辰馬 塚本 一生 永由 君人 藤井信次郎 福井 賢 前田 廉 村上 定一 矢上 誠 依岡健一郎 若杉 修介 | 次 長 皆藤 幸藏 入江啓四郎 佐藤 重雄 藤岡 正治 東亞部長 神子島 梧郎 次 長 松代 同次 大星 石松 莊原 達 半谷 高雄 特信部長 藤井 祥正 市川 太郎 大木 寛 小寺 信重 佐藤幸一郎 寺崎 鐵男 山崎 義人 吉村 勉 | 瀧口 義敏 峰村新一郎 寫眞部長 編輯局長兼任 不動 健治 青木元一郎 有馬 靜夫 内山林之助 小野田庸藏 春日 昇 川本 敏夫 金子文次郎 坂井 金二 牛腸 五郎 神 秀雄 鈴木かつ江 住友 善次 高崎 修 高宮 利彌 林十水而樂生 中田 義次 藤倉 吉藏 祇川 親茂 三輪 大三 不動 昇 村崎 ミネ 横田 正平 | 外報局 局長 義貴 參事 相良 左 英文部長(兼)相良 左 局長 三輪 武久 次 長 崔 垣烈 河上 洪 佐藤 剛 | 村山 謙 山崎 東助 發信部長 井上理三郎 次 長 山上 正義 松本 幸次郎 松本 金吉 荻原 榮治 菊江 榮一 星野 正二 豐島 清光 松尾 武一 八木 行男 横山 國藏 | 局長(兼) 畠山 敏行 次 長 鷹 嘴 參事 高橋 勇 部長(兼)鷹嘴 壽 次 長 古野清一郎 近藤 雨梨 同 藤澤民之助 同 規畫部長 鷹嘴 壽 同 次 長 吉田 松治 淺輪 一磨 芹川選太郎 綾野 政治 板垣重太郎 一ノ瀬 博 伊藤 斐雄 岩本正太郎 上野 茂 鶴澤 邦男 江藤 武臣 小川 靜江 小野しづよ 大瀧 鹿次(以下略) |
|--|--|---|---|--|--|--|

| | | | | | | |
|---|--|---|---|--|---|--|
| 休職社員(停年) 青山太次郎 井上藤三郎 有馬 彌 飯田爲三郎 宇野兵次郎 上野 幸治 野取 英吉 大井 二郎 萩田 友吉 河本 清 木村 恒 窪田三樹夫 河野 純 小西 藤吉 田中榮太郎 高尾 亮雄 辻村 又男 中尾國太郎 中尾 濟 西村彌太郎 仁木 正一 野田 福藏 橋上 晋吉 本田伊之助 牧野嘉市郎 牧野榮太郎 増田 金市 三島秀次郎 村上 寛 村田謙次郎 森 慶一郎 山口 信雄 矢木義太郎 山室 康吉 | 山崎長太郎 山田 芳穂 横山捨五郎 社友 下村 宏 顧問 大江理三郎 客員 五十崎夏次郎 瀧 精一 志毛井確太郎 永井 榮造 野田 安重 前田與三吉 囑託 麻生 豊 松瀬彌三郎 (Glenn W. Shaw) 神田辰之助 | 同副會長 野中 楠吉 同 柏岡 清勝 阿部暢太郎 一力 次郎 伊豆 富人 岡崎 鴻吉 荻野元太郎 大島 宇吉 河村 徹 小坂 武雄 小森 七郎 柴田 勝衛 清水 順治 杉山 榮 高石眞五郎 高原 操 田中 齊 中山 龍次 林 政武 松岡 正男 三木 七郎 美土路昌一 森 一兵 森田 久 矢上以久三郎 築田欽次郎 山田金次郎 山根 文雄 山本 實一 和田 恒彦 監事 福田 英助 | 局長 畠山 敏行 庶務部長 大川幸之助 人事主任 白尾 干城 青木 菊枝 川原 幾代 小杉純三郎 千早 豊 永見 寅太 中村 豐女 經理部長 石部 幸次 次 長 齋藤 直吉 會計主任 上村 藤吉 | 局長 上田 碩三 參事 河崎 義男 及川 六三四 諸富 一郎 同(政治部附)淺野 豊 同(社會部附)栗林 農夫 同(囑託)長林密藏、同小野田 正 同(編輯部)宮澤 良雄 政治部長 大平 安孝 次 長 福田 一 同 西村 二郎 | 局長 安武 誠一 次 長 倉田 正一 同 大森吉五郎 同 我妻 繁夫 石坂 晃一 岩崎 敏人 上原 正吉 大塚 嘉次 久保 正次 後藤 欣也 中村 信 光永 廣 同 東 啓 板垣 武男 上野 貞夫 小暮 光三 木下 秀夫 熊木 啓作 澁澤輝二郎 平柳 常雄 | 秋葉 武雄 新井 正義 猪伏 清 江木 武彦 江尻 進 大岩和嘉雄 久野 茂男 木村 進 小柳 胖 坂田 二郎 首藤 恒 住谷 金吉 瀧谷 質 竹野 進一 田中正太郎 塚村 敏夫 長島 又男 中村 伸康 沼佐 隆治 秦 巖夫 戸來 秀陸 堀川 武夫 松田 常雄 村田爲五郎 森 元治郎 |
|---|--|---|---|--|---|--|

同盟通信社
昭和十一年十一月現在

社長 岩永 祐吉
常務理事 古野 伊之助
常務理事 上田 碩三
常務理事 堀 義貴
理事、監事 古賀 傳吉
理事會會長 田中 都吉

總務局

局長 畠山 敏行
庶務部長 大川幸之助
人事主任 白尾 干城
青木 菊枝 川原 幾代
小杉純三郎 千早 豊
永見 寅太 中村 豐女
經理部長 石部 幸次
次 長 齋藤 直吉
會計主任 上村 藤吉

編輯局

局長 上田 碩三
參事 河崎 義男
及川 六三四
諸富 一郎
同(政治部附)淺野 豊
同(社會部附)栗林 農夫
同(囑託)長林密藏、同小野田 正
同(編輯部)宮澤 良雄
政治部長 大平 安孝
次 長 福田 一
同 西村 二郎

聯絡局

局長(兼) 畠山 敏行
次 長 鷹 嘴
參事 高橋 勇
部長(兼)鷹嘴 壽
次 長 古野清一郎
近藤 雨梨
同 藤澤民之助
同 規畫部長 鷹嘴 壽
同 次 長 吉田 松治
淺輪 一磨 芹川選太郎
綾野 政治 板垣重太郎
一ノ瀬 博 伊藤 斐雄
岩本正太郎 上野 茂
鶴澤 邦男 江藤 武臣
小川 靜江 小野しづよ
大瀧 鹿次(以下略)

| | | | | | | | | |
|--|--|--|---|--|---------------------------------------|---|--|--|
| 周知課長 吉米地 賢 出張所長 紀伊順一郎 | 業務局長 中山 龍次 報道部長 成澤 金兵衛 ニユース課長 寶田 通元 | 澤田進之丞 政田信之助 長谷 耕作 樋川 孝 吉良 眞 横山 精 森 勝治 米良 忠鷹 平田フミ子 高橋邦太郎 猪熊 謙吾 明石 英夫 中澤 道夫 丸山 昇 告知課長(兼) 寶田 通元 頼母木貞六 小川 和澄 友安 義高 堀場平八課 並河 亮 片山 鐵次 神谷勝太郎 川崎 秀二 松内 則三 河西 三省 中村 茂 山本 照 松隈 敬三 宮川 三雄 瀬戸 義久 松澤 知恵 前田 晃 淺沼 博 和田 信賢 | 教養部長 小尾 範治 講演課長 多田 不二 新美 銳次 江木 理一 關屋五十二 岸 毅 竹越 和夫 金谷 完治 植村 敏夫 有本 正男 池島 重信 | 講義課長(兼) 多田 不二 森本 勉 崎山 正毅 有坂 愛彦 花岡 守人 青谷 太郎 黒田 米 小川 有文 | (囑託) 吉海俊彦、(同) 青木 誠四郎。 | 文藝課長 小野賢一郎 演藝課長 久保田萬太郎 小林徳二郎 内山 理三 服部 善一 北村 壽雄 飛鳥 常矩 吉川 義雄 岡本義太郎 武田 謙二 山田徳治郎 安藤 脩 音楽課長(兼) 久保田萬太郎 大塚 正則 青木 正 高階 哲應 清水 安治 (囑託) ニコライシフエルプ ラット | 業務課長 林 繁 | |
| 局 長 米澤 與三 工務部長 米澤 與三 設計課長 伊藤 豊 運用課長 穴澤 忠平 技術部長 初見 五郎 現業課長 加藤 末丸 試驗課長 久我 桂一 放送所長 土岐 重助 技術研究 米澤 與三七 所長(兼) 米澤 與三七 臨時建築部長 和田 信夫 石山 勇夫 | 長野放送局長 山田 耕二 静岡放送局長 丹野 榮 新潟放送局長 淺野 一男 前橋放送局長 松田 義郎 放送編成會 | 幹事長 内田 信夫 石島 治志 古城 哲夫 丸山 鐵雄 岩崎 品 黒川 信雄 宮原 誠一 | 大阪中央放送局 局長 廣江 恭造 庶務課長 西澤 昌彦 監査課長 小西 次郎 總務部長 樋口 卯太郎 會計課長 茶木 秀勝 契約課長 吉本 武治 料金課長 長井 武治郎 | 周知課長 岸井 壽雄 所長 菅 江 信 放送部長 矢部 謙次郎 報道課長 横山 重遠 (兼) 田中太郎 藤崎 愛二 (兼) 木村義雄 高橋 誠之 (兼) 白神昇藏 笹井 龍郎 加藤 武男(下略) | 教養課長 西本 參拾貳 足立 勤 三輪 章治 竹内 忠雄 | 文藝課長 奥屋 熊郎 和田 精 田中市太郎 福喜多鎮雄 (兼) 岩崎愛二 川喜田好道 南江 治郎 山下 良三 成瀬 正一 丸毛 房 登 片岡 正治 志村 正治 橋田 慶藏 伊東 敬一 安達 福太郎 千葉 健二郎 | 局 長 山崎 晃 庶務課長 岡部 重信 監査課長(兼) 岡部 重信 總務部長 森 直次郎 會計課長 芳賀 浩 契約課長 椿 喜雅 周知課長 多湖 久 放送部長 花井 孝一 學藝課長 大橋 主計 業務課長 松原 環 技術部長 上野 七夫 現業課長 岩崎 命吉 試驗課長 菅野 源吾 放送所長 菅野 源吾 松田儀一郎 百東 極 龜山 六次 高橋 成 毛利 崇廣 | 廣島中央放送局 局長 安光 元一 庶務部長 原 基次郎 總務部長 伊藤 三夫 技術部長 宏林 靜雄 放送部長 松野 純吉 局 長 松尾 武治 |

| | | | | | | | | |
|--------------------|--|--|---|--|---|--|---|--|
| 正路喜社 昭和十一年十二月現在 | 取締役 布屋 徹吉 常務取締役 安田 彦三郎 同 浅田 源一 同 福澤 義男 同 宮澤 源三郎 同 黒崎 雅雄 同 小池 義雄 監査役 小池 義雄 常任役員 田島愛次郎 金輪 武雄 大川 改 高森 有吉 近藤金次郎 福島 資起 中山 久子 石井九十九 須藤 信子 藤田 民子 須藤 信子 千代 一郎(以下略) | 井上 明夫 飯島 正 小島 竹子 宮崎 芳枝 内田 一夫 長岡 逸郎 石岡 祥行 只野 次兒 石川 義夫 小森源四郎 飯田 雅也 高橋 三吉 原田 幸衛 上條豊太郎 湯本 謙三 岡 眞一郎 土谷 一郎 徳永 友衛 郡山 浩三 菊間芳次郎 原田末太郎 上石 鐵男 片桐 爲幸 東海林士郎 | 神野金之助 米澤 與三七 村田 省藏 矢野 恒太 築田欽次郎 山田 潤二 山崎 晃 安光 元一 松方 正雄 古賀 傳吉 青木鎌太郎 佐佐 信一 紫藤 章 廣江 恭造 常務 長滿 欽司 上田 碩三 山根 文雄 山本 實一 佐久間俊一 評議員 坂井善兵衛 伊藤次郎 左衛門 伊藤 正徳 猪飼九兵衛 一力 次郎 磯野 進 石川源三郎 磯野 傳六 服部 彌八 服部小十郎 林 平四郎 橋本辰二郎 伴 善光 道源 權治 千野 米作 小野賢一郎 大谷 太郎 大倉 發身 大島 宇吉 大島喜一郎 大喜多寅之助 太田 清藏 岡谷 惣助 岡野養之助 岡本康太郎 若目田利助 渡邊熊四郎 鷺野米太郎 加藤勝太郎 加納與四郎 上遠野 孝 勝田銀次郎 金子元三郎 | 神田喜三郎 高橋 正彦 高田 善彦 津守 豊治 中原岩三郎 中林 賢吾 中村厚次郎 中島徳太郎 長野 友博 村井 基一 熊平 源藏 山田清二郎 松田 精一 松本健次郎 松代松之助 深田三太夫 福田慶四郎 福島 頼藏 青山 祿郎 新井 榮吉 西園寺龜次郎 相良 忠道 坂井善兵衛 澤原 精一 北村長三郎 湯川忠三郎 三木 七郎 水野甚次郎 三木 泰甫 進藤 信義 森 一兵 | 秘書課長 佐々木佐藤治 人事係長 石原 幸三郎 秘書係長 法田 珍治 原 三郎 石村熊次郎 平塚 芳雄 錢村 辰巳 門田 重武 江村 具祐 尾崎 常正 松永 孝 熊田 幸輔 竹田 徳義 杉野 直 御園 淳 長文(兼) 課直 佐々木佐藤治 | 係 長 小野 敏雄 橋口 弘 手塚 律 岡野 孝雄 神保 正之 田邊 則男 白石 和 齋藤喜久藏 北村 進一 中山 幹雄 日衛島靖文 丸山 寛 菅 三良 庶務係長 小田 安次 吉島孝二郎 澤田 泰豊 (以下略) | 監査役 岡寺 正吉 小島 源藏 岡寺 正吉 矢島 有知 竹田 復郎 | 總務局 經理部長 中村 寅市 主計課長 細谷 當二 用度課長 上田 耕平 計畫部長 藪村 外雄 企畫課長 小田友次郎 調査課長 尾山 和安 加入部長 西郷 知一 契約課長 國米 藤吉 料金部長 松濤 菊五郎 第一收納課長 高梨 頼俊 第二收納課長 榎並 繁雄 集計課長 杉山 憲 係 長 安積彦一郎 |
|--------------------|--|--|---|--|---|--|---|--|

在留同胞の代表紙・廣告は効果偉大

アメリカの **邦字新聞** 和英兩文發行

對米貿易躍進時代



本社 LOS ANGELES U.S.A.

株式會社 羅府新報社

東京支社

東京市京橋區橫町二丁目三

電話京橋三四九五番

大東京市京橋區橫町二丁目

堂々たる内容

(座講二十) 科學編輯

ニウスとニウス源……矢部謙次郎
 論說の位置と將來……千葉 龜雄
 外電とその取扱方……岡本 鶴松
 内國通信と地方版……菱沼 右一
 學藝及特殊ページ……畑 耕一
 各面の交渉と大組……徳光 衣城
 綜合編輯の組織行政……石川 六郎
 營業及工務との交渉……清水都代三
 寫真新聞と新聞寫真……成澤金兵衛
 調査部の組織と運用……名倉 聞一
 新聞關係法律問題……宇野 慎三
 新聞倫理問題……下村 宏

(座講二十) 科學營經

經營の原理……太田 正孝
 販賣政策と配達機關……箕浦 多一
 廣告料率の研究……築田欽次郎
 廣告部の組織と運用……若山 武彦
 常用漢字制限の實行……武藤 具三
 活字及インキ其他……矢野 道也
 新聞用紙問題の研究……三木 七郎
 工場經濟論……村山 長舉
 新聞工務局一斑……桑村常之助
 新計畫と副業……小野賢一郎
 地方新聞經營論……與良松三郎
 經營總論策……高木 利太

發行所

東京市京橋區銀座西二丁目

新聞研究會

振替東京五五四七八番
電話京橋二二二五番

本邦唯一

新聞大學講義

全二十冊 金五圓

業務擴張記念 特別割引 提供

大きくて確かな會社

有利て親切な保険

石盤礎基

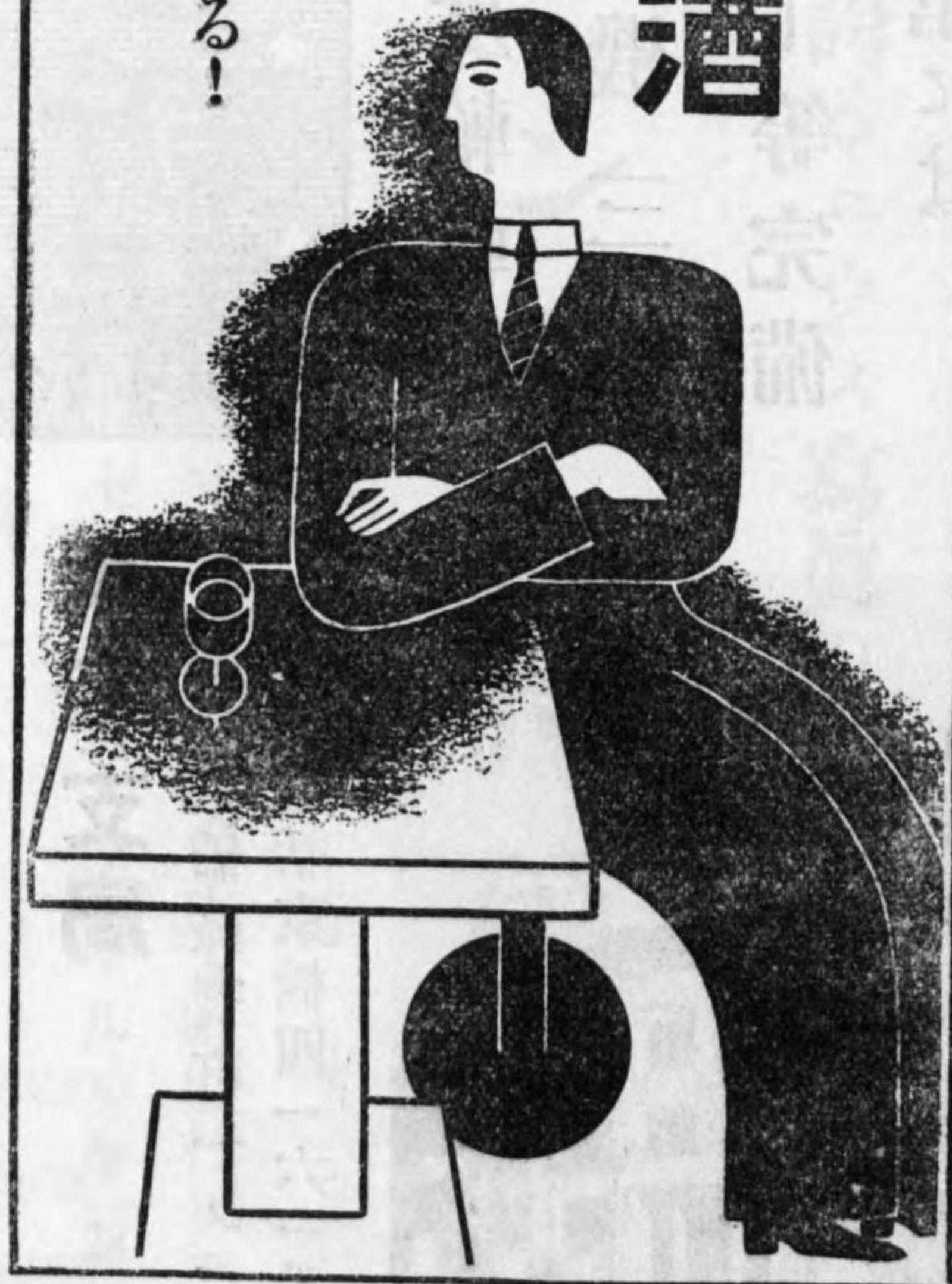
命生本日

目丁四橋今區東市阪大

美味滋養・品質第一

蜂ブドー酒

夕……
慰安の美酒は
朝……
保健の滋養となる！



非國産原料の調製

本坊

全日本酒造正〇

北陸新聞界の霸王

北陸毎日新聞

- ◇最新式高速度輪轉機
- ◇萬能鑄造機三臺
- ◇ドライマツト等完備
- ◇新築成れる本館には
大ホールの設備あり

本社 金澤市南町五〇

東京支局

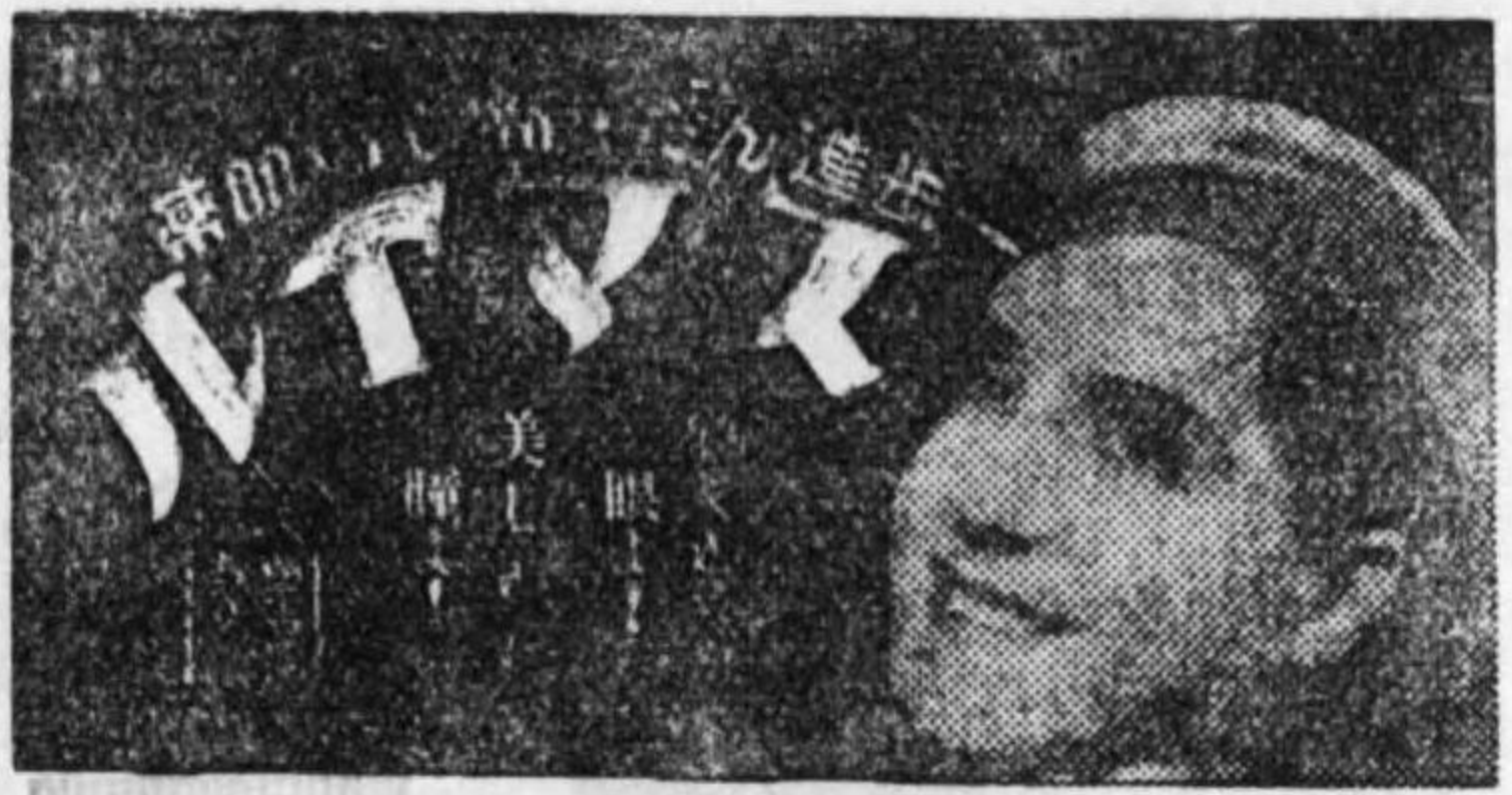
京橋區寶町一ノ二
電話京橋四一六一番



- 連續漫畫の世界的配給王國
- 世界各國に誇るニウス寫眞の蒐集陣

キングダ特稿社

本社 紐育市西四五街
 東京支社 東京市麴町區内山下町松村ビル内
 同代表者 ゼームス・アール・ヤング



諸新聞廣告代理業
大同通信社
 東京市京橋區銀座西六ノ二
 電話銀座四三〇二

通信部
 政治經濟通信
 東京市芝區南佐久間町一ノ二
 電話芝二〇六

京都第一
 効果第一

朝・夕・十頁
 (日曜夕刊八頁)



京都府の總人口
 一、七〇二、五〇一人
 京都市の總人口
 一、〇八〇、五九二人

三大都市人口 (國勢調査結果)

世帯三位數

東京 一、一九一、九三九
 大阪 六三〇、三三二
 京都 三四、六六三

總數
 五、八七五、三三八
 二、九九九、八六六
 一、〇八〇、五九二

京都日日販賣株式會社

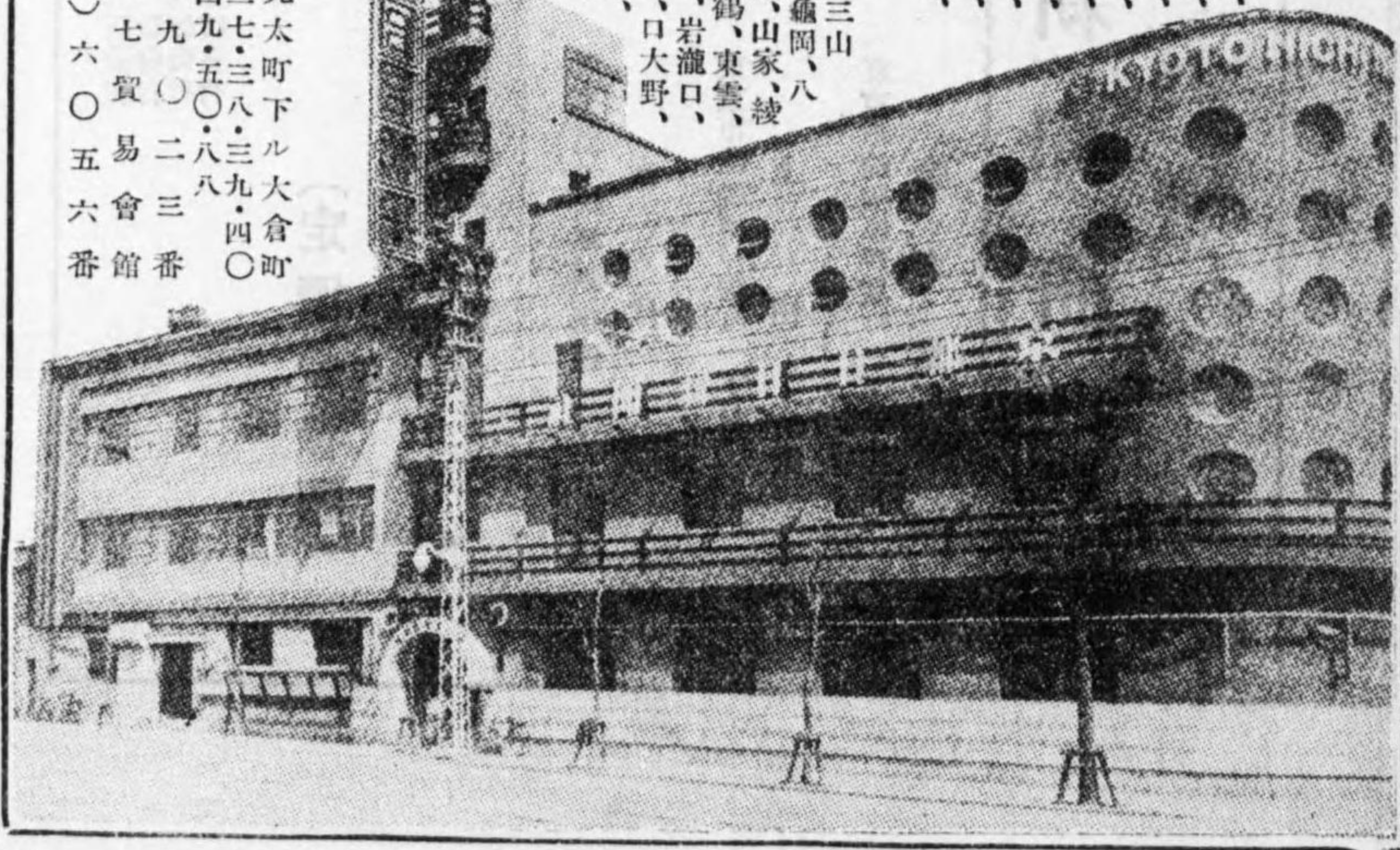
販賣會社出張所

紫野、上加茂、今出川、西陣、北新地、出水、中京、三條、壬生、松原、西宮、六條、九條、東山、下鴨、四條、山端、北宮、西七條、鴨谷、東山、科本町、稻荷、深草、見、宇治、淀、深草、峨、太秦、桂、花園、天津

市外專賣店

神足、向日町、京阪八幡、三山、木、大久保、鞍馬、周山、龜岡、八木、園部、殿田、上林、梅迫、山家、綾部、福知山、新舞鶴、中舞鶴、東雲、由良、栗田、宮津、天橋立、岩瀧口、伊根、日置、加悅、山田、口大野、峰山、河邊、五箇、溝谷、網野、久美濱、城崎、大溝、新儀、今津、篠原、安土、八日市、水口

本社 京都市烏丸通丸太町下ル大倉町
 電話上局 三六・三七・三八・三九・四〇
 電話下局 四八・四九・五〇・五〇・五〇
 支社 東京銀座西七賀會館
 電話銀座(57)六〇五六番



大正十年一月一日初版發行
 大正十一年六月三十日二版發行
 大正十二年七月十日三版發行
 昭和元年八月十日三版發行
 昭和二年二月十日三版發行
 昭和三年二月十日三版發行
 昭和四年二月十日三版發行
 昭和五年二月十日三版發行
 昭和六年二月十日三版發行
 昭和七年二月十日三版發行
 昭和八年二月十日三版發行
 昭和九年二月十日三版發行
 昭和十年二月十日三版發行
 昭和十一年二月十日三版發行
 昭和十二年二月十日三版發行

昭和八年十二月三十一日十二版發行
 昭和九年十二月三十一日十三版發行
 昭和十年十二月三十一日十四版發行
 昭和十一年十二月三十一日十五版發行
 昭和十二年十二月三十一日十六版發行

(定價金參圓)

昭和二十年
 (第五十版)

日本新聞鑑年

著作權所有

編輯者兼
 印刷所
 印刷人

東京市京橋區銀座西二ノ一
 永代靜雄
 東京市淀橋區戸塚町一丁目十三
 上田榮吉
 東京市淀橋區戸塚町一丁目十三
 泰文堂印刷所

發行所
 大賣捌

東京市京橋區銀座西二ノ一
 電話東京五二二五番
 東京神田
 東京堂

新聞研究所
 北隆館
 (東京京橋)
 大東館
 (東京日本橋)

14.4

709

終